

令和元年度

年 報



令和2年10月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	5
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	9
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	12
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	15
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	63
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	93
4. 教員組織および委員会一覧	・ ・ ・ ・ ・	111

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動 — — — — —

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年5月	学術交流協定及び学生交流協定の締結	台北医学大学(台湾)との大学間学術交流協定及び学生交流協定が締結された。	保健学部門会議資料
令和元年7月	総合研究棟3階から基礎B棟への実験室の移設	実験室の場所が、総合研究棟3階より基礎B棟へすべて移設された。	
令和元年8月	第3期法人評価に係る「研究業績説明書」「現況調査表」の作成	第3期法人評価に向けて保健学部門の「研究業績説明書」および「現況調査表」の作成を行った。	大学評価委員会専門委員会資料
令和2年2月	次期部門長の選出	保健学部門長として佐々木雅之が決定した。任期は令和2年4月1日～令和4年3月31日	

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月3日	学部入学式	新入147名(看護:77、放射:36、検査:34)が入学した。	学生係 資料
平成31年4月3日	大学院入学式	修士30名(看護:5、助産学:7、医用量子:12、検査技術:6)、博士9名(看護:2、医療技術:7)が入学した。	学生係 資料
平成31年4月5日	新入生研修	新入生、2年生のリーダーと教員が体育館及び生協食堂にて研修を行った。	学生委員会 議事録
令和元年8月19日	修士課程入学試験	58名(看護:5、助産学:17、医用量子:20、検査技術:16)が志願した。	学生係 資料
令和元年9月12日	博士後期課程入学試験	10名(看護:3、医療技術:7)が志願した。	学生係 資料
令和元年9月19日	保健学部門FD	会場:保健学科棟5番講義室他(3番、4番講義室) テーマ:「医学部保健学科の教育における合理的配慮を考える」 内容:基幹教育院キャンパスライフ・健康支援センター横田晋務先生より、九州大学における合理的配慮の取組みについて講演を頂いた。その後教員間で「合理的配慮と授業との関連を考える～建設的対話に臨むにあたって～」というテーマでグループ討議を行った。	保健学部門FD報告書
令和元年9月25日	秋季学位記授与式	修士2名(看護:1、放射:1) 博士7名(看護:2、医療技術系教育者・研究者養成コース:5)	保健学専攻 学年暦
令和元年10月1日	保健学国際コース学生10月入学	修士1名(医用量子線)	保健学専攻 学年暦

令和元年10月10日	就職セミナー 検査	参加:3年生35名 会場:本館3階多目的室 企業に就職された卒業生を講師として招き、就職活動の経験や実際の業務等を中心とした講演会を開催した。	学生委員会 議事録
令和元年9月10日 令和2年3月25日	マイナビ就職セミナー (看護)	参加:3年生 会場:5番講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要な選考対策を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和元年10月30日 令和元年11月6日 令和元年11月13日	マイナビ就職セミナー (放射)	参加:3年生 会場:102講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要な選考対策を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和2年1月7日	医療人セミナー(看護)	参加:3年生 会場:5番講義室 ビジネスマナー講師をお呼びし、医療接遇を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和2年1月18～19日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦
令和2年1月21日 令和2年1月28日	就職セミナー(インターナショナル・エアアカデミー)放射・検査	参加:3年生(放射25名、検査33名) 会場:6・3・4番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職マナー講習会及び面接マナー講習会を開催した。	学生委員会 議事録
令和2年1月30日～2月7日	修士論文発表会	修士2年29名(看護:12、医用量子:12、検査:5)が発表を行った。	保健学専攻 学年暦
令和2年2月1日	入学者選抜:AO入試Ⅱ[第2次選抜]	88名(看護:49、放射:21、検査:18)が志願した。	学生係 資料
令和2年2月18日	医療人セミナー(放射)	参加:3年生 会場:5講義室 ビジネスマナー講師をお呼びし、医療接遇を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和2年2月25～26日	入学者選抜:個別学力検査(前期日程)	262名(看護:121、放射:74、検査:67)が志願した。	学生係 資料
令和2年3月23日	卒業式・学位記授与式	学士127名(看護:70、放射:24、検査:33) 修士29名(看護:6、助産:6、医用量子:12、検査:5) 博士10名(看護:5、医療技術:5)	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦
平成31年4月1日～令和2年3月31日	九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	先端医用量子線技術科学コース(医用量子線) 予算 2,600,000円 教育概要: ・臨床ビッグデータ(ゲノム情報を含む)を適切に管理、解析でき、新たな知見を発見できる医療データサイエンスに関する内容を教育する。 ・臨床の現場で必要とされるニーズ(小児からAYA世代さらに高齢者及び緩和治療までを対象としたがん治療)と基礎理工学を繋ぐ先端医用量子線技術科学を教育し、関連する研究を指導する。 ・アジアだけでなく世界を視野に入れ留学生を受け入れ、留学生の出身大学との国際共同研究を推進する教育研究プログラムを開発し、国際的な先端医用量子線技術科学を教育する。	

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年11月15日	第14回九州大学保健学国際フォーラム開催	第1部 特別講演 演者 九州大学留学センター生田博子先生 テーマ The Arctic in the Globalized World:Climate Change,Indigenous People,and Medical Care 第2部 Student Meeting 各分野にて海外より講師を迎え、交流会を開催 「保健学の明日を考える会」の企画により教員の研究成果をポスター展示し発表した。	
平成31年4月1日～令和2年3月31日	SGU(スーパーグローバル大学創成支援)	(1)医学部:国際医療人育成に向けた看護教育プログラム強化事業(看護) 予算 616,000円 (2)医学系学府:先端医用量子線技術科学国際交流充実化プログラム(医用量子線) 予算 294,000円	
平成31年4月1日～令和2年3月31日	教育の質向上支援プログラム(NEEP)	保健学国際教育・研究におけるジェミニ・プロジェクトの構築(保健学部門/九大病院国際医療部) 予算 1,170,000円 概要: 1.学生、教員の国際交流促進 2.保健学サマースクール開設 3.遠隔医療教育システムの活用	

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年6月15日	大学院入試説明会	保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会を開催した。 参加者:修士課程希望者 74名 博士後期課程希望者 11名 会場:保健学科講義棟 5番講義室	保健学部門会議事録 入試実施委員会議事録
令和元年7月11日 令和元年7月24日	高校への出前講義	明善高校(野口先生) 明治学園(ユン先生)	
令和元年8月5日	オープンキャンパス	保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象にオープンキャンパスを開催した。 参加者:1206名 全体説明会場:百年講堂 専攻別企画:保健学科本館で展示	学生委員会議事録
令和元年 9月7日	第17回保健学公開講座	会場:医学部保健学科棟 3階 第5番講義室 テーマ:「広げよう医療と保健の知識2 ～永く健康に生きるために～」 講演-1「脳波で何がわかる？」重藤 寛史 教授、 講演-2「加齢と転倒～運動機能の観点から～」能登 裕子 講師 講演-3「画像で心臓を観察してみよう」河窪 正照 助教 受講者 81名 (一般参加者 55名、本学教員 26名)	保健学公開講座プログラムアンケート資料

5. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月1日	重藤 寛史 (検査・教授)	採用	
平成31年4月1日	内海 健 (検査・教授)	昇任	
平成31年4月1日	藤淵 俊王 (医用量子線・教授)	昇任	
令和2年3月31日	樗木 晶子 (看護・教授)	定年退職	
令和2年3月31日	谷口 初美 (看護・教授)	定年退職	

6. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料

7. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月24日 令和元年5月29日 令和元年6月26日 令和元年7月30日 令和元年9月25日 令和元年10月29日 令和元年11月27日 令和元年12月25日 令和2年1月29日 令和2年2月27日 令和2年3月25日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月	学部生(第17期)の入学	担任:諸隈誠一教授、濱田裕子准教授、佐藤洋子助教、松本美晴助教	分野会議議事録
令和2年2月14日	看護学分野FD	テーマを「教育における安全の指針～学外活動編～」とし、前半は、人間環境学研究院共生社会学飯嶋秀治准教授より講義を受け、後半は学外教育活動中に経験した事件・事故・ヒヤリハットについてグループワークを行った。(参加者30名) 担当:広域生涯発達看護学講座	令和元年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月22日 令和元年5月27日 令和元年6月24日 令和元年7月29日 令和元年9月24日 令和元年10月21日 令和元年11月25日 令和元年12月23日 令和2年1月27日 令和2年2月17日 令和2年3月16日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。	実習委員会議事録
令和元年5月10日 令和元年7月12日 令和元年9月13日 令和元年11月8日 令和2年1月10日	看護キャリアセンター会議	九州大学病院で行われる看護学実習に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。実習に関する教育、研究に関する検討を行った。	看護キャリアセンター会議議事録
令和元年度 通年	臨地実習に関する説明(九大病院以外)	老年、精神、小児、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
令和元年6月6日	3校合同九州大学病院臨地実習打ち合わせ会議	九州大学病院で実習予定の他校(福岡女学院、福岡看護大学)と九州大学病院看護部とで、令和元年以降の実習予定について相互に確認、検討を行った。	3校合同会議議事録
令和元年度 4月～7月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
令和元年6月6日	九州大学病院実習連絡会議	九州大学病院における臨地実習を円滑かつ適正に実施するために、看護学分野の全科目担当者が、看護部および実習に関連する全部署の看護管理者および実習指導者に実習の説明を行った。	実習連絡会議議事録

平成31年4月12日 平成31年4月19日 平成31年4月24日 平成31年4月26日 令和元年5月8日 令和元年8月6日 令和元年12月10日	福岡県公衆衛生看護実習 連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、公衆衛生看護 学実習を円滑かつ適正に実施するための協議会 において、当番校としてその運営を担った。県内各 自治体と会議を持つとともに(4月～5月)、大学間の 調整会議を2度開催したほか、年間を通じ、各大学 と自治体の調整を実施した。	福岡県公衆衛生看護 実習連絡協議会 議事録
令和元年11月13日	在宅看護学実習指導者連 絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護学実習に関 して、実習施設(訪問看護ステーション)の実習指 導者に説明を行った。	実習指導者連絡会 議資料

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和2年2月18日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者につ いて、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年9月17日	博士後期課程 特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況につ いて、中間発表会を行った。	分野会議議事録
令和元年10月～11 月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究 の中間発表会を行った。	講座会議議事録
令和元年11月26日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の 成果発表を行った。	卒業研究抄録集
令和2年2月3日	修士課程 看護学特別研 究の最終試験	修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。	分野会議議事録
令和2年2月4日	修士課程 看護学特別研 究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、 中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年度 通年	国家試験学内模擬試験 (看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行っ た。詳細は、以下のとおり。看護師国家試験模試 計6回、保健師国家試験模試 計2回	分野会議議事録
令和2年2月13日 令和2年2月14日 令和2年2月16日	第109回看護師国家試験 第106回保健師国家試験 第103回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国 家試 98.5%、保健師国家試験100%、助産師国家 試験100%の合格率であった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年11月15日	第14回九州大学保健学国 際フォーラム	国際フォーラムに際し、前日または当日に、香港大 学、釜山大学より下記の先生を招聘し、特別講義、 病院見学等を行い、今後の国際交流についての 意見交換を行った。 香港大学 Prof.Chia- Chin Lin 「Care & Die in Place of Choice: Improving Palliative Care within Long-Term Care (LTC) Facilities」 Pro.f Kelvin Man Ping Wang 「Evidence-based Practice in Nursing Care: An Example of Smoking Cessation」 釜山大学 Prof.lhn Sook Jeong 「Nuring education in Korea」	国際フォーラム報 告書

令和元年6月17日～ 6月18日	オウル大学より訪問	学術協定校のオウル大学より下記の2名の先生を招聘し、特別講義と国際交流に関する意見交換を行った。 Prof. Maria Kääriäinen 「High quality patients counselling」 Prof. Helvi Kyngäs 「Patients adherence with health regimens and support of it」	
令和元年7月8日～ 7月19日	マヒドン大学・高雄医学大学・香港大学との国際交流	マヒドン大学から4名・高雄医学大学から2名・香港大学から3名計9名の留学生を受け入れ、本学学生との国際交流を図った。	Exchange Program 資料
令和元年7月11日	アジア・オセアニア研究教育機構 医療・健康クラスター キックオフシンポジウム	九州大学病院アジア遠隔医療開発センターにて企画されたシンポジウムに保健学科からも参画した。看護学分野からは、下記の先生を招聘した。 マヒドン大学 Associate Prof. Aurawamon Sriyuktasuth 「Using telehealth to improve health outcomes in patients with peritoneal dialysis in Thailand」のタイトルで講演を頂いた。 また同時期に、同じマヒドン大学より、Dr. Thitipong が来日、滞在され、シンポジウムへの参加に加え、留学プログラムへの参加、病院見学、および、研究交流についての意見交換会も実施した。	
令和元年8月26日～ 9月6日	タイ・マヒドン大学看護学部との国際交流	学部3年生1名と2年生1名がタイ・マヒドン大学を訪問し、Exchange Programに参加した。	Exchange Program 資料
令和元年10月8日	台北医学大学より訪問	九州大学伊都キャンパスに来校された際、Dr. Megan Liu より、看護学教育における国際交流について意見交換の希望があり鳩野分野長、橋口国際委員長と面談し、情報交換を行った。	
令和元年11月29日	台北医学大学より訪問	渡邊副理事とともに、QS-APPLE国際会議に参加された蔡教授が馬出キャンパスにも訪問された。樗木分野長、橋口国際委員長と面談し、今後の国際交流についての意見交換を行った。	
令和元年11月27日	高雄医学大学より訪問	QS-APPLE国際会議に参加されたAssoc. Prof. CHANG-CHIH KUO, Assoc. Vice President for Global Affairs (Division of Planning and Development)が馬出キャンパスにも来校され、樗木分野長、橋口国際委員長と面談し、看護学教育・研究における国際交流について意見交換を行った。	
令和2年1月16日～ 1月17日	台北医学大学へ訪問	鳩野分野長、橋口国際委員長が台北医学大学を訪問し、Dean, Prof. Kuei-Ru Chou Dean, Prof. Chia-Chi Chang ら教員と面談した。学部学生の短期交換留学実施に向けた双方の大学の紹介、およびプログラム内容の打ち合わせを行い、台北医学大学構内の見学を行った。	
令和2年3月16日～ 3月17日	オウル大学より訪問	学術協定校のオウル大学より下記の講師を招聘し、特別講義と国際交流に関する意見交換を行った。 Asso Prof. Kristina Mikkonen 「Enhancing the quality of patient care by creating effective education and organizational model」	
令和2年1月8日～ 1月10日	バンコク(タイ)での国際会議出席	看護学専攻の大学院生2名がバンコクにて開催された N-energizing Nursing Profession for NCD Challengesに参加した。	

4. 社会連携 1)人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月～ 令和2年3月	九州大学病院の看護研究 コース指導	看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施	看護研究コース資 料
令和元年5月～9月	九州大学病院実習指導者 研修会(一般、アドバンス)	研修講師:中尾久子教授、藤田君支教授、橋口暢 子教授、青本さとみ講師	九州大学病院教育 担当者指導者研修 資料
令和元年8月30日	九州大学病院臨地実習指 導者研修会	九州大学病院看護部の臨地実習指導者を対象45 名に実施	九州大学病院資料

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年10月28日 ～10月29日	令和元年度看護学教育 ワークショップ	千葉大学において開催された。「多様なCQI(看護 教育の継続的質的改善)をささえる大学間相互支 援ネットワークの力」をテーマに、講演やGWを通し て、他大学の取り組みについて相互理解を深め た。	分野会議議事録
令和2年1月29日	福岡県公衆衛生看護実習 指導者合同研修会	福岡県内の公衆衛生看護学実習を指導する自治 体保健師および大学教員が、実習指導の現状と課 題について意見交換を行った。	福岡県公衆衛生看 護実習指導者合同 研修会資料
令和元年6月8日～ 6月9日	全国助産師教育協議会定 時社員総会および研修会 (大阪大学)	第10回(通算55回)公益社団法人全国助産師教育 協議会社員総会が、高崎健康福祉大学で開催さ れた。総会および教育課程別の検討会・交流を 行った。	全国助産師教育協 議会定時社員総会 および研修会資料
令和元年7月11日～ 7月12日	国立大学助産師教育専任 教員会議および研修会 (岐阜大学)	国立大学助産師教育加盟校により、国立大学助産 師教育について協議および意見交換を行った。	国立大学助産師教 育専任教員会議資 料
令和元年8月3日	九州・沖縄地区助産師教 育協議会および研修会 (長崎大学)	九州、沖縄地区の加盟校により全国助産師教育の 検討課題および教育、実習の情報交換について 協議・意見交換を行った。	九州・沖縄地区助 産師教育協議会資 料

4. 社会連携 3)公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年9月7日	第17回九州大学医学部保 健学科公開講座講演	地域住民の方を対象に講演会を実施した。 テーマ:加齢と転倒～運動機能の観点から～ 講師:能登裕子講師 参加者:81名	公開講座資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 医用量子線科学分野の活動 — — — — —

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月11日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
令和元年5月15日			
令和元年6月10日			
令和元年7月8日			
令和元年9月4日			
令和元年10月2日			
令和元年11月6日			
令和元年12月4日			
令和2年1月15日			
令和2年2月5日			
令和2年2月28日			

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月3日	学部生(第18期)の入学	主担任:ユン助教 副担任:有村教授 オリエンテーション4月5日実施	分野会議議事録 学生便覧
平成31年4月4日	大学院生(第13期)の入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録
平成31年4月8日 令和元年6月3日 令和元年7月22日 令和元年9月30日 令和元年12月24日 令和2年1月20日 令和2年2月4日	国家試験学内模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	
令和元年5月30日	修士および博士課程 中間発表会		
令和元年7月12日および19日	先端技術セミナーの開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナープログラム
令和元年8月20日	学生ソフトボール大会	教員・学生61名が参加した。	
令和元年9月26日～27日	九重研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と分野内教員が参加して、卒業研究と臨地実習に関する研修会を開催した。 会場:九重研修所・九大山の家	
令和元年9月28日	2019年度医学物理士 認定試験	大学院生4名中3名合格	http://www.jbm-p.org/certification/passers/
令和元年11月9日～10日	第14回 九州放射線 医療技術学術大会	学部4年生が参加して講演を聴講した。教員1名、大学院生1名、学部生23名が筆頭発表者として学術研究発表を行った。	第14回 九州放射線医療技術学術大会プログラム
令和元年11月29日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生24名が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム

令和2年2月7日	修士研究発表会	医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年生12名が修士研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 修士研究発表会プログラム
令和2年2月20日	第72回診療放射線技師国家試験	29名が受験し26名が合格した。 新卒者合格率は100% (24/24名)	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和2年3月予定→中止	留学生のリクルート活動	スーパーグローバル大学創生支援事業により、昨年度部局間の交流協定を締結した高麗大学に今後の交流促進に関する訪問を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染防止に伴い中止。訪問できなかった上記大学に、先端医用量子線技術科学コースに関する英文パンフレットを作成し、送付した。(佐々木智成准教授、ユンヨンス助教)	スーパーグローバル大学創生支援事業による海外出張報告書
令和2年3月予定→中止	留学生のリクルート活動	スーパーグローバル大学創成支援事業により台湾の国立清華大学、台北医科大学へは本専攻としては初の訪問予定で、今後の展開を期待していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。先端医用量子線技術科学コースに関する英文パンフレットを作成し送付した。(納富准教授)	スーパーグローバル大学創生支援事業による海外出張報告書
令和2年3月予定→中止	国際的がんプロフェッショナルの取組みに関する情報収集及び意見交換	「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」支援事業により、国際的がんプロフェッショナルについての情報収集及び意見交換のため、タイのChulalongkorn University訪問予定であったが、新型コロナウイルス感染の拡大防止に伴い、関係者で協議した結果やむを得ず中止。(高橋准教授、田中助教、大学院生2名)	
令和2年3月予定→中止	国際的がんプロフェッショナルの取組みに関する情報収集及び意見交換	「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」支援事業により、国際的がんプロフェッショナルについての情報収集及び意見交換のため、マレーシアのマラヤ大学訪問、JOINT SYMPOSIUM BETWEEN UNIVERSITY OF MALAYA AND KYUSHU UNIVERSITYに参加予定であったが、新型コロナウイルス感染の拡大防止に伴い、関係者で協議した結果やむを得ず中止。(佐々木雅之教授、藪内教授、有村教授、大学院生2名)	

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年6月13日	第19回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	栃木にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。(藪内英剛教授、河窪正照助教)	分野会議議事録 会議報告書
令和元年6月14日	第64回全国診療放射線技師教育施設協議会	栃木にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。(藪内英剛教授、河窪正照助教)	開催プログラム
令和元年7月12日	明治学園中学高等学校における出前講義	明治学園中学高等学校において、高校生および教員を対象に診療放射線技師の業務内容と九州大学医学部保健学科の広報を行った。(ユンヨンス助教)	

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月27, 28日	PHITS講習会の開催	粒子・重イオン輸送計算コードPHITS講習会を、保健学科共催により、保健学科本館の実験・演習室で開催した。学内外から24名が参加した。	
令和元年8月	放射線取扱主任者試験第1種国家試験	合格者 学部3年生7名合格、学部4年生3名合格	官報
令和2年1月11日	2019年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会を開催した。卒後教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 麻生 智彦先生 国立がん研究センター中央病院 「最先端がん検査・治療の現状と未来」 久保 均先生 福島県立医科大学 新医療系学部 「α線放出核種を用いた核医学治療」 大田 英揮先生 東北大学大学院医学系研究科 「Cardio-oncologyについて」 上記3名の講師による講演会に50名程度が参加した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/
令和2年2月8日	2019年度第2回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会を開催した。卒後教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 副島俊典先生 兵庫粒子線医療センター附属神戸陽子線センター「小児がんの放射線治療―特に陽子線治療について」 木戸尚治先生 大阪大学大学院医学系研究科 人工知能画像診断学共同研究講座 「画像診断領域における深層学習」 佐々木康夫先生 岩手県立中央病院 「胸部単純X線画像の役割と期待」 上記3名の講師による講演会に50名程度が参加し、認定証を発行した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 検査技術科学分野の活動 — — — — —

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月24日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
令和元年5月29日			
令和元年6月19日			
令和元年8月28日			
令和元年9月25日			
令和元年10月30日			
令和元年11月27日			
令和元年12月25日			
令和2年1月29日			
令和2年2月29日			
令和2年3月25日			

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年4月5日	新入生研修	新入生に対し入学時ガイダンスおよび研修を実施した。	分野会議議事録
令和元年9月24日	九大病院検査部との 臨地実習反省会	九州大学病院検査部部長、技師長をはじめ臨地実習担当の臨床検査技師の先生方と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、令和元年度臨地実習の実施状況報告と令和2年度の実施計画について討議した。	分野会議議事録
令和元年9月30日	大学院博士課程・ 修士課程中間発表会	修士課程・博士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表を行った。	分野会議議事録
令和元年12月18日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
令和元年4月22日 令和元年7月22日 令和元年9月13日 令和元年11月 8日 令和2年1月9日	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、2回の校内模試と3回の国試業者模試を実施した。	分野会議議事録
令和2年1月30日	修士課程論文審査会	修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年7月11日	Kyushu University Insitute for Asian and Oceanian Studies (Medicine & Health Cluster)	シンポジウムのSession 5 Current Issues of Health and Medical Care in Asian Coun における検査分野からの演者としてProf. Kamruddin Ahmed (Universiti Malaysia Sabah, Malaysia) を招聘してマレーシア国内の医療保険事情について講演いただいた。Chair person として検査分野 重藤教授が担当した。	九州大学アジア・オセアニア研究教育機構キックオフシンポジウム資料
令和元年10月24～ 27日	Universiti Malaysia Sabah (Malaysia) 訪問	相原講師、外園講師の2名がMedicine and Health ScienceのProf. Kamruddin Ahmedを訪問した。キャンパス内の多くの研究施設や教育施設を見学した。また本学の教育システム、現在の研究についてプレゼンを行った。またサバ大学内において年1回介されている研究イノベーション報告会 (PEREKA) に参加し、サバ大学においてどのような研究が行われているのかについて情報収集を行った。	分野会議議事録

令和元年11月15日	The 14th International Forum of Health Sciences. Student Meetingの開催	Angeles University(Philippines)からProf. Arnold Pinedaを招聘してSpecial Lecture “Neurology and Medical Education in the Philippines” の講演を依頼。また、Angeles Universityの医学生Mr. Mel Vinci Cruz, 本学留学生Ms. Ezgi Ozdemir(Turkey)と検査分野大学院生7名によるStudents Presentationを行った。	地域国際連携・FD委員会議事録
令和2年2月25～28日	台北医科大学検査学科学学生（4年生）の保健学科検査技術科学専攻への訪問	台北医科大学の学生2名が保健学科検査技術科学専攻を訪問。受け入れ担当教員（相原講師、渡邊講師、外園講師、塩津助教）の専門領域の授業や研究に関する紹介などを行った。また、学外見学として日赤血液センターやCRC検査センターを訪問し日本における外部受託検査システムについて説明を行った。	九州大学教育の質向上支援プログラム報告書
令和2年2月22日～3月5日	クアラルンプール（マレーシア）への短期留学派遣	検査技術科学専攻の4年生、1名がマラヤ大学にて開催されたASEAN in Today's World 2020に参加した。	

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和元年9月7日	重藤教授：九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民を対象にテーマ「広げよう医療と保健の知識 2～いまを健康に生きるために～」の講演を実施した。	公開講座資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《統合基礎看護学》

教授	樗木 晶子
教授	中尾 久子
教授	藤田 君支
教授	橋口 暢子
教授	諸隈 誠一
准教授	濱田 裕子
講師	青本 さとみ
講師	能登 裕子
講師	松尾 和枝
講師	丸山 マサ美
講師	宮田 潤子
助教	潮 みゆき
助教	木原 深雪
助教	酒井 久美子
助教	道面 千恵子
助教	藤田 紋佳
助教	前野 里子
助教	松本 美晴
助教	森口 晴美
助教	山口 優

1. 教育活動

1. 大学院講義

健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	樗木	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	樗木	後期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	樗木	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	樗木	通年
生命倫理・遺伝カウンセリング論(分担)	中尾	冬学期
看護・組織マネジメント論(分担)	中尾	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	中尾	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	中尾	前期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	中尾	通年
看護学研究方法論Ⅰ(分担)	中尾	春学期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	中尾	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	中尾	前期
保健学研究論(分担)	藤田(君)	前期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	藤田(君)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	藤田(君)	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	藤田(君)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	藤田(君)	後期
国際プレゼンテーション(分担)	藤田(君)	通年
看護学研究方法論Ⅱ(分担)	橋口	夏学期
看護教育方法開発学Ⅰ	橋口	前期

看護研究方法論Ⅰ(分担)	橋口	春学期
看護教育論(分担)	橋口	前期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	橋口	前期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	橋口	後期
先端医療論(分担)	諸隈	前期
リプロサイエンスⅠ(分担)	諸隈	前期
周産期の薬理学(分担)	諸隈	夏学期
Women's Health(分担)	諸隈	春学期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	諸隈	春学期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	諸隈	夏学期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	諸隈	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	諸隈	前期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ(分担)	諸隈	冬学期
生命倫理・遺伝相談カウンセリング論(分担)	諸隈	冬学期
リプロサイエンスⅡ(分担)	諸隈	後期
生命倫理・遺伝カウンセリング論(分担)	濱田	後期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	濱田	後期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	濱田	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	濱田	前期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	濱田	夏学期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	能登	前期
看護教育論(分担)	能登	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	能登	春学期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	能登	夏学期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	能登	後期
看護組織・マネジメント論(分担)	能登	後期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	松尾	前期
看護教育論(分担)	松尾	前期
医療と生命倫理(分担)	松尾	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	松尾	後期
看護組織・マネジメント論(分担)	松尾	後期
生命倫理学	丸山	春学期
医療と生命倫理	丸山	後期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	宮田	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	宮田	前期
リプロサイエンスⅠ(分担)	宮田	前期
先端医療論(分担)	宮田	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

保健学特別研究(樗木教授)	樗木	通年
保健学特別研究(中尾教授)	中尾	通年
保健学特別研究(藤田教授)	藤田(君)	通年
保健学特別研究(橋口教授)	橋口	通年
保健学特別研究(諸隈教授)	諸隈	通年
看護学特別研究(諸隈教授)	諸隈	通年
高次助産診断・技術学演習(分担)	諸隈	後期
母子発達ケアシステム論Ⅱ	諸隈	後期
看護学特別研究(濱田准教授)	濱田	通年

4. 大学院修士課程修了者

野田 三奈未	妊婦の内受容感覚と不安・うつ傾向との関連
大津 奈々恵	妊婦の睡眠に影響を及ぼす要因に関する研究
李 キンセン	中国における重い病気や障がいのある子どもの支援について～蝶々の

	家をとおして～
林下 里見	総排泄腔遺残症患者の体験－“終わらない病気”をもつ女性として生きる－
山口 恭平	急性期病院に勤務する中堅看護師のワークエンゲイジメントが同僚間の対人ストレス過程に及ぼす影響
藤田 香奈恵	持続陽圧呼吸療法を受ける閉塞性睡眠時無呼吸患者の臨床背景と治療アドヒアランスの性差
森山 宣子	ダウン症児における閉塞性睡眠時無呼吸の早期発見に向けた検討－養育者に対する質問票調査とパルスオキシメトリーの有効性－
東 八千代	看護学実習における長時間立位活動に伴う下肢むくみの発生状況とその要因
黒川 雄平	若年健康成人男女における清拭時の乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応
立石 礼望	抗悪性腫瘍剤使用部署看護師における医薬品添付文書の情報活用とその影響要因

5. 大学院博士課程修了者

松永 由理子	Improved levels of physical activity in patients over 75 years following total knee arthroplasty
薬師寺 佳菜子	Cross-cultural adaptation, reliability and validity of the Japanese version of the Hospital for Special Surgery Hip Replacement Expectations Survey
権藤 多栄	The Effect of Preventive Oral Care on Postoperative Infections After Head and Neck Cancer Surgery
坂梨 左織	Development of the empowerment scale for family caregivers of community-dwelling people with dementia in Japan
豊福 佳代	Changes in Eating Behaviors and Physical and Mental State of Gastric Cancer Patients during the First 6 Months after Surgery
永松 由紀	Medication Adherence among Colorectal Cancer Patients Receiving postoperative adjuvant Chemotherapy: a longitudinal Study
山崎 啓子	Peripartum management of pregnant women with congenital heart disease

6. 学部講義

臨床病態学(分担)	樗木	後期
医学総論Ⅰ(分担)	樗木	後期
国際保健と医療(分担)	樗木	後期
老年看護学概論(分担)	中尾	夏学期
老年保健疾病論(分担)	中尾	後期
老年看護学各論Ⅰ(分担)	中尾	後期
国際保健と医療(分担)	中尾	後期
医療倫理・看護倫理(分担)	中尾	夏学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	中尾	秋学期
老年看護学各論Ⅱ(分担)	中尾	前期
成人看護学概論	藤田(君)	秋学期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	藤田(君)	前期
成人慢性期看護論Ⅰ(分担)	藤田(君)	春学期
がん看護論(分担)	藤田(君)	夏学期
看護研究Ⅲ(分担)	藤田(君)	通年
看護研究Ⅳ アドバンス(分担)	藤田(君)	通年
国際保健と医療(分担)	藤田(君)	後期
看護研究Ⅰ(分担)	橋口	春学期
看護研究Ⅱ(分担)	橋口	夏学期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	橋口	前期

看護理論(分担)	橋口	夏学期
看護学概論(分担)	橋口	春学期
看護教育論	橋口	秋学期
看護過程論(分担)	橋口	後期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	橋口	後期
国際保健と医療(分担)	橋口	後期
母性疾病論	諸隈	春学期
国際保健と医療(分担)	諸隈	後期
臨床医学論Ⅰ	諸隈	後期
臨床病態学(分担)	諸隈	後期
公衆衛生学	諸隈	春学期
人体の構造と機能Ⅱ(分担)	諸隈	前期
小児看護学各論Ⅰ	濱田	冬学期
小児看護学概論	濱田	秋学期
小児看護学各論Ⅱ(分担)	濱田	前期
看護研究Ⅱ(分担)	濱田	夏学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	濱田	秋学期
精神看護学概論	青本	秋学期
精神看護学各論(分担)	青本	前期
精神保健・疾病論(分担)	青本	前期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	能登	前期
看護研究Ⅰ(分担)	能登	春学期
看護理論(分担)	能登	夏学期
看護過程論(分担)	能登	後期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	能登	後期
看護過程論(分担)	松尾	後期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松尾	後期
看護管理(分担)	松尾	秋学期
看護学概論(分担)	松尾	春学期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	松尾	前期
インフォームド・コンセント	丸山	前期
薬害	丸山	前期
バイオエシックス入門	丸山	春学期
バイオエシックス入門	丸山	夏学期
医療倫理学Ⅰ	丸山	秋学期
医療倫理学Ⅱ	丸山	冬学期
課題例示科目 Life	丸山	後期
コミュニケーション論	丸山	冬学期
基幹教育セミナー	丸山	夏学期
小児疾病論	宮田	前期
人体の構造と機能Ⅱ(分担)	宮田	前期
医療系統合教育科目「漢方医薬学」(分担)	宮田	前期
医学総論Ⅱ(分担)	宮田	後期
臨床病態学(分担)	宮田	後期
臨床医学論Ⅱ	宮田	後期
医療倫理・看護倫理(分担)	潮	夏学期
成人急性期看護論Ⅱ(分担)	潮	前期
成人急性期看護論Ⅰ(分担)	潮	春学期
看護研究Ⅱ(分担)	木原	前期
精神看護学各論(分担)	木原	前期
精神保健・疾病論(分担)	木原	前期
老年看護学概論(分担)	酒井	夏学期
老年保健・疾病論(分担)	酒井	秋学期
老年看護学各論Ⅰ(分担)	酒井	冬学期
老年看護学各論Ⅱ(分担)	酒井	前期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	道面	前期

看護理論(分担)	道面	夏学期
看護学概論(分担)	道面	春学期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	道面	後期
看護過程論(分担)	道面	後期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	前野(里)	前期
成人慢性期看護論Ⅰ(分担)	前野(里)	前期
成人看護学概論(分担)	前野(里)	後期
がん看護論(分担)	前野(里)	前期
看護過程論(分担)	松本	後期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松本	後期
看護管理(分担)	松本	秋学期
看護理論(分担)	松本	夏学期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	松本	前期
小児看護学各論Ⅱ(分担)	森口	前期
クリティカルケア論(分担)	山口	秋学期
成人急性期看護論Ⅱ(分担)	山口	前期
成人急性期看護論Ⅰ(分担)	山口	春学期

7. 学部の実験・実習・演習

老年看護学実習(分担)	中尾	前期
看護研究Ⅲ(分担)	中尾	通年
看護研究Ⅳ(分担)	中尾	通年
総合実習(分担)	藤田(君)	通年
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	藤田(君)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	藤田(君)	後期
老年看護学実習(分担)	藤田(君)	前期
母性看護学実習(分担)	諸隈	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	橋口	前期
総合実習(分担)	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	橋口	後期
看護研究Ⅲ(分担)	濱田	通年
小児看護学実習Ⅱ(分担)	濱田	後期
小児看護学実習Ⅰ(分担)	濱田	前期
総合実習(分担)	濱田	前期
精神看護学実習(分担)	青本	後期
総合実習(分担)	青本	前期
総合実習(分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	能登	後期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	松尾	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	松尾	前期
総合実習(分担)	松尾	前期
小児看護学実習Ⅰ(分担)	宮田	前期
小児看護学実習Ⅱ(分担)	宮田	後期
看護研究Ⅲ(分担)	潮	通年
総合実習(分担)	潮	夏学期
老年看護学実習(分担)	潮	前期
成人老年看護学実習Ⅱ(分担)	潮	後期
成人老年看護学実習Ⅰ(分担)	潮	後期
精神看護学実習(分担)	木原	後期
看護研究Ⅲ(分担)	木原	通年
老年看護学実習(分担)	酒井	前期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	酒井	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	酒井	後期
看護研究Ⅲ(分担)	酒井	通年

総合実習（分担）	酒井	前期
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	道面	前期
基礎看護学実習Ⅱ（分担）	道面	後期
小児看護学実習Ⅱ（分担）	藤田(紋)	後期
看護研究Ⅲ（分担）	藤田(紋)	通年
総合実習（分担）	前野(里)	前期
成人老年看護学実習Ⅰ（分担）	前野(里)	後期
成人老年看護学実習Ⅱ（分担）	前野(里)	後期
老年看護学実習（分担）	前野(里)	前期
看護研究Ⅲ（分担）	前野(里)	通年
基礎看護学実習Ⅱ（分担）	松本	後期
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	松本	前期
総合実習（分担）	森口	前期
小児看護学実習Ⅰ（分担）	森口	前期
小児看護学実習Ⅱ（分担）	森口	後期
看護研究Ⅲ（分担）	森口	通年
総合実習（分担）	山口	前期
看護研究Ⅲ（分担）	山口	通年
成人・老年看護学実習Ⅱ（分担）	山口	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ（分担）	山口	後期
老年看護学実習（分担）	山口	前期

8. 卒業論文作成者

岩崎 真那南	認知症高齢者・家族介護者への地域支援に関する認知症カフェの研究
原田 彩加	がん患者の症状や副作用に対するマッサージの緩和効果の検討
江崎 愛理	高齢者に対する身体機能の維持を目的とした介入の効果
廣瀬 仁美	皮膚温度感受性と主観的暑がり・寒がり体質との関係について
安細 真樹子	在宅医療の移行における問題点とその促進要因に関する文献検討
伊勢本 なつか	認知症高齢者の家族介護者における介護負担を軽減する介入について
馬場 季夏	妊婦における心拍変動を用いたストレス評価に関する研究
赤島 しおり	妊娠中の睡眠体位と自律神経活動との関連に関する研究
真崎 朋香	看護場面における信頼関係に関する文献研究
糸田 菜那	高齢者のターミナルに関する文献研究
金子 愛美	看護場面におけるコミュニケーションに関する文献研究 －看護師の感性・共感の一考察－
河野 杏奈	食物アレルギーに関する小学校の現状と課題－重症事例から考察する今後の支援－
永松 美咲	きょうだいの思いと母親の認識－小児がんのこどものきょうだいに焦点を当てて－
門 亜哲	日本における外国人患者に対する看護の現状と課題
栗原 瞳	自然災害避難所における深部静脈血栓症の発症状況
泉朱 音	AYA 世代の白血病患者が療養過程で抱える思い
吉川 はな	鎮痛剤を用いた月経痛への対処における現状と課題
中吉 里美	頸部への放射線照射による放射線皮膚炎の発生状況と効果的な看護介入
高橋 佳子	ターミナルケアに携わる看護師の心身・環境面におけるストレス要因と課題
藤田 愛里	胃瘻造設の代理意思決定をした家族の思いとその支援
山口 亜希子	在宅で生活する高齢者の口腔ケアに関する現状と課題
福田 比奈子	呼吸管理を必要とする在宅療養者の災害支援
大海 健也	地域で療養している高齢者の QOL に関わる因子
葛城 千紘	タクティールケアの身体的・心理的效果
井上 晴絵	2 型糖尿病患者における ICT を活用した疾患の自己管理の効果
堀 亜由美	離島・山間部で高齢者が在宅生活を継続するための条件
國武 優衣	救急外来における外国人患者への対応に関する課題
中野 穂菜美	救急搬送された患者家族の待機中の体験
徳田 紗都	患者から暴力を受けた看護師がたどる体験プロセス及び効果的な支援の検討
渡邊 由紀乃	疼痛に対する非薬物療法と効果における文献検討
井手 渚	統合失調症患者の就労を支える支援についての文献検討－就労段階ごとの当事者の

	想いに焦点を当ててー
中村 菜津子	乾燥皮膚に対する保湿ケアの現状と効果に関する文献検討
石田 莉穂	疼痛と早期離床の相互の影響に関する文献研究
吉田 美春	機械的咳介助(MI-E)の活用の実態と効果に関する文献レビュー
松本 萌	高齢患者に対する自己効力感を高める関わりの有効性の検討
本田 真実	2型糖尿病患者の食事療法の継続に向けた動機づけについて
上田 綾乃	新人看護師が病院勤務において感じる困難と対処に関する文献検討
山口 恵里佳	退院調整において病棟看護師が提供すべき情報に関する文献検討
松田 菜穂	心不全セルフケアプログラム心臓リハビリテーションにおける今後の課題点について文献検討
上原 舞佳	回復期心臓リハビリテーション後のセルフケアへの影響について
千原 由佳	発達障害児を持つ親の思いについて
平野 真理奈	炎症性腸疾患患者の療養行動の特徴ー思春期(青年期)と成人期を比較してー
竹下 友理	病児・障がい児の家族がきょうだいに抱く思いー在宅療養の家族を対象とした文献よりー
中山 理愛	境界性パーソナリティ障害患者に対する看護に関する研究
霜田 七星	精神症状を呈する患者に対するリエゾンナースの役割
石丸 美織	被虐待児とその家族に対して看護師が行っている支援
上野 智愛	認知症高齢者への音楽療法の効果に関する検討
中房 玲衣	下肢人工関節全置換術後患者の低強度身体活動の実態

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	ダウン症者における睡眠時無呼吸や睡眠障害の疫学研究及び介入研究	樗木
2	漢方看護教育	樗木
3	先天性心疾患の患者教育とトータルライフケアをめざした医療情報集約システムの構築	樗木
4	女性医療食者におけるキャリア継続の変遷を追う	樗木
5	医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療, 看護)	中尾
6	高齢者特有の症状と QOL に関する研究	中尾
7	ストレスおよび生活行動の関連性, 看護者の well-being	中尾
8	高齢者の身体拘束とQOL	中尾
9	低強度身体活動量を測定する尺度開発	藤田(君)
10	人工股・膝関節全置換術患者における身体活動量	藤田(君)
11	医薬品添付文書の活用における実態とその要因	橋口
12	基礎的看護ケア(身体の清潔の援助)が及ぼす生理・心理的影響に関する研究	橋口
13	療養環境における温熱的快適性に関する研究	橋口
14	高齢者における家庭内事故(溺死, 入浴事故)に関する研究	橋口
15	高齢者や心疾患患者における体温調節反応および皮膚温度感受性に関する研究	橋口
16	母体の生活習慣が妊娠合併症, 胎児および生後発達に及ぼす影響に関する研究	諸隈
17	胎児行動学	諸隈
18	ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成	濱田

19	小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究	濱田
20	外来通院中の精神障がい者を抱えた家族のリカバリーの実態とその構造	青本
21	精神障がい者と生活する家族のリカバリーのプロセス	青本
22	リエゾン精神看護に関する研究	青本
23	高齢者の転倒予防に向けた身体感覚・日常生活動作の評価	能登
24	高齢者の家庭内転倒リスクを考慮したウェアラブル端末の開発	能登
25	看護職のキャリアディベロップメントに向けた支援の検討	松尾
26	認知症と視覚情報との関連についての研究	松尾
27	緑内障患者の点眼アドヒアランス向上に関する研究	松尾
28	コミュニケーション教育・研究－看護のためのマイクロカウンセリング－	丸山
29	古医書・貴重書の書誌的研究－史料を活用した倫理教育・研究－（九州大学医学部における史料研究－新しい「医の倫理」教育方法論の構築－）	丸山
30	死生観の国際比較研究	丸山
31	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山
32	総排泄腔異常症患者と家族に対する継続的包括的ケアシステムの構築	宮田
33	発達障害に伴う排便障害に対する漢方治療の効果に関する検討	宮田
34	肝移植レシピエントの身体活動量に関する研究	潮
35	アルコール依存症者の感情体験	木原
36	アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討	木原
37	高齢者の口腔ケア	酒井
38	ナラティブ・アプローチを用いた対話によるグリーフ（悲嘆）ケアの生成	藤田(紋)
39	小児看護におけるケアの効率化に関する研究	藤田(紋)
40	2型糖尿病高齢者の身体活動と睡眠に関する研究	前野(里)
41	2型糖尿病患者の身体活動に関する研究	前野(里)
42	静脈確保技術における熟練看護師の暗黙知の可視化	松本
43	都市的環境と子育て支援に関する研究	森口
44	救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証	山口

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

樗木 晶子

- 「挑戦的研究(萌芽)」女性医療職者におけるキャリア継続の10年の変遷を追う，樗木(代表)
- 「基盤研究(B)」高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築，樗木(代表)
- 「基盤研究(B)」高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成，樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」胃切除術後患者へのICTを活用した自己管理支援プログラムの構築と有効性の検証，樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」ホームモニタリングによるダウン症児の特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害の関連の検討，樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発，樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」補助化学療法中の大腸がん患者へ多職種協働セルフマネジメント支援プログラムの評価 樗木(分担)

中尾 久子

- 「基盤研究(B)」高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築，中尾(分担)
- 「基盤研究(C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発，中尾(代表)

藤田 君支

- 「基盤研究(C)」在宅高齢者のヘルスリテラシーと口腔に関連した健康関連 QOL の関連性の解明, 藤田君(分担)
- 「基盤研究(C)」人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発, 藤田(君)(代表)
- 「基盤研究(C)」認知症ワーキングケアラーのエンパワメントを高める教育支援プログラムの開発と検証, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」糖尿病をもつ高齢者における睡眠と身体活動量に関する研究, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 藤田(君)(分担)

橋口 暢子

- 「基盤研究(B)」高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成, 橋口(代表)
- 「基盤研究(B)」高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築, 橋口(分担)

諸隈 誠一

- 「基盤研究(B)」微小粒子状物質 (PM2.5) とその成分曝露がもたらす妊婦・胎児の健康影響評価, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(B)」 「育てにくさ」と胎児行動との関連に関する研究, 諸隈(代表)
- 「基盤研究(A)」 『機能リズム障害としての自閉症』仮説検証, 諸隈(分担)

濱田 裕子

- 「基盤研究(C)」ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成, 濱田(代表)

青本 さとみ

- 「基盤研究(C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発, 青本(分担)

能登 裕子

- 「基盤研究(C)」リスクゼロ段階からの転倒予防介入指針の開発-身体感覚と運動機能のズレによる層別化, 能登(代表)
- 「挑戦的萌芽研究」高齢者の特性と家庭内転倒リスクを考慮した衣服型ウェアラブル端末の開発と検証, 能登(代表)

宮田 潤子

- 「基盤研究(C)」総排泄腔遺残症患者の母子関係の特徴と家庭における性教育との関連, 宮田(分担)
- 腸管神経節細胞僅少症への幹細胞移植における大建中湯を用いた治療戦略の開発, 宮田(分担)

潮 みゆき

- 「基盤研究(C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発，潮(分担)
- 「若手研究(B)」脳梗塞再発予防のための身体活動量指標の確立に向けたデータベースの構築，潮(代表)

木原 深雪

- 「基盤研究(C)」アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討，木原(代表)

酒井 久美子

- 「基盤研究(C)」虚弱高齢者に対する口腔ケアシステムの作成，酒井(代表)
- 「基盤研究(C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発，酒井(分担)

道面 千恵子

- 「基盤研究(C)」看護教員を対象とした協働参加型授業改善プログラムの開発，道面(分担)
- 「基盤研究(C)」看護教員コンピテンシーモデルの開発と検証，道面(分担)

藤田 紋佳

- 「基盤研究(C)」ビジュアル・ナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成，藤田紋(分担)
- 「基盤研究(C)」肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築，藤田紋(代表)

前野 里子

- 「基盤研究(C)」糖尿病をもつ高齢者における睡眠と身体活動量に関する研究，前野(代表)

山口 優

- 「若手研究」救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証，山口(代表)

森口 晴美

- 「基盤研究(C)」ビジュアル・ナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成，森口(分担)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「研究補助者雇用支援(短期)」，宮田(代表)
- 「研究補助者雇用支援(短期)」小児看護ケアの効率化に向けた基礎的研究，藤田(紋)(代表)

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト」濱田
- 「総排泄腔遺残症患者に対するピアサポートの促進とその有用性に関する研究」, ファイザーヘルスリサーチ振興財団第 28 回 (2019 年度) 国内共同研究 (年齢制限なし), 宮田 (代表)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- 新裕紀子, 中尾久子, 濱田裕子: 臨床看護師が成長に向かう動機づけの構造, 日本看護科学学会誌, 39, 29 - 37, 2019 年 08 月. (査読あり)
- Elizabeth A. Hill, Hiroyuki Sawatari, Mari K. Nishizaka, Donna M. Fairley, Akiko Chishaki, Kouta Funakoshi, Renata L. Riha, Shin-ichi Ando.: A cross-sectional comparison of the prevalence of obstructive sleep apnea symptoms in adults with Down syndrome in Scotland and Japan, American Association on Intellectual and Developmental Disabilities, 投稿中, 2020 年 01 月. (査読あり)
- Sato T, Fujino T, Higo T, Ohtani K, Hiasa K, Sakamoto T, Chishaki A, Shiose A, Tsutsui H. Flow Pattern of Outflow Graft is Useful for Detecting Pump Thrombosis in a Patient with Left Ventricular Assist Device. Int.Heart Journal 60(4):1 - 4, 2019(査読あり)
- Nagamatsu Y, Satoh M, Toyofuku K, Miyazono M, Chishaki A. Medication Adherence among Colorectal Cancer Patients Receiving postoperative adjuvant Chemotherapy: a longitudinal Study Fukuoka Acta Medica 110(1):24 - 38, 2019(査読あり)
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Susumu Takase, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Non-Pulmonary Vein Triggers of Atrial Fibrillation Are Likely to Arise from Low-Voltage Areas in the Left Atrium, Sci Rep 9, 12271, 2019 年 08 月. (査読あり)
- Yamasaki K, Sawatari H, Kanagai N, Kamiya C, Yoshimatsu J, Muneuchi J, Watanabe M, Fukuda T, Mizuno A, Sakamoto I, Yamamura K, Ohkusa T, Tsutsui H, Niwa K, Chishaki A: Peripartum management of pregnant women with congenital heart disease, Circ J, 83 (Issue 11):2257 - 2264, 2019 年 10 月. (査読あり)
- Tomoko Nao, Anita Rahmawati, Mari Nishizaka, Hiroyuki Sawatari, Nobuko Moriyama, Akiko Chishaki, Shin-Ichi Ando, Tomoko Ohkusa: Prevalence of sleep-disordered breathing in Japanese children - Efficiency of screening with nocturnal pulse oximetry -, Sleep and Biological Rhythms, 18(1):37 - 47, 2020 年 01 月. (査読あり)
- Tae Gondo, Kimie Fujita, Mika Nagafuchi, Tsukasa Obuchi, Daisaku Ikeda, Ryuji Yasumatsu, Takashi Nakagawa: The Effect of Preventive Oral Care on Postoperative Infections After

Head and Neck Cancer Surgery, *Auris Nasus Larynx*, in press, 1 – 7, 2020 年 02 月. (査読あり)

- Yakushiji K, Fujita K, Matsunaga-Myoji Y, Mawatari M: Expectations and depression in patients who have undergone total hip arthroplasty in Japan: a prospective cohort study, 2019 年 07 月. (査読あり)
- Matsunaga-Myoji Y, Fujita K, Makimoto K, Tabuchi Y, Mawatari M: Three-Year Follow-Up Study of Physical Activity, Physical Function, and Health-Related Quality of Life After Total Hip Arthroplasty, *The Journal of Arthroplasty*, 2019 年 07 月. (査読あり)
- 田中さとみ, 金岡麻希, 藤田君支: 肝移植後患者の日常生活における身体活動量と関連要因, *日本移植・再生医療看護学会誌*, 14, 1, 30 – 38, 2019 年 06 月. (査読あり)
- Yakushiji K, Fujita K, Tanaka S, Tanaka R, Fukushi JI, Motomura G, Hamai S, Ikemura S, Fujii M, Nakashima Y: Cross-cultural adaptation, reliability and validity of the Japanese version of the Hospital for Special Surgery Hip Replacement Expectations Survey, *Journal of Orthopaedic Science*, 2019 年 06 月. (査読あり)
- Masaru Tanaka, Masafumi Sanefuji, Seiichi Morokuma, Misako Yoden, Rie Momoda, Kenji Sonomoto, Masanobu Ogawa, Kiyoko Kato, Jiro Nakayama: The association between gut microbiota development and maturation of intestinal bile acid metabolism in the first 3 y of healthy Japanese infants, *Gut Microbes*, 11, 2, 205 – 216, 2020 年 03 月. (査読あり)
- Michikawa T, Yamazaki S, Shimizu A, Nitta H, Kato K, Nishiwaki Y, Morokuma S: Exposure to Asian dust within a few days of delivery is associated with placental abruption in Japan: a case-crossover study, *BJOG: An International Journal of Obstetrics and Gynaecology*, 127, 3, 335 – 342, 2020 年 02 月. (査読あり)
- Sachiko Iwata, Masahiro Kinoshita, Fumie Fujita, Kennosuke Tsuda, Mitsuki Unno, Takashi Horinouchi, Seiichi Morokuma, Shinji Saitoh, Osuke Iwata: Peripartum depression and infant care, sleep and growth, *Scientific reports*, 9, 1, 10186, 2019 年 12 月. (査読あり)
- Mai Myoga, Mayumi Tsuji, Rie Tanaka, Eiji Shibata, David J. Askew, Yukiyo Aiko, Ayako Senju, Toshihiro Kawamoto, Toru Hachisuga, Shunsuke Araki, Koichi Kusuhara, Seiichi Morokuma, Masafumi Sanefuji: Impact of sleep duration during pregnancy on the risk of gestational diabetes in the Japan environmental and Children's study (JECS), *BMC Pregnancy and Childbirth*, 19, 1, 483, 2019 年 12 月. (査読あり)
- Mayumi Tsuji, Eiji Shibata, David J. Askew, Seiichi Morokuma, Yukiyo Aiko, Ayako Senju, Shunsuke Araki, Masafumi Sanefuji, Yasuhiro Ishihara, Rie Tanaka, Koichi Kusuhara, Toshihiro Kawamoto, Hirohisa Saito, Reiko Kishi, Nobuo Yaegashi, Koichi Hashimoto, Chisato Mori, Shuichi Ito, Zentaro Yamagata, Hidekuni Inadera, Michihiro Kamijima, Takeo Nakayama, Hiroyasu Iso, Masayuki Shima, Yasuaki Hirooka, Narufumi Suganuma, Takahiko Katoh: Associations between metal concentrations in whole blood and placenta previa and placenta

accreta The Japan Environment and Children's Study (JECS), Environmental health and preventive medicine, 24, 1, 40, 2019 年 06 月. (査読あり)

- Takashi Horinouchi, Toshiyuki Yoshizato, Megumi Muto, Masahiro Fujii, Yutaka Kozuma, Takaaki Shinagawa, Seiichi Morokuma, Tatsuyuki Kakuma, Kimio Ushijima: Gestational age-related changes in shear wave speed of the uterine cervix in normal pregnancy at 12-35 weeks' gestation, Journal of Perinatal Medicine, 47, 4, 393 - 401, 2019 年 05 月. (査読あり)
- Yuko Hamada: Palliative Care for Children and Grief Care for Families: Practice, Research and Education, Global Health and Nursing, 9, 2, 43 - 47, 2019 年 10 月.
- 青野広子, 濱田裕子, 藤田紋佳: 血友病をもつ子どもの病気に伴う体験, 日本小児看護学会誌, 28, 257 - 264, 2019 年 11 月. (査読あり)
- Kishida F, Egashira Y, Motoi M, Okusa K, Noto H, Fuji T, Ogata Y, Watanuki S: Relationship between Personality Traits and Constituent Factors in Impression of Public Service: Impression of City Office Staff as a Case Study, Psychology, 11, 1, 1 - 12, 2020 年 01 月. (査読あり)
- 能登 裕子, 村木 里志: 車いすティッピングレバーの形状と位置が介助者の踏み込み操作に及ぼす影響, 日本看護技術学会誌, 18, 97 - 107, 2019 年 12 月. (査読あり)
- 岸田文, 江頭優佳, 本井碧, 大草孝介, 能登裕子, 藤智亮, 尾方義人, 綿貫茂喜: 避難所に対するネガティブな先入観と性格特性との関連, 地区防災計画学会誌, 16, 55 - 63, 2019 年 11 月. (査読あり)
- 丸山マサ美: アメリカ国立公文書館にみる九州大学生体解剖事件関連資料, 日本健康学会会誌, 第 85 巻, 42 - 43, 2020 年 01 月. (査読あり)
- Miyuki Kihara, Kazuyo Kitaoka: Analysis of the emotional experiences of Japanese Alcoholics Anonymous members striving for sobriety, BMC Psychiatry, 19, 1, 2019 年 08 月. (査読あり)
- Ayaka Fujita, Yuko Hamada: Bereavement care in Japanese pediatrics Pediatrician awareness in practice, Pediatrics International, 61, 7, 658 - 663, 2019 年 07 月. (査読あり)
- 坂本 篤彦, 貝沼 茂三郎, 前田 麻木, 前田 利朗, 宮田 潤子, 河野 恵子, 栗山 一道: 同側の外傷/手術歴と痞根の硬結を有し当帰四逆加呉茱萸生姜湯が奏効した難治性上腹部痛の 2 症例, 日本東洋医学雑誌, 71, 18 - 23, 2020 年 01 月. (査読あり)
- Sayori Sakanashi, Kimie Fujita: Development of the empowerment scale for family caregivers of community-dwelling people with dementia in Japan, Japan Journal of Nursing Science, 17: e12311, 2019 年 12 月 (査読あり)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Morphological Characteristics in Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation, APHRS2019, 2019 年 10 月, Thailand.
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui. Morphological Mechanisms of Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation. ESC 2019 年 9 月, France
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui. Clinical predictors for the improvement of left ventricular ejection fraction and prognosis after catheter ablation of atrial fibrillation in patients with systolic dysfunction ESC 2019 年 9 月, France
- Kazuo Sakamoto, Susumu Takase, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Takahiro Watanabe, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: The impact of stepwise intervention of catheter ablation and transcatheter closure for atrial septal defect patients complicated with atrial fibrillation, APHRS2019, 2019 年 10 月, Thailand.
- Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Koutaro Abe, Shunji Hayashidani, Yasushi Mukai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Successful Catheter Ablation of Fascicular Ventricular Tachycardia Originating from Posterior Papillary Muscle: experience in two cases, APHRS2019, 2019 年 10 月, Thailand.
- Seiichi Morokuma: Tracking Fetal Development: New Modalities, The 26th Asia and Oceania Federation of Obstetrics and Gynecology (AOFOG) Congress in Manila, 2019 年 11 月, その他.
- Seiichi Morokuma: Neurological outcomes and their correlation to fetal behavior patterns, KSOG Congress, The 3rd Japan-Korea-Taiwan Joint Conference of Ob/Gyn, 2019 年 09 月, Korea.
- Kazumi Fukuda, Hisako Nakao: Experience of families visiting patients immediately after the operation, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020 年 02 月, Osaka International Convention Center.
- Hisako Nakao, Satomi Aomoto, Miyuki Ushio, Kumiko Sakai, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Satoko Maeno, Yu Yamaguchi, Kimie Fujita.: A literature review on ethics education for nurses working in hospitals in Japan - Aiming at educational reform through collaboration between hospitals and educational institutions —, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020 年 02 月, Osaka International Convention Center.

- Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Rumi Tanaka, Kimie Fujita: Pre-surgery Expectations and Their Fulfillment of Expectations among Japanese Patients who are undergoing Total Hip Arthroplasty (THA). N3_Conference, 2020 年 1 月, Thailand.
- Yuriko Matsunaga-Myoji, Shuya Ide, Yasuko Tabuchi, Masaaki Mawatari, Kimie Fujita: Physical activity and health-related quality of life after total knee arthroplasty in patients with versus without lifestyle-related diseases, N3_Conference. 2020 年 1 月, Thailand.
- Satomi Tanaka, Kanako Yakushiji, Rumi Tanaka, Maki Kanaoka, Kimie Fujita: Cross-Sectional Study of Objective Daily Physical Activity and Quality of Life in Liver Transplant Candidates. N3_Conference, 2020 年 1 月, Thailand.
- Rui Tanaka, Yuriko Matsunaga-Myoji, Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Kimie Fujita: A Systematic Review of Light-Intensity Physical Activity Measurement Scales. N3_Conference, 2020 年 1 月, Thailand.
- Yuko Hamada: Grief care for families who have lost their children ; practice, research and education, PNU International Nursing Conference, 2019 年 6 月, Pusan

○ 大学・研究機関などの刊行誌 なし

○ 調査研究報告

- 丸山マサ美: 吉岡斉の仕事を考える研究報告書ー生命倫理と吉岡 斉ー, <http://hdl.handle.net/2324/2344619>, 2019 年 12 月.

○ 国内学会での講演, 発表

- 高瀬進, 西村遼平, 坂本和生, 阿部弘太郎, 林谷俊児, 向井靖, 樗木晶子, 筒井裕之: 先天性 QT 延長症候群に合併した RVOT-PVC triggered polymorphic VT に対してカテーテルアブレーションを施工した症例, カテーテルアブレーション関連秋季大会 2019, 2019 年 11 月, 石川県金沢市.
- 樗木晶子: 持続可能な医療を目指した医師の働き方を一考する, 第 67 回日本心臓病学会学術集会, 2019 年 9 月, 名古屋.
- Kazuo Sakamoto, Yoshitomo Tsutsui, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai, Ryoko Mori, Shouta Ikeda, Daisuke Yakabe, Shuuji Inoue, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Inconsistent Left Atrial Voltage Map Obtained Either by a Duo-Decapolar Spiral Catheter or a Novel Omnipolar, Directionality Accounted Catheter (HD-Grid) in Atrial Fibrillation, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Yoko Shojima, Yasushi Mukai, Shota Ikeda, Shunsuke Kawai, Ayako Ishikita, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Ichiro Sakamoto, Shunji Hayashidani, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Successful Catheter Ablation of Atrial Tachycardia in a Patient with Surgically Corrected

Complete Atrioventricular Septal Defect, with Inferior Vena Cava Defect and Dextrocardia, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).

- Ryoko Yada, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai, Kazuo Sakamoto, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Detailed Mapping by Novel Multipolar HD Grid Catheter in the Case of Localized Reentry in Atrial Tachycardia, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Characterization of Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Efficacy of Pulmonary Vein Isolation Alone in Persistent Atrial Fibrillation in Consideration of Voltage Mapping, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Satomi Imakiire, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai, Kazuo Sakamoto, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: A Case of Radiofrequency Catheter Ablation for Ventricular Tachycardia under the Support of Impella Ventricular Support System, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Shota Ikeda, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Clinical Characteristics in Asymptomatic Versus Symptomatic Patients with Atrial Fibrillation Undergone Catheter Ablation, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Predictors for the Improvement of Cardiac Function and Clinical Outcomes after Catheter Ablation of Atrial Fibrillation in Patients with Systolic Dysfunction, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Yasushi Mukai, Nobuhiro Honda, Kazuo Sakamoto, Kenji Sadamatsu, Hideki Tashiro, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Epicardial Conductions between the Vein of Marshall, the Left Atrium, and the Left Pulmonary Vein Were Eliminated by Endocardial Catheter Ablation, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Does Left Atrial Low Voltage Area Extend within a Year?, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).
- Hiroko Deguchi, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai, Ichiro Sakamoto, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Establishment of a Transvenous Atrial Pacing Lead in a Patient

with TCPC-Type Fontan Circulation, 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会, 2019 年 07 月, 神奈川(横浜).

- 樗木晶子: ダイバーシティ推進と連動した医師の働き方改革をめざして, JCR ミッドナイトサマーセミナー, 2019 年 07 月, ポートピアホール(神戸市).
- 長岡和宏, 向井靖, 河合俊輔, 坂本和生, 坂本一郎, 石北綾子, 林谷俊児, 樗木晶子, 筒井裕之: Twin AV node を介する回帰性頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した修正大血管転移症の一例, 第 126 回日本循環器学会九州地方会, 2019 年 06 月, 宮崎.
- 山崎啓子, 樗木晶子: 成人を迎えた先天性心疾患女性のリプロダクティブヘルス/ライツに基づく看護支援, 日本小児循環器学会 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2019 年 06 月, 北海道(札幌).
- 藤田香奈恵, 樗木晶子, 橋口暢子, 澤渡浩之, 姜旻廷, 森山宣子, 西坂麻里, 安藤眞一: 閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者の持続陽圧呼吸(CPAP)治療アドヒアランスにおける年齢層別の検討, 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会, 2019 年 06 月, 愛知県(名古屋).
- 澤渡 浩之, 孫田 千恵, 中村 亮, 荒川 剛, 林 克美, 田中 薫, 門上 俊之, 樗木 晶子, 安藤眞一: 睡眠呼吸障害を合併している心収縮能が保たれた心不全患者における夜間頻尿が及ぼす Quality of Life への影響, 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会, 2019 年 06 月, 愛知県(名古屋).
- 長岡和宏, 向井靖, 河合俊輔, 坂本和生, 坂本一郎, 石北綾子, 林谷俊児, 樗木晶子, 筒井裕之: Twin AV node を介する回帰性頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した修正大血管転移症の一例, 第 126 回日本循環器学会九州地方会, 2019 年 6 月, 宮崎.
- 澤渡浩之, 樗木晶子, 安藤眞一: 睡眠呼吸障害を合併する慢性心不全患者における低酸素血症の蓄積と血管内皮障害との関連-関連な血管内皮障害の推定法の開発, 第 34 回心電情報処理ワークショップ, 第 29 回体表心臓小電位研究会, 第 16 回心電図伝送システム研究会合同集会, 2019 年 06 月, パシフィコ横浜.
- 藤田香奈恵, 樗木晶子, 橋口暢子, 宮園真美, 澤渡浩之, 山崎啓子, 姜 旻廷, 森山宣子, 西坂麻里, 安藤眞一: 閉そく性睡眠時無呼吸を伴う循環器疾患患者の特性と持続陽圧呼吸治療アドヒアランスの検討, 第 55 回日本循環器病予防学会学術集会, 2019 年 05 月, 久留米シティープラザ.
- 佐藤翼, 坂本一郎, 石北綾子, 坂本隆史, 内野紗織, 神谷登紀子, 堤真希, 花田麻美, 河原吾郎, 大竹沙矢香, 伊藤真美, 平川加寿美, 河村美希, 日浅謙一, 樗木晶子, 筒井裕之: Apico-Aortic conduit Bypass 術後の残存大動脈弁逆流の重症度評価に苦慮した一症例 A case of struggling to evaluate the severity of residual aortic regurgitation after surgery of Apico-Aortic conduit Bypass, 心エコー図学会第 30 回学術集会, 2019 年 05 月, 長野県(松本).
- 富永美千代, 松田美由紀, 池田彩乃, 中尾久子, 酒井久美子: 造血幹細胞移植看護に携わる看護師のとまどい-再移植患者への係わりを中心に-, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 03 月,

- 松田美由紀, 中尾久子, 酒井久美子: 中堅看護師のワーク・ライフ・バランスと仕事意欲, 健康関連 QOL との関連, 第 39 回日本看護科学学会, 2019 年 12 月, 日本看護科学学会, 金沢.
- 松清由美子, 中尾久子, 立垣祐子: 災害救援看護師の救援活動におけるストレス及び対処行動と活動後の感情, 日本災害看護学会第 21 回年次大会, 2019 年 09 月, 日本赤十字北海道看護大学, 北見工業大学.
- 池田彩乃, 中尾久子, 酒井久美子, 能登裕子: 新卒看護師の入職時, 3 カ月時, 6 カ月時の生活習慣の比較, 日本看護研究学会第 45 回学術集会, 2019 年 08 月, 大阪国際会議場.
- 新裕紀子, 中尾久子: 臨床看護師の成長に関する概念分析, 日本看護学教育学会第 29 回学術集会, 2019 年 08 月, 国立京都国際会館
- 諸隈誠一: ヒト胎児の生体周期から見た発達, 第 8 回 日本発達神経科学学会学術集会, 2019 年 11 月, 京都大学芝蘭会館稲盛ホール・山内ホール.
- 諸隈誠一: 特別講演『胎児から新生児そして小児へのトランジション医療』演題名: 〜トランジション医療と先制医療〜, 第 27 回福岡母性衛生学会学術集会, 2019 年 07 月, 福岡(九州大学医学部 百年講堂).
- 若村智子, 初治沙矢香, 中本五鈴, 肥後有貴子, 堀田佐知子, 橋口暢子, 小林宏光: 社会的存在としての人間の睡眠と生体リズムー看護との関連, 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019 年 12 月, 石川県立音楽堂.
- 野田優子, 古賀友紀, 濱田裕子, 田口智章, 大賀正一: 小児がん病棟における付き添い家族に対する抗がん剤曝露に関する研究, 第 17 回日本小児がん看護学会, 2019 年 11 月, 広島.
- 濱田裕子: ビジュアル・ナラティブのグリーフケアへの可能性, 日本質的心理学会第 16 回大会, 2019 年 09 月, 東京.
- 市川百香里, 泊祐子, 岡田摩理, 遠渡絹代, 部谷知佐恵, 赤羽根章子, 叶谷由香, 濱田裕子: 障がいをもつ子どもの家族を支援する訪問看護の多職種連携, 日本家族看護学会第 26 回学術大会, 2019 年 09 月, 京都.
- 濱田裕子, 岡田摩理, 泊祐子, 市川百香里, 叶谷由香, 部谷知佐恵, 赤羽根章子: 家族形成期における重症児とその家族を支援する訪問看護の特徴, 日本家族看護学会第 26 回学術大会, 2019 年 09 月, 京都.
- 遠渡絹代, 泊祐子, 赤羽根章子, 叶谷由香, 部谷知佐恵, 市川百香里, 岡田摩理, 濱田裕子: 小児訪問看護における他施設・多職種連携の困難さに関する地域差, 日本看護研究学会第 45 回学術大会, 2019 年 08 月, 大阪.
- 高谷恭子, 中野綾美, 田之頭恵里, 池添志乃, 野嶋佐由美, 益守かづき, 濱田裕子, 田村恵美, 星川理恵: 関根光枝: 生体肝移植を受ける子どもの親がつなぐいのちの軌跡, 日本家族看護学会第 26 回学術大会, 2019 年 09 月, 京都.

- 岡田摩理, 泊祐子, 赤羽根章子, 叶谷由香, 部谷知佐恵, 遠渡絹代, 市川百香里, 濱田裕子: 小児の訪問看護における多職種連携の実態と診療報酬への要望, 日本看護研究学会第 45 回学術大会, 2019 年 08 月, 大阪.
- 泊祐子, 赤羽根章子, 部谷知佐恵, 叶谷由香, 岡田摩理, 遠渡絹代, 市川百香里, 濱田裕子: 小児の訪問看護を担うステーションの規模の実態と認識されてる小児訪問看護の特徴, 日本看護研究学会第 45 回学術大会, 2019 年 08 月, 大阪.
- 泊祐子, 市川百香里, 遠渡絹代, 濱田裕子: 医療的ケア児と家族の暮らしを支える訪問看護の礎となる診療報酬の拡大, 日本看護研究学会第 45 回学術大会, 2019 年 08 月, 大阪.
- 林下里見, 濱田裕子, 宮田潤子: 国内外における総排せつ腔遺残症患者・家族の体験, 看護支援に関する文献レビュー, 第 29 回日本小児看護学会学術集会, 2019 年 08 月, 札幌.
- 赤羽根章子, 泊祐子, 部谷知佐恵, 遠渡絹代, 岡田摩理, 市川百香里, 濱田裕子: 訪問看護師による小児の居宅外訪問の実際と必要性, 第 29 回日本小児看護学会学術集会, 2019 年 08 月, 札幌.
- 部谷知佐恵, 泊祐子, 赤羽根章子, 遠渡絹代, 岡田摩理, 市川百香里, 濱田裕子: 診療報酬算定外の小児訪問看護サービスの種類と実施状況, 第 29 回日本小児看護学会学術集会, 2019 年 08 月, 札幌.
- 濱田裕子, 藤田紋佳, 森口晴美: 子どもを亡くした家族と子どもとの関係性～視覚イメージで語る現在, 過去, 未来～, 日本家族看護学会第 26 回学術集会, 2019 年 09 月, 京都テルサ.
- 能登裕子, 村木里志: 加齢に伴う身体感覚の変化をふまえた日常生活動作モニターの可能性調査, 日本人間工学会第 60 回大会, 2019 年 06 月, 日本大学 東京都千代田区.
- 黒川雄平, 立石礼望, 東八千代, 廣瀬仁美, 能登裕子, 橋口暢子: 清拭における乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応とその性差, 日本人間工学会九州・沖縄支部会第 40 回大会 (福岡市), 2019 年 11 月, 福岡市 TKP 博多駅筑紫ロビジネスセンター.
- 黒川雄平, 立石礼望, 東八千代, 廣瀬仁美, 能登裕子, 橋口暢子: 清拭における乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応, 日本生理人類学会 第 80 回大会, 2019 年 10 月, 名古屋市立大学.
- 東八千代, 立石礼望, 黒川雄平, 能登裕子, 橋口暢子: 看護学実習における長時間立位活動に伴う下肢むくみの発生状況とその要因, 日本人間工学会九州・沖縄支部会第 40 回大会, 2019 年 11 月, TKP 博多駅筑紫ロビジネスセンター.
- 東八千代, 立石礼望, 黒川雄平, 能登裕子, 橋口暢子: 看護学実習における長時間立位活動に伴う下肢むくみの発生状況, 日本看護研究学会第 24 回九州・沖縄地方会学術集会, 2019 年 11 月, 大分県由布市 大分大学挟間キャンパス.
- 立石礼望, 東八千代, 黒川雄平, 松尾和枝, 能登裕子, 松本美晴, 橋口暢子: 抗悪性腫瘍剤を使用する部署に勤務する看護師の医薬品添付文書活用の実態と問題点, 日本看護研究学会 中国・四国地方会 第 33 回学術集会 抄録集 P43, 2020 年 03 月, 徳島文理大学徳島キャンパス.

- 丸山マサ美：アメリカ国立公文書館にみる九州大学生態解剖事件関連資料，第 84 回日本健康学会，2019 年 11 月，長崎大学医学部坂本キャンパス記念講堂。
- 宮田潤子：看護における漢方教育とは～看護の質の向上をめざして～，第 2 回九州大学漢方教育診療研究会学術講演会，2020 年 01 月，福岡市。
- 宮田潤子，入江敬子，貝沼茂三郎，田口智章：腹部症状に対する黄耆建中湯と小建中湯の処方決定までのプロセスと決め手になった所見に関する考察，第 24 回日本小児外科漢方研究会，2019 年 10 月，大阪市。
- 宮田潤子，貝沼茂三郎，入江敬子，樗木晶子：発達障害に伴う排泄障害に漢方治療が奏功した 4 例，第 45 回日本東洋医学会九州支部学術総会，2019 年 11 月，佐賀市。
- 宮田潤子：九州大学における漢方医薬学教育の現状，第 12 回看護学系漢方教育研究会，2019 年 09 月，京都市。
- 宮田潤子，入江敬子，貝沼茂三郎，樗木晶子，田口智章：小児の腹部症状に対する建中湯類の使い分け，第 1 回九州大学漢方教育診療研究会学術講演会，2019 年 07 月，福岡市。
- 宮田潤子：発達障害に伴う消化管症状への漢方治療の可能性，第 56 回日本小児外科学会学術集会，2019 年 05 月，久留米市。
- 伊崎智子，小幡聡，入江敬子，宮田潤子，吉丸耕一朗，田口智章：当科におけるモビコール投与の実際，第 50 回日本小児消化管機能研究会，2020 年 2 月，金沢市。
- 貝沼茂三郎，宮田潤子，坂本篤彦，島添隆雄：双方向性授業による汎用性の高い漢方モデル授業の開発研究，第 70 回日本東洋医学会学術総会，2019 年 6 月，東京都。
- 伊崎智子，河野雄紀，小幡聡，宮田潤子，田口智章：術前診断に苦慮した鼠径部嚢胞性病変の 1 例，第 28 回日本小児泌尿器科学会総会学術集会，2019 年 7 月，佐賀市。
- 小幡聡，伊崎智子，宮田潤子，入江敬子，江角元史郎，宗崎良太，松浦俊治，廣瀬龍一郎，岩崎昭憲，田口智章：男児中間位・高位鎖肛に対する肛門形成術：当科の手法と術後排便機能についての検討，第 119 回日本外科学会定期学術集会，2019 年 4 月，大阪市。
- 鳥井ヶ原幸博，宮田潤子，伊崎智子，小幡 聡，吉丸耕一朗，河野 淳，田口智章：乳児期鼠経ヘルニアの術後精巣挙上の検討，第 49 回九州小児外科研究会，2019 年 8 月，福岡市。
- 伊崎智子，小幡聡，宮田潤子，入江敬子，田口智章：鎖肛患児におけるストーマ閉鎖についての検討，第 76 回直腸肛門奇形研究会，2019 年 10 月，大阪市。
- 入江敬子，小幡聡，伊崎智子，宮田潤子，田口智章：直腸肛門奇形疾患術後患者におけるモビコールの使用経験，第 76 回直腸肛門奇形研究会，2019 年 10 月，大阪市。
- 伊崎智子，中村睦，濱田洋，宮田潤子，小幡聡，入江敬子，渋谷勇一，宗崎良太，田口智章：Blue rubber bleb nevus syndrome の消化管静脈奇形による小腸重積を発症した 1 症例，第 56 回日本小児外科学会学術集会，2019 年 5 月，久留米市。
- 潮みゆき，田中さとみ，山口優，前野里子，酒井久美子，木下由美子，中尾久子，藤田君支：成人肝移植レシピエントの身体活動介入の効果に関する文献検討，日本看護研究学会 第 45 回学術集会，2019 年 08 月，大阪国際会議場。

- 小川幸菜, 田中香, 潮みゆき: 集中治療を受ける術後患者の回復意欲を高める要因と看護支援の検討, 日本看護研究学会第 24 回九州・沖縄地方会学術集会, 2019 年 11 月 9 日, 大分大学, 大分市.
- 田中香, 小川幸菜, 潮みゆき: 手術を受ける小児へのプレパレーションの効果に関する文献研究: 日本看護研究学会第 24 回九州・沖縄地方会学術集会, 2019 年 11 月 9 日, 大分大学 大分市.
- 船木淳, 中村祐美子, 小迫瞳, 清水愛香, 平野通子, 崎山 愛, 山口優, 江川幸二: 急変時のチームビルディングスキル向上のための机上シミュレーション看護教育プログラムの検証, 第 21 回日本救急看護学会学術集会, 2019 年 10 月, 幕張メッセ.
- 中村祐美子, 船木淳, 小迫瞳, 清水愛香, 平野通子, 崎山愛, 山口優, 江川幸二: 急変対応のための机上シミュレーション実施前後のノンテクニカルスキルの変化, 第 21 回日本救急看護学会学術集会, 2019 年 10 月, 幕張メッセ.
- 中村祐美子, 船木淳, 山口優, 小迫瞳, 清水愛香, 原和美, 平野通子, 崎山愛, 江川幸二: A 病院の救急病棟看護師の急変対応の現状とチームビルディングに関する学習ニーズ調査, 第 20 回日本救急看護学会学術集会, 2019 年 10 月, 和歌山県民文化会館・ホテルアバローム紀の国.
- 大池美也子, 道面千恵子: 看護教員コンピテンシーモデルの開発と検証, 第 30 回日本医学看護学教育学会学術学会, 2020 年 03 月, WEB 開催(島根県立大学出雲キャンパス).
- 石橋昭子, 長弘千恵, 道面千恵子: 精神科認定看護師による患者に対する治療への動機づけ支援の特徴 計量テキスト分析を用いた検討, 日本看護科学学会学術集会講演集 39 回, 2019 年 11 月,
- 井上智恵, 河口てる子, 安酸史子, 岡美智代, 小林貴子, 道面千恵子 他 11 名: 困った患者といませんか? ～見せます熟練看護師のプロの技～, 第 23 回日本糖尿病教育・看護学会, 2019 年 07 月, 茨城県水戸市.
- 花田敦子, 大橋綾子, 磯村周一, 池田智子, 青本さとみ, 袈裟丸貴博 三木翔伍: 精神科神経科リエジチームの 活動報告と今後の課題 (第2報) 2019 年 11 月 岡山県倉敷市.
- 松永由理子, 藤田君支, 田淵康子: 人工股関節全置換術後 3 年における実測した身体活動量と健康関連 QOL および患者満足度との関連, 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019 年 11 月, 石川県金沢市.
- 田中さとみ, 金岡麻希, 潮みゆき, 藤田君支: 肝移植患者の術前・術後 3 ヶ月・術後 6 ヶ月における身体活動量の変化, 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019 年 11 月, 石川県金沢市.
- 坂梨左織, 藤田君支: 認知症ワーキングケアラーの介護上の学習課題, 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019 年 11 月, 石川県金沢市.
- 田中るみ, 前野里子, 藤田君支: 強度表示型活動量計による糖尿病患者の 6 ヶ月後の身体活動量の変化, 第 24 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2019 年 9 月, 千葉.

- 潮みゆき, 田中さとみ, 山口優, 前野里子, 酒井久美子, 木下由美子, 中尾久子, 藤田君支: 生体肝移植レシipientの身体活動介入の効果に関する文献検討, 日本看護研究学会 第45回学術集会, 2019年8月, 大阪.
- 薬師寺佳菜子, 藤田君支: 股関節置換術期待調査の日本語版の異文化間適応, 信頼性および妥当性, 日本看護研究学会 第45回学術集会, 2019年8月, 大阪.

○ 学会以外での講演, 発表

- 樗木晶子: 閉経後高血圧について, 第8回臨床高血圧フォーラム, 2019年05月, 福岡県久留米.
- 樗木晶子: 私たちのダイバーシティに向けて, 第113回日本消化器病学会九州支部例会女性医師の会, 2019年5月, 福岡県福岡市.
- 樗木晶子: 医師の働き方から見た女性医師支援, 鹿児島大学病院院内講演会, 2019年12月, 鹿児島県.
- 樗木晶子: デバイス患者のQOL向上を目指して, 第12回植込みデバイス関連冬季大会, 2020年2月, 愛知県名古屋市.
- 樗木晶子: 働き方改革の中での女性医師支援, 令和元年度福岡県医師会勤務医部会・男女共同参画部会合同研修会, 2020年2月, 福岡県福岡市.
- 橋口暢子: 温熱環境と健康, 放送大学 Step-up セミナー 2020年2月, 福岡学習センター.

著作

1. 単行本

- 樗木晶子 編集: 清水昭彦: (共著) 不整脈の考え方, 治し方 9-1「研修医からの質問-不整脈の何がわからない? 心電図関係」, 2019年06月, 中外医学社.
- 樗木晶子: (共著) 「心電図」 大きな心臓, 「かつこいい循環器医」, 2019年05月, 日本不整脈心電学会.
- 樗木晶子 編集: 厚生労働科学研究難治性疾患政策研究事業: (共著) 「心電図」周産期心筋症診療の手引き, 2019年04月, 中外医学社.
- 樗木晶子: (単著) 学士鍋(九州大学医学部同窓会誌) 巻頭言 私たちのダイバーシティーに向けて, 2019年06月, 九州大学医学部同窓会.
- 樗木晶子 監修: 真茅みゆき 編集: 池亀俊美・加藤尚子・大津美香: (共著) 心不全ケア教本 第2班 合併症を有する心不全患者の治療とケア 心房細動(AF)を合併する心不全患者の治療とケア, 2019年05月, メディカルサイエンスインターナショナル.
- 樗木晶子: (単著) 日本臨牀 増刊号 心不全(第2班)下 最新の基礎・臨床研究の進歩 : XX. 心不全の併存証-病態・治療- 「不整脈 徐脈性不整脈」, 2019年05月, (株)日本臨牀.
- 樗木晶子: (共著) 「心電図」周産機心筋症診療の手引き, 2019年04月, 中外医学社.

- 樗木晶子:(単著)「合併症を有する心不全患者の治療とケア 心房細動(AF)を合併する心不全患者の治療とケア」, 心不全ケア教本第2班, 2019年6月, メディカルサイエンス(株)
- 樗木晶子:(単著)「女性ヘルスケア 女性のライフサイクルに伴う心疾患」, 2019年10月, 中山書店
- 樗木晶子:(単著)「冠動脈・静脈疾患・走行異常:シンドローム X・微笑血管狭心症」, 2019年11月, 日本臨床社
- 藤田君支:(共著)老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-老年看護学 高齢者に特有な疾患への看護におけるアセスメントとケア 呼吸器系疾患, 2019年05月, 日本臨床社.
- 諸隈誠一:(共著)母性看護学, 周産期における母子の異常と看護, 胎児・新生児の異常への看護, 胎児にみられる異常, 2019年12月, 株式会社メヂカルフレンド社.
- 藤田君支:(共著)「大腿骨近位部骨折とは, 大腿骨近位部骨折患者の看護」, 「変形性股関節症とは, 変形性股関節症患者の看護」 2020年1月, ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護(7), メディカ出版.

2. 総説

- 樗木晶子: 理想の男女共同参画を目指して「組織が変われば人が変わる」, 日本外科学会雑誌, 2019年04月.
- 樗木晶子: シンポジウム「心房細動の検出とリスク評価」心電図 keynote lecture, 第37回日本ホルターノンインベシブ心電学研究会 38 Supple1:32, 2019. 2019年10月.

3. 解説, 書評など

- 藤田君支: 研究成果から拓げる糖尿病療養支援, 日本糖尿病教育・看護学会誌, 2019年05月.
- 諸隈誠一: 大気汚染の周産期への影響について, 日本医事新報, 2019年12月.
- 濱田裕子: 乳幼児健診マニュアル第6版, 助産雑誌, 2020年01月.
- 丸山マサ美: 追悼山本捷子先生ご著書『あとふみそわか』の紹介を添えて, 日本看護歴史学会誌32号, 2019年06月.

受賞

- 橋口, 「清拭における乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応とその性差」著者:黒川雄平 立石礼望 東八千代 廣瀬仁美 能登裕子 橋口暢子学会名:日本人間工学会九州・沖縄支部第40回大会」, 優秀発表賞, 日本人間工学会九州・沖縄支部第40回大会, 2019年11月.
- 宮田, 「発達障害に伴う排泄障害に漢方治療が奏功した4例」, 第45回日本東洋医学会九州支部学術総会奨励賞, 日本東洋医学会九州支部, 2019年11月.

報道

- 諸隈, NHK Eテレ, 「「ふしぎエンドレス」5年生[理科 小5] おなかの赤ちゃんはどう育つ?(おなかの赤ちゃんはねているの?)」, 2019年07月.
- 濱田, 西日本新聞, 「福岡子どもホスピスプロジェクトの活動と今後の展開について」, 2019年12月.
- 濱田, 読売新聞, 「福岡子どもホスピスプロジェクトの活動と展開」, 2019年09月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 濱田, 障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト, 2016年04月～2021年03月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 樗木, 台北医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2020年01月～2020年01月(2週間未満)
- 橋口, 台北医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2020年01月～2020年01月(2週間未満)
- 藤田(君)(タイ), 国際学会, 2020年01月～2020年01月(2週間未満)
- 濱田, Francis House Children's Hospice(UnitedKingdom), その他, 2019年12月～2019年12月(2週間未満)
- 濱田, Brighton and Sussex Medical School(UnitedKingdom), 国際会議, 2019年07月～2019年07月(2週間未満)
- 濱田, Pusan University(Korea), 国際会議, 2019年06月～2019年06月,

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

- ・ 李キンセン 修士課程

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 虚血性疾患用遺伝子治療製剤 DVC1-0101 第 IIb 相試験における効果安全性評価委員
- 樗木, 九州大学若手女性研究者・女子大学院生優秀研究者賞選考委員
- 樗木, 循環器専門医資格認定試験の作問世話人
- 樗木, 九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター 副センター長
- 藤田(君), 基幹教育委員会委員
- 藤田(君), 全学教育委員会委員

2. 部局委員

- 諸隈, 医学図書館運営委員会委員
- 諸隈, 倫理委員会委員
- 丸山, 医療系統合教育研究センター委員会委員
- 宮田, 百人部会委員
- 木原, 安全衛生委員会委員

3. 部門・コース内委員

- 樗木, 保健学部門長
- 樗木, 九州大学病院特定認定再生医療等委員会委員(副委員長)
- 樗木, 九州大学特定臨床研究監査委員会委員
- 樗木, 基幹教育院倫理委員会委員
- 樗木, 再生倫理委員会委員
- 樗木, 人事委員会委員
- 中尾, 学生委員会副委員長
- 中尾, 広報委員会委員長
- 藤田(君), 教務委員会委員長
- 藤田(君), 副分野長
- 藤田(君), 実習委員会委員
- 橋口, 実習委員会委員長
- 橋口, 地域国際連携推進委員会/FD 実行委員会委員長
- 橋口, 入試実施委員会委員
- 橋口, 看護学分野国際 WG 委員長

- 諸隈, 将来計画, 点検・評価・年報委員会委員長
- 諸隈, 教務委員会副委員長
- 濱田, 地域国際連携推進委員会/FD 実行委員会委員
- 濱田, 看護学分野国際 WG 委員
- 能登, 実習委員会委員
- 能登, 施設環境委員会委員
- 松尾, 看護研究委員会委員
- 宮田, 看護学分野国際 WG 委員
- 宮田, 地域国際連携推進委員会/FD 実行委員会委員
- 潮, 実習委員会委員
- 潮, 支線 LAN 管理・KITE 連絡員
- 酒井, 看護研究委員会委員
- 酒井, 実習委員会委員
- 道面, 地域国際連携推進委員会/FD 実行委員会委員
- 道面, 看護学分野国際 WG 委員
- 前野, 地域国際連携推進委員会/FD 実行委員会委員
- 前野, 看護学分野国際 WG 委員
- 松本, 広報委員会委員
- 山口, 看護学分野国際 WG 委員
- 山口, 地域国際連携委員会/FD 実行委員会委員
- 森口, 看護研究委員会委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師
- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師
- 中尾, 福岡県看護協会認定看護師教育センター, 非常勤講師
- 藤田(君), 京都大学大学院 非常勤講師
- 橋口, 放送大学, 客員教員
- 橋口, 放送大学面接授業講師
- 諸隈, 同志社大学・赤ちゃん学研究センター・嘱託研究員
- 諸隈, 同志社大学・赤ちゃん学研究センター, 非常勤講師
- 濱田, 久留米大学大学院, 非常勤講師
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック実習指導者養成講習会, 非常勤講師
- 青本, 福岡県看護実習指導者講習会, 非常勤講師
- 青本, 福岡看護高等専修学校, 非常勤講師

- 能登, 福岡県看護協会新人看護職員教育担当者研修, 集中講義
- 能登, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 非常勤講師
- 松尾, 放送大学 面接授業講師
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院 修士課程, 集中講義
- 丸山, 純真学園大学保健医療学部, 非常勤講師
- 宮田, 原看護専門学校, 非常勤講師
- 潮, 九州大学病院実習指導者会議, 非常勤講師
- 潮, 福岡県専任教員養成講習会, 非常勤講師
- 山口, 福岡県立大学大学院看護学研究科, 非常勤講師

2. 学協会

- 樗木, 日本看護研究学会, その他(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会ダイバーシティ推進委員会, 理事(代表理事), 国内.
- 樗木, 日循 2018 年度発足の小児・成人先天性心疾患部会, 理事(代表理事), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, その他(役員:男女共同参画委員長 あり方委員会委員), 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, その他(第三期監事), 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本性差医学・医療学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, 運営委員(代議員), 国内.
- 樗木, 日本心臓病学会, その他(FJCC 会員), 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会(旧 日本循環器管理研究協議会), 理事(プログラム委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会編集委員会「心電図」委員, 編集委員(編集委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 査読委員(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本健康支援学会, 編集委員(編集委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会「専任査読委員」, 査読委員(「専任査読委員」), 国内.
- 中尾, 日本看護管理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本がん看護学会, その他(代議員), 国内.
- 中尾, 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護倫理学会, 評議員(学術活動推進委員会委員), 国内.
- 中尾, 日本看護学教育学会誌, 査読委員, 国内.

- 中尾, 生命倫理(日本生命倫理学会誌), 編集委員, 国内.
- 藤田(君), 九州慢性看護研究会, その他, 国内.
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, 理事, 国内.
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本慢性看護学会, 評議員(評議員), 国内.
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, 編集委員長, 国内.
- 藤田(君), 日本看護科学学会, 査読委員(評議委員), 国内.
- 藤田(君), 日本看護研究学会九州沖縄地方会, 役員, 国内.
- 橋口, 人間—生活環境系学会, 評議員, 国内.
- 橋口, 日本生理人類学会, 評議員, 国内.
- 橋口, 日本循環器看護学会査読委員, 国内.
- 橋口, 福岡県看護協会 WOC 入試委員, 国内.
- 諸隈, 日本あかちゃん学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本発達神経科学会, 理事, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 評議員, (査読委員) 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 倫理委員会委員, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会, 評議員(査読委員), 国内.
- 濱田, 九州沖縄小児看護教育研究会, 幹事, 国内.
- 濱田, 日本看護研究学会 看護保険連合 WG, 国内.
- 能登, バイオメディカルファジイシステム学会, 運営委員(評議員兼任), 国内.
- 能登, 日本人間工学会, 評議員, 国内.
- 能登, 日本人間工学会九州・沖縄支部, 理事, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 副理事長(研究推進委員会・渉外委員会, 六史学会), 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, その他(国内学術交流委員会委員・国際学術交流委員会委員), 国内.
- 丸山, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 査読委員, 国内.
- 丸山, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 編集委員(査読委員), 国際.
- 宮田, 日本小児漢方研究会幹事, 国内.
- 宮田, 看護学系漢方教育研究会幹事, 国内.
- 道面, 日本糖尿病教育・看護学会, 査読委員, 国内.
- 藤田(紋), 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 前野, 日本糖尿病教育・看護学会誌, 編集委員, 国内.
- 山口, 日本救急看護学会, 評議員(査読委員), 国内.

- 山口，日本救急看護学会雑誌，査読委員，国内.
- 酒井，福岡県看護協会，福岡県看護協会学会研究発表支援員，国内

3. 官界

- 樗木，特別研究員等審査会専門委員，日本学術振興会.
- 樗木，卓越研究員候補者選考委員会書面審査員，日本学術振興会
- 樗木，国際事業委員会書面審査員・書面評価員，日本学術振興会
- 中尾，「福岡県内の保健・医療・福祉施設における身体拘束の廃止状況の調査，広報，研修を通して身体拘束廃止の取り組み推進」，福岡県保健医療介護部：福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議
- 諸隈，科学研究費委員会専門委員，日本学術振興会

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 樗木，「糸島市保健・医療・健康づくり推進協議会委員」
- 樗木，「公益財団法人 木村記念循環器財団第 36 回研究助成選考委員」
- 樗木，「学校法人福岡学園評議員」
- 樗木，「福岡市健康づくりサポートセンター指定管理者選定委員」
- 樗木，「福岡市国民健康保険運営協議会会長」
- 樗木，「福岡市男女共同参画推進委員会委員長」
- 樗木，「福岡市保健福祉審議会委員」
- 樗木，「福岡市公務災害補償等認定委員会委員」
- 樗木，「福岡県医師会男女共同参画部会委員長」
- 樗木，「福岡県保健福祉審議会委員，健康医療部会長」
- 樗木，「福岡県医療審議会委員」
- 樗木，「福岡県男女共同参画審議会 会長」
- 樗木，「福岡県女性医師キャリア支援形成支援検討委員会委員長」
- 能登，「公益社団法人福岡県看護協会認定看護管理者教育運営委員」
- 青本，「看護キャリアセンター運営委員会委員」
- 山口，「看護キャリアセンター運営委員会委員」
- 山口，「災害医療小委員会委員」

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木，「医療現場のことや命の尊さ，大学生の指導に関すること，女子中高生に期待すること」，築地女学園高等学校，，講演会・公開討論.
- 中尾，「看護師が経験する看護倫理 -事例を通して学ぼう-」，産業医科大学若松病院，北九州市若松区，セミナー・研修会.

- 中尾,「看護師が経験する看護倫理 -事例を通して学ぼう-」,産業医科大学病院,北九州市八幡西区,セミナー・研修会.
- 濱田,「地域で支える重い病気や障がいのある子どものいのちと育ち」,久留米大学文医融合プロジェクト,講演会・公開討論.
- 濱田,「家族支援・グリーフケア」,小児緩和ケア人材育成プログラム,セミナー・研修会.
- 濱田,「地域で支える重い障がいのある子どものいのちと育ち～福岡子度ホスピスプロジェクトの活動～」,第20回JHHHネットワーク会議全国大会,研修会.
- 濱田,「小児のエンド・オブ・ライフケア」,障がい児訪問看護研修,熊本大学大学院生命科学研究部,熊本小児在宅ケア研究会,セミナー・研修会.
- 青本,「実習指導者講習会」,九州大学病院看護部,九州大学病院,セミナー・研修会.
- 丸山,「純真学園大学保健医療学部・臨床指導者講習会 講演」,純真学園大学保健医療学部,福岡市南区筑紫丘 1-1-1,講演会・公開討論.
- 丸山, NPO ヒトの教育の会(常任代議員)2019.1月～,九州大学百年講堂,セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 樗木,「医療現場のことや命の尊さ,大学生の指導に関すること,女子中高生に期待すること」,筑紫女学園中学校,講演・セミナー等.

看護学分野

《広域生涯看護学》

教授	谷口 初美
教授	鳩野 洋子
准教授	川田 紀美子
准教授	寺岡 佐和
准教授	前野 有佳里
講師	野口 ゆかり
助教	木村 一絵
助教	佐藤 洋子
助教	末次 美子
助教	福田 陽子
助教	藤田 貴子

1. 教育活動

1. 大学院講義

母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	谷口	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	谷口	前期
地域国際母子保健論Ⅱ(分担)	谷口	前期
地域国際母子保健論Ⅱ(分担)	谷口	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	谷口	前期
基礎助産学(分担)	谷口	前期
看護学研究方法論Ⅱ(分担)	谷口	前期
Women's Health(分担)	谷口	前期
助産マネジメント論Ⅱ(分担)	谷口	後期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	谷口	後期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	谷口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅰ(分担)	谷口	後期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	鳩野	春学期
地域国際母子保健論Ⅰ(分担)	鳩野	春学期
地域看護学特論Ⅰ(分担)	鳩野	前期
地域看護学特論Ⅱ(分担)	鳩野	後期
基礎助産学地域国際母子保健論Ⅰ(分担)	川田	前期
Women's Health 補完代替医療(分担)	川田	春学期
周産期の薬理学(分担)	川田	夏学期
Women's Health(分担)	川田	春学期
地域国際母子保健論Ⅰ(分担)	川田	春学期
地域国際母子保健論Ⅱ(分担)	川田	夏学期
看護学研究方法論Ⅱ(分担)	川田	夏学期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	川田	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	川田	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	川田	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ(分担)	川田	冬学期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	川田	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅰ(分担)	川田	秋学期
地域看護学特論Ⅰ(分担)	寺岡	前期
地域看護学特論Ⅱ(分担)	寺岡	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	寺岡	前期

看護研究方法論Ⅰ(分担)	寺岡	春学期
地域看護学特論Ⅰ(分担)	前野	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	前野	春学期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ(分担)	野口	冬学期
生命倫理・遺伝相談カウンセリング論(分担)	野口	冬学期
助産マネジメント論Ⅰ(分担)	野口	秋学期
Women's Health(分担)	野口	春学期
基礎助産学(分担)	野口	前期
リプロサイエンスⅠ(分担)	野口	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	野口	前期
リプロサイエンスⅡ(分担)	野口	後期
助産マネジメント論Ⅱ(分担)	野口	後期
国際社会とチーム医療(分担)	野口	前期
地域看護学特論Ⅱ(分担)	木村	後期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	佐藤	夏学期
Women's Health(分担)	佐藤	春学期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	佐藤	後期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	末次	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	末次	夏学期
Women's Health(分担)	末次	春学期
基礎助産学(分担)	末次	前期
Women's Health 補完代替医療(分担)	末次	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	福田	後期
基礎助産学(分担)	福田	前期
Women's Health(分担)	福田	春学期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	福田	夏学期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	福田	前期

2. 大学院実験・実習

助産学実習Ⅱ(分担)	谷口	後期
助産学総合実習Ⅱ(分担)	谷口	前期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	谷口	後期
助産学総合実習Ⅱ(分担)	川田	前期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	川田	後期
助産学実習Ⅰ(分担)	野口	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	野口	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	野口	後期
助産学総合実習Ⅱ(分担)	野口	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	佐藤	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	佐藤	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	末次	前期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	末次	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	福田	後期
助産学実習Ⅰ(分担)	福田	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	福田	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	福田	前期

3. 大学院演習

看護学特別研究	谷口	通年
高次助産診断・技術学演習(分担)	谷口	後期
保健学特別研究	鳩野	通年
看護学特別研究	鳩野	通年
看護学特別研究	川田	通年

高次助産診断・技術学演習(分担)	川田	後期
高次助産診断・技術学演習(分担)	野口	後期
高次助産診断・技術学演習(分担)	末次	後期
高次助産診断・技術学演習(分担)	佐藤	後期
高次助産診断・技術学演習(分担)	福田	後期

4. 大学院修士課程修了者

長崎 はる希	母親が子ども時代に自身の母親から受けた養育体験がわが子に対する潜在的虐待リスクに与える影響
松尾 笑子	就労妊婦のワーク・ファミリー・コンフリクト(WFC)と妊娠期の心理的適応状態との関連
鶴田 有美子	助産師の異文化経験や異文化間感受性が外国人妊産婦への共感援助行動に与える影響
山中 ちさと	女子大学生の母娘関係の特徴と家庭内性教育及び性的リスク対処意識との関連

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

母性看護学各論Ⅰ(分担)	谷口	冬学期
国際保健と医療(分担)	谷口	春学期
公衆衛生看護学概論(分担)	鳩野	後期
公衆衛生看護管理論(分担)	鳩野	秋学期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護展開論Ⅰ	鳩野	夏学期
公衆衛生看護展開論Ⅱ(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護展開論Ⅲ(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	鳩野	前期
疫学(分担)	鳩野	秋学期
国際保健と医療(分担)	鳩野	後期
看護研究Ⅱ(分担)	川田	夏学期
母性看護学各論Ⅰ(分担)	川田	冬学期
国際保健と医療(分担)	川田	後期
公衆衛生看護学概論(分担)	寺岡	後期
在宅看護概論	寺岡	秋学期
公衆衛生看護管理論(分担)	寺岡	後期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	寺岡	前期
看護研究Ⅰ(分担)	寺岡	前期
保健医療福祉行政論Ⅰ	前野	春学期
看護研究Ⅰ(分担)	前野	春学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担)	前野	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	前野	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	前野	前期
公衆衛生看護支援論Ⅰ(分担)	前野	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	前野	前期
公衆衛生看護管理論(分担)	前野	秋学期
母性看護学概論(分担)	野口	冬学期
母性看護学各論Ⅰ(分担)	野口	春学期
疫学(分担)	木村	秋学期
公衆衛生看護支援論Ⅰ(分担)	木村	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	木村	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	木村	前期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	佐藤	春学期

母性看護学各論Ⅱ(分担)	佐藤	冬学期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	末次	春学期
母性看護学各論Ⅰ(分担)	末次	前期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	福田	春学期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	福田	冬学期
保健統計学	藤田(貴)	冬学期
公衆衛生看護学概論(分担)	藤田(貴)	後期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	藤田(貴)	前期
公衆衛生看護支援論Ⅰ(分担)	藤田(貴)	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	藤田(貴)	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担)	藤田(貴)	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	藤田(貴)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

総合実習(分担)	谷口	前期
母性看護学実習(分担)	谷口	後期
看護研究Ⅲ(分担)	谷口	通年
看護研究Ⅳ(分担)	谷口	通年
看護研究Ⅲ(分担)	鳩野	通年
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	鳩野	前期
看護研究Ⅳ(分担)	鳩野	通年
母性看護学各論Ⅱ(分担)	川田	春学期
母性看護学実習(分担)	川田	後期
母性看護学実習(分担)	川田	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	野口	春学期
総合実習(分担)	野口	前期
母性看護学実習(分担)	野口	春学期
在宅看護論各論(分担)	寺岡	前期
総合実習(分担)	寺岡	前期
在宅看護論実習(分担)	寺岡	通年
看護研究Ⅲ(分担)	寺岡	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	前野	前野
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	前野	前期
看護研究Ⅲ(分担)	前野	前期
総合実習(分担)	前野	通年
在宅看護論各論(分担)	木村	前期
総合実習(分担)	木村	前期
看護研究Ⅲ(分担)	木村	通年
母性看護学各論Ⅱ(分担)	佐藤	前期
総合実習(分担)	佐藤	前期
母性看護学実習(分担)	佐藤	後期
看護研究Ⅲ(分担)	佐藤	通年
母性看護学実習(分担)	末次	後期
総合実習(分担)	末次	前期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	末次	前期
母性看護学実習(分担)	福田	後期
総合実習(分担)	藤田(貴)	通年
在宅看護論各論(分担)	藤田(貴)	前期
在宅看護論実習(分担)	藤田(貴)	前期
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	藤田(貴)	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	藤田(貴)	前期
看護研究Ⅲ(分担)	藤田(貴)	通年

8. 卒業論文作成者

鶴田 加恋	大学生が属する集団に対する主観的ソーシャル・キャピタルとレジリエンスとの関連
湯村 雛乃	健康状態と社会経済的要因の関連に関する研究
濱地 彩理紗	産業保健における自閉症スペクトラム障害者の支援に関する文献検討
重松 里奈	地域・職域連携の現状と課題に関する文献検討
鈴木 晶力紗	特定健康診査における未受診者の特徴に関する文献検討—効果的な受診率向上の視点から—
小野 早彩華	認知症高齢者に対するアロマセラピーを用いたプログラムに関する文献研究
満武 結花	子どもを対象とした音楽療法の内容と効果に関する文献研究
戸高 菜緒	既往帝王切開後の経陰分娩(TOLAC)希望の母に対する支援の検討
松山 理乃	母子分離状態にある母親への愛着形成を促進する看護ケア
高山 実紀	高血圧リスクを上昇させる労働条件に関する文献検討
田中 久美子	アルコール依存症患者の自助グループ加入前後における心理的变化に関する文献検討
鈴木 楓	弾性ストッキングによる皮膚トラブルと有効な対処の検討
堀田 絵梨奈	合計特殊出生率に関する要因の検討
大内田 綾香	日常生活に制限のある期間に関する要因の検討
古山 夏葵	エジンバラ産後うつ病自己評価表によるスクリーニングを効果的に行うために
田川 芽久	出産の満足度を高める効果と高めるための看護職の支援
蔵富 明日香	高年初産婦の産後早期の育児ストレス要因
西田 千穂	NICU に入院した児をもつ母親の育児不安の要因
宮崎 夏帆	エコー検査及び医療者の対応に対する妊婦の認識
福島 詩織	高齢初妊婦と非高齢初妊婦における心理社会的側面の適応状態の比較
小原 美幸	女子大学生における子宮頸がん検診行動に関する因子の検証
川原 瑠海	女子大学生における父娘関係の特徴と家庭内性教育との関連
井上 茉優	出生前診断で胎児異常を告げられた妊婦の思いとその支援
川崎 花菜	母乳育児継続に影響する時期別の促進・阻害要因とその支援についての検討
此元 沙綾	多胎児を育てる母親の思いとその支援について
細波 絵莉子	産後うつにおける初産婦と経産婦の違いとその支援

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	モンゴルの妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ	谷口
2	Transition の概念を用いた女性と家族の各ライフステージに影響を及ぼす性と生殖に関する問題に関する研究	谷口
3	母親・父親になる過程に関する研究	谷口
4	地域国際母子保健に関する研究	谷口
5	シミュレーション学習に関する研究	谷口
6	行政保健師のアドボカシー	鳩野
7	出産後の母子の QOL 向上を目的とする妊娠期ケアの研究	川田
8	健康行動と母子関係に関する研究	川田
9	健康行動と母子関係に関する研究環境汚染の母子への影響に関する研究	川田

10	住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解に関する研究	寺岡
11	認知症高齢者の QOL に関する研究	寺岡
12	市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発	前野
13	生涯にわたる母児の健やかな成長・発達のための健康支援	野口
14	思春期における健康支援・健康教育に関する研究	野口
15	妊娠・分娩・産褥期の母児の健康支援・健康教育に関する研究	野口
16	生活習慣・光環境が妊娠中の母児に与える影響に関する研究	野口
17	助産学シミュレーション教育に関する研究	野口
18	地域保健分野における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討ーランダム化比較試験ー	木村
19	幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関する研究	木村
20	妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに対する自己効力感	佐藤
21	母親の出産体験とボンディングに関する研究	末次
22	ボンディング障害のスクリーニング方法に関する研究	末次
23	レセプトデータを使用した健康指標への評価	藤田(貴)
24	喫煙が健康に与える影響	藤田(貴)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

谷口 初美

- 「基盤研究(C)」日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 谷口(代表)
- 「基盤研究(B)」母乳育児が産後うつ症状と Bonding に及ぼす影響, 谷口(分担)
- 「基盤研究(C)」看護シミュレーション教育ファシリテーターの自信を育てるプログラムの開発, 谷口(分担)

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」公衆衛生看護におけるアドボカシーおよび関連要因の明確化に関する研究, 鳩野(代表)
- 「基盤研究(C)」子育て世代のがんサバイバーのコミュニティ・エンパワメントモデル開発に関する研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」精神障害者支援における市町村と基幹相談支援センターとの協働に関する研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」5日間連続夜勤を開始する新規採用職員の疲労・ストレス・眠気に関する縦断研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」組織変容を伴うプリセプター保健師教育支援プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」中高年ジェネラリストナースの役割遂行尺度の開発, 鳩野(分担)

川田 紀美子

- 「基盤研究(C)」総排泄腔遺残症患者の母子関係の特徴と家庭における性教育との関連, 川田(代表)

- 「基盤研究(C)」日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 川田(分担)

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 寺岡(代表)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」精神障害者支援における市町村保健師の基幹相談支援センターとの協働技術指標の開発, 前野(代表)

野口 ゆかり

- 「基盤研究(C)」総排泄腔遺残症患者の母子関係の特徴と家庭における性教育との関連, 野口(分担)
- 「基盤研究(C)」日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 野口(分担)

木村 一絵

- 「基盤研究(C)」エビデンスに基づく家族関係再構築支援プログラムの確立, 木村(分担)
- 「基盤研究(C)」地域保健における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討, 木村(代表)

佐藤 洋子

- 「若手研究」妊娠糖尿病発症および周産期合併症に関連する生活因子調査, 佐藤(代表)
- 「基盤研究(C)」日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 佐藤(分担)

末次 美子

- 「基盤研究(C)」ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ, 末次(代表)
- 「基盤研究(C)」日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 末次(分担)
- 「基盤研究(C)」妊娠各期の至適体重増加とそれに関連する健康行動・心理社会的要因:コホート研究(分担)

藤田 貴子

- 「研究活動スタート支援」健診・レセプトデータを使用した長期的な禁煙維持に影響を与える要因の評価, 藤田(貴)(代表)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)」保健師活動の展開推進及び統括保健師の役割遂行能力開発, 鳩野(分担)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Mary Renfrew, Elena Ateva, Jemima Dennis-Antwi, Deborah Davis, Lesley Dixon, Peter Johnson, Holly Kennedy, Anneka Knutsson, Ornella Lincetto, Fran McConville, Alison Mcfadden, Hatsumi Taniguchi, Petra Bender, Willibald Zeck. Midwifery is a vital solution-What is holding back global program? Birth, 001-4, 2019. DOI:10.1111/hirt.12442 (査読あり)
- 齋藤嘉宏, 鳩野洋子: 在宅認知症者の介護者がうつ状態に至る要因における性差, 日本看護研究学会誌 42, 1, 87 - 98, 2019 年 04 月. (査読あり)
- 草野恵美子, 鳩野洋子, 中山貴美子, 合田加代子: 発達障害児とその家族に対する地域支援に関する研究についての文献検討, 大阪医科大学看護研究雑誌, 10, 43 - 50, 2020 年 03 月. (査読あり)
- 松尾笑子, 川田紀美子: 「妊娠期の母親役割」の概念分析, 母性衛生, 60, 4, 596 - 605, 2020 年 01 月. (査読あり)
- 豊増理伽, 川田紀美子: まもなく父親になる男性における, 理想の父親像と夫役割行動実践との関連, 母性衛生, 60, 4, 534 - 542, 2020 年 01 月. (査読あり)
- 溝口巴奈, 川田紀美子: 初めて親になる男性における, 父親としての発達とパートナーの里帰りとの関連, 日本助産学会誌, 33, 2, 153 - 164, 2019 年 12 月. (査読あり)
- Kimiko Kawata; Toshiyuki Hikita; Sayaka Takanashi; Hiroyuki Hikita; Kaori Ogita; Shoko Okitsu; Sheikh Ariful Hoque; Tung Gia Phan; Ushijima Hiroshi.: Diagnosis of Acute Gastroenteritis with Immunochromatography and Effectiveness of Rotavirus Vaccine in a Japanese Clinic, Access Microbiology, 2(3), 1 - 6, 2019 年 11 月. (査読あり)
- 原山和子, 川田紀美子: 10 代女性の妊娠・出産・育児に対し, 助産師が感じることとその影響要因. 母性衛生, 60, 1, 159 - 167, 2019 年 04 月. (査読あり)
- Sawa Teraoka: Effects of a three-year horticultural program on behaviors symptomatic of dementia in daily life among small-scale multifunctional care facility users, Journal of Gerontological Nursing and Caring Research, 10(1), 11-21, 2019 年 09 月. (査読あり)
- 吉田真一郎, 馬場園明, 姜鵬, 藤田貴子: 福岡県後期高齢者医療制度における集中治療受療率の地域差, 日本医療・病院管理学会誌, 56, 4, 173 - 180, 2019 年 12 月. (査読あり)
- Peng Jiang, Akira Babazono, Takako Fujita: Health Inequalities Among Elderly Type 2 Diabetes Mellitus Patients in Japan, Population Health Management, Epub ahead of print, 2019 年 10 月. (査読あり)

- Takako Fujita, Akira Babazono, Yumi Harano, Peng Jiang: Influence of Occupational Background on Smoking Prevalence as a Health Inequality Among Employees of Medium- and Small-Sized Companies in Japan, Population Health Management, Epub ahead of print, 2019 年 06 月. (査読あり)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hinako Koga, Miyuki Obara, Moe Ito, Mayu Toyonaga, Kimiko Kawata: The association between sexually transmitted infections (STIs) aspect knowledge of cervical cancer and STI prevention behavior awareness among female university students, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020 年 02 月, Japan.
- Hana Mizoguchi, Ayumi Miyahara, Akane Kizu, Machiko Oumar, Kimiko Kawata: The current situation of women's homecoming around childbirth in Japan, and factors relating to the development as a father, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020 年 02 月, Japan.
- Hiroshi Ushijima, Kimiko Kawata, Tomoaki Okuda, Ariful Hoque, Akiko Nomura, Yuko Shimizu-Onda, Shoko Okitsu, Pattara Khamrin, Sayaka Takahashi, Satoshi Hayamawa, Niwat Maneekarn: Detection of gastroenteritis viruses in environmental rain waters and dusts, 7th International Calicivirus Conference, 2019 年 10 月, Australia.
- Yohei Mukai, Kento Morita, Nobu C. Shirai, Tetsushi Wakabayashi, Harumi Shinkoda, Asami Matsumoto, Yukari Noguchi, Masako Shiramizu: Automatic Classification of Neonatal Sleep-Wake States Based on Facial Video Analysis, Proceedings of 4th International Conference on Information Technology Research 2019 (ICITR 2019), (Best Paper Award) (査読あり), 2019 年 12 月, Sri Lanka.
- Takako Fujita, Akira Babazono, Peng Jiang: Evaluation of factors affecting the maintenance of smoking cessation among individuals in Japan, TID (Tobacco Induced Diseases) 15th Annual Conference, 2019 年 10 月, Japan.

○ 大学・研究機関などの刊行誌 なし

○ 調査研究報告

- 谷口初美, 岡本喜代子, 山本詩子, 安達久美子, 佐藤洋子, 末次美子, 野口ゆかり, 川田紀美子, Jargalsaikhan. B, Davaasuren. S: ICM Twinning Project Report 2016-2019 モンゴルの妊婦肥満予防への取り組み, 2019 年 10 月.
- Yumi Nishiki, Yoshiko Suetsugu, Hiroshi Yamashita, Keiko Yoshida: Use of the Stafford Interview for assessing perinatal bonding disorders, BMJ Case Report, 2019 年 12 月.

○ 国内学会での講演, 発表

- 谷口初美: 補完代替医療と看護ケア, 第1回日本伝統医療看護連携学会学術集会, 2019年12月, 仙台市.
- 川添琴美, 谷口初美: 仕事を持ち高齢で出産した女性を感じる子どもとの関係, 第39回日本看護科学学会学術集会, 2020年03月, 金沢市.
- 濱田優子, 大森博子, 馬場順子, 佐野正, 作本和美, 岩河内弘子, 吉永敦子, 坂本睦子, 森松薫, 岩佐一弘. 嶋野洋子: 県内市町村における非常勤保健師雇用の現状と課題, 福岡公衆衛生学会, 2019年05月, 福岡市.
- 嶋津多恵子, 嶋野洋子, 吉野純子, 遠藤直子, 麻原きよみ: 地方自治体におけるプリセプター保健師研修の実態～都道府県・保健所設置市, 特別区を対象とした全国調査～, 日本地域看護学会第22回学術集会, 2019年08月, 横浜市.
- 嶋野洋子, 嶋津多恵子, 吉野純子, 遠藤直子, 麻原きよみ: 地方自治体におけるプリセプター保健師研修の実態～研修の有無別自治体の属性と未実施自治体の抱える困難～, 日本地域看護学会第22回学術集会, 2019年08月, 横浜市.
- 嶋野洋子, 島田美喜, 弓場英嗣, 尾島俊之, 藤木聡美, 増田和茂: 市町村保健事業の実施状況とその推移(第1報), 日本公衆衛生学会, 2019年10月, 高知市.
- 島田美喜, 嶋野洋子, 弓場英嗣, 尾島俊之, 藤木聡美, 増田和茂: 市町村保健事業の実施状況とその推移(第2報), 日本公衆衛生学会, 2019年10月, 高知市.
- 緒方文子, 嶋野洋子: 5日間連続夜勤における日周期性疲労の変動—慢性疲労が高い群と低い群との比較—, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.
- 馬場順子, 嶋野洋子: 福岡県内市町村における非常勤保健師の活動状況の現状と課題, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.
- 阿部朱美, 嶋野洋子, 寺岡佐和: 住民組織活動が地域づくりに発展するための保健師の支援内容に関する研究, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.
- 荒木善光, 嶋野洋子, 前野有佳里: アルコール依存症者に対する訪問看護師のケア内容, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.
- 嶋津多恵子, 嶋野洋子: 根付かせよう! プリセプターシップとプリセプター保健師研修, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.
- 嶋野洋子: 日常業務の中で扱う情報の公表～倫理と個人情報保護の視点から～, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.
- 吉野純子, 嶋津多恵子, 遠藤直子, 嶋野洋子, 麻原きよみ, 今野弘美, 清水雅子: 地方自治体におけるプリセプター保健師研修の実態～実施自治体における研修の現状と今後の課題, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.
- 遠藤直子, 嶋津多恵子, 吉野純子, 嶋野洋子, 麻原きよみ, 今野弘美, 清水雅子: 地方自治体におけるプリセプター保健師研修の実態～プリセプター研修の内容・方法および研修内容で重視していること～, 第8回日本公衆衛生看護学会, 2020年01月, 松山市.

- 川口賀津子, 鳩野洋子: 中高年ジェネラリスト看護師の役割遂行状況と関連要因, 日本看護科学学会, 2019 年 11 月, 金沢市.
- 鳩野洋子: 市町村保健師のワークエンゲイジメントへの関連要因—キャリア毎の比較, 日本看護科学学会, 2019 年 11 月, 金沢市.
- 山中ちさと, 川田紀美子: 女子大学生の母娘関係と, 家庭内性教育の実施状況および性的リスク対処意識との関連, 第 34 回日本助産学会学術集会, 2020 年 03 月, 新潟市.
- 竹内明香, 王丸真知子, 松尾笑子, 山中ちさと, 川田紀美子: 羊水検査前後の妊婦の思いと支援の検討, 第 60 回日本母性衛生学会学術集会, 2019 年 10 月, 東京.
- 前野有佳里: e-Stat を用いた地域看護診断方法の検討—高齢者の入浴時死亡の地域差—, 2019 年 10 月, 2019 年 10 月, 高知市.
- 原野由美, 馬場園明, 藤田貴子, 姜鵬: ドネペジルの生存と介護度に対する効果の検討, 第 38 回日本認知症学会学術集会, 2019 年 11 月, 東京.
- 姜鵬, 藤田貴子, 馬場園明: 後期高齢糖尿病患者の健康格差に関する研究, 第 57 回日本医療・病院管理学会学術総会, 2019 年 11 月, 新潟市.
- 塩本喬平, 馬場園 明, 原野由美, 藤田貴子, 姜鵬, 金晟娥, 中島康晴: 後期高齢者における椎体骨折, 大腿骨近位部骨折発生率調査 BMI との関連について, 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019 年 10 月, 高知市.

○ 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 谷口初美: (共著) 2020 年版 系統別看護師国家試験問題集, 2019 年 04 月, 医学書院.
- 荒賀直子, 後閑容子, 鳩野洋子, 神庭純子編著: (共著) 第 5 版公衆衛生看護学 jp, 2020 年 03 月, インターメディカル.
- 井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 他編. 鳩野洋子, 他.: (共著) 保健師業務要覧第 4 版, 2019 年 10 月, 日本看護協会出版会.
- 【分担執筆】川田紀美子. IV-6. 産褥期に異常となった褥婦の看護. IV 産褥期. 入山茂美・春名めぐみ・大林陽子 編: (共著) 現代の母性看護 各論, 2019 年 12 月, 名古屋大学出版.
- 寺岡 佐和: (共著) 2020 年版 保健師国家試験問題集, 2019 年 04 月, 医学書院.

2. 総説

- 谷口初美: ICM からのレポート in 2019 年下半期, 助産師, 74, 1, p.36-37, 2020 年 02 月.
- 谷口初美: 2019 年前半期の ICM (国際助産師連盟) の活動, 看護, 日本看護協会, 71, 10, p.58-59, 2019 年 8 月.

- 谷口初美, 川田紀美子, 野口ゆかり, 末次美子, 佐藤洋子, 福田陽子: 助産師教育機関紹介シリーズ 九州大学大学院医学系学府保健学修士課程助産学コース, 助産師, 73, 4, p.37-39, 2019 年 11 月.
- 谷口初美: Women Deliver Conference に出席して, 助産師, 73, 4, p.29-31, 2019 年 11 月.
- 谷口初美: 父が与えてくれた地球儀, 助産雑誌, 73, 9, p.723, 2019 年 09 月.
- 谷口初美: ICM 報告からのお便り, 助産師, 73, 3, p.28-29, 2019 年 08 月.
- 福田陽子, 谷口初美: 日本・ベトナムパートナーシップ主催アジア医療研修 2019 に参加して, 助産師, 74, 1, p.38-41, 2020 年 02 月.
- 野村美千江, 澤井美奈子, 鈴木知代, 和泉比佐子, 古川照美, 鳩野洋子, 宮崎紀枝. 佐伯和子: 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム(2017)の教育実践への活用, 保健師教育, 8, 1, 2019 年 06 月.(オンラインジャーナル)

3. 解説, 書評など なし

受賞

- 谷口, 「国際助産師の交流と助産師教育」, 村松志保子賞, 村松志保子助産師顕彰会, 2019 年 07 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張
 - 谷口, ICM Annual Board Meeting in Hague (Netherlands), 2019 年 05 月～2019 年 05 月

- 谷口, Women Deliver Conference in Vancouver (Canada), 2019 年 06 月～2019 年 06 月
- 谷口・福田, アジア医療研修 Hanoi (Vietnam), 2019 年 07 月～2019 年 07 月
- 谷口, モンゴル助産師会 Twinning Project in Ulan Bator (Mongolia), 2019 年 10 月～2019 年 10 月
- 谷口, ハワイ大学 シミュレーションセンター, Honolulu (United States of America), 2019 年 12 月～2019 年 12 月
- 鳩野, 台北医学大学, 2020 年 1 月
- 佐藤, Maternal Healthcare Project in Bangladesh (Bangladesh), 2020 年 01 月～2020 年 01 月
- 佐藤, Maternal Healthcare Project in Bangladesh (Bangladesh), 2019 年 06 月～2019 年 07 月

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

- 鳩野, 徐 昊楠 博士課程

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 鳩野, 21 世紀プログラム専門委員会
- 鳩野, 研究活動基礎支援専門委員会委員

2. 部局委員

- 藤田(貴), 百人部会

3. 部門・コース内委員

- 谷口, 施設環境委員会委員
- 谷口, 大学院委員会委員長
- 谷口, 広域生涯看護学講座長
- 谷口, 看護学分野 FD 実行委員

- 鳩野，副部門長
- 鳩野，看護分野長
- 鳩野，人事委員会委員
- 鳩野，将来計画，点検・評価委員会委員
- 鳩野，教員活動評価委員会委員
- 鳩野，再任審査委員会委員
- 鳩野，財務委員会委員
- 鳩野，総務委員会委員
- 鳩野，入学試験実施委員会委員
- 鳩野，保健学部門学生支援会運営委員会委員
- 鳩野，看護学分野実習委員会オブザーバー
- 鳩野，看護学分野国際ワーキング委員会 オブザーバー
- 鳩野，担任
- 川田，保健学部門学生支援会運営委員会委員.
- 川田，学生委員会委員
- 川田，看護学分野 FD 実行委員
- 川田，担任
- 寺岡，実習委員会委員
- 寺岡，教務委員会委員
- 寺岡，担任
- 野口，支線 LAN 管理委員
- 野口，保健学部門 KITE 連絡員
- 野口，看護学分野 FD 実行委員
- 前野，看護研究委員会委員長
- 前野，担任
- 木村，広報委員会委員
- 佐藤，修士院生室係
- 佐藤，看護学分野 FD 実行委員
- 佐藤，担任
- 末次，図書委員
- 末次，看護学分野 FD 実行委員
- 福田，看護研究委員会委員
- 福田，看護学分野 FD 実行委員
- 藤田(貴)，「保健学の明日を考える会」世話人
- 藤田(貴)，大学院院生室係

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 谷口，京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻非常勤講師
- 谷口，久留米大学看護学科非常勤講師
- 谷口，関西看護医療大学非常勤講師
- 末次，東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻，客員研究員

2. 学協会

- 谷口，ICM ，理事（西太平洋部門 理事），国際.
- 谷口，日本助産学会，理事，国内.
- 谷口，JANPU 日本看護系大学協議会，国際交流委員，国内.
- 谷口，日本・ベトナムパートナーシップ NGO，理事，国際.
- 谷口，Nursing & Health Sciences Reviewer，国際.
- 谷口，APIN (Asian/Pacific Island Nursing Journal) Reviewer，国際.
- 谷口，全国助産師教育協議会，将来構想委員会委員.
- 谷口，福岡母性衛生学会，理事，副議長.
- 谷口，日本看護科学学会，代議員.
- 谷口，日本看護科学学会，和文誌専任査読委員
- 谷口，日本助産師会，ツイニング委員長.
- 鳩野，日本公衆衛生看護学会，理事，国内
- 鳩野，日本公衆衛生看護学会，査読委員，国内.
- 鳩野，日本公衆衛生看護学会，倫理委員会委員長，国内.
- 鳩野，日本看護科学学会，査読委員，国内.
- 鳩野，日本地域看護学会，表彰論文選考委員会委員，国内.
- 鳩野，日本地域看護学会，査読委員，国内.
- 鳩野，福岡医学雑誌，編集委員，国内.
- 鳩野，日本看護研究学会誌，査読委員，国内.
- 鳩野，日本看護科学学会，査読委員，国内.
- 川田，NPO 法人 日本ラクテーションコンサルト協会，査読委員，国内.
- 川田，福岡母性衛生学会，幹事，国内.
- 川田，日本母乳哺育学会，査読委員，国内.
- 川田，日本母乳哺育学会，編集委員，国内.
- 寺岡，日本認知症ケア学会，その他（認知症ケア専門士認定試験論述・面接審査員），国内.

- 寺岡，一般社団法人日本認知症ケア学会，運営委員（一般社団法人日本認知症ケア学会 九州・沖縄1 地域部会 委員），国内.
- 前野，日本公衆衛生看護学会，査読委員，国内.
- 前野，応用心理学会，査読委員，国内.
- 野口，日本助産学会，代議員，国内.
- 野口，日本助産学会誌，査読委員，国内.
- 藤田(貴)，医療福祉経営マーケティング研究会，編集委員，国内.

3. 官界

- 谷口，福岡市こども・子育て審議会委員，福岡市.
- 谷口，福岡市総合計画審議会委員，福岡市.
- 鳩野，「看護基礎教育検討会保健師ワーキング委員会委員」，厚生労働省.
- 鳩野，「保健師教育モデルコアカリキュラム普及委員会委員」，一般社団法人全国保健師教育機関協議会.
- 鳩野，「福岡県地域保健従事者研修企画・運営委員会委員長」，福岡県.
- 鳩野，「福岡市保健福祉審議会委員」，福岡市.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 谷口，九州大学助産師同窓会，理事，国内.
- 鳩野，福岡県看護協会・教育研修再構築プロジェクト委員会・委員長，福岡県看護協会.
- 鳩野，九州大学病院看護キャリアセンター運営委員会，副委員長
- 鳩野，「教育委員会委員」，福岡県看護協会.
- 川田，九州大学助産師同窓会みのり会，庶務，国内.
- 前野，社会福祉法人 福岡あけぼの会，評議員，国内.
- 前野，社会福祉法人 福岡あけぼの会，第三者委員
- 野口，九州大学助産師同窓会みのり会，庶務，国内.
- 佐藤，九州大学病院看護教育研究推進ワーキンググループ研究指導.
- 末次，九州大学病院看護教育研究推進ワーキンググループ研究指導.
- 木村，九州大学病院看護教育研究推進ワーキンググループ研究指導.
- 福田，九州大学病院看護教育研究推進ワーキンググループ研究指導.
- 藤田(貴)，九州大学病院看護教育研究推進ワーキンググループ研究指導.

5. 公開講座・公開講演会

- 谷口，「村松志保子受賞特別記念講演」，東京.
- 谷口，「臨床看護指導者研修」，京都大学付属病院，京都，セミナー・研修会.
- 谷口，「看護職員研修会:コーチング」，九州大学病院，福岡，セミナー・研修会.

- 鳩野,「保健師研修・中堅前期研修」,福岡市,セミナー・研修会.
- 鳩野,「令和元年度市町村保健師管理者能力育成研修」,厚生労働省,福岡,セミナー・研修会.
- 鳩野,「保健師研修」,熊本市,セミナー・研修会.
- 鳩野,「保健師研修」,熊本市,セミナー・研修会.
- 野口,「大学セミナー」出前講座講義,福岡県立明善高校,セミナー・研修会.
- 木村,「令和元年度 大野城市第3回家庭教育学級合同講演会」,大野城市,講演会・公開討論.
- 木村,「令和元年度大野城市子ども療育支援センター事業 就学前・子育て支援専門研修会」,大野城市,セミナー・研修会.
- 木村,「令和元年度 すこやかエンゼルサポート事業研修会」,大野城市,セミナー・研修会.
- 木村,「令和元年度 ランドセルクラブコーディネーター研修会「CARE ファシリテーターによるコーディネーター向け CARE ワークショップ」」,大野城市,セミナー・研修会.
- 木村,「CARE-Japan CARE ワークショップ」,CARE-Japan,東京,セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	有村 秀孝
教授	藤淵 俊王
准教授	高橋 昭彦
准教授	納富 昭弘
助教	河窪 正照
助教	尹 湧琇

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健・医療とIT	有村	夏学期
医学物理情報理論	有村	前期
医用画像情報科学論	有村	春学期
量子線理工科学 I	有村	前期
量子線理工科学 I	藤淵	前期
リプロサイエンス I	藤淵	前期
保健・医療とIT	藤淵	夏学期
Medical Image Sciences	藤淵	後期
医用画像科学論	藤淵	後期
基礎電磁波論	高橋	前期
量子線理工科学 I	高橋	前期
Fundamental Theory of Electromagnetic Wave	高橋	前期
量子線理工科学 I	納富	前期
医用画像科学論	河窪	後期
国際社会とチーム医療	河窪	前期
医用画像科学論	尹	後期
医療英語 (分担)	尹	通年

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

保健学特別研究	有村	通年
量子線治療科学演習	有村	前期
医用量子線理工学演習	有村	前期
医用画像情報科学演習	有村	前期
医用量子線科学特別研究	有村	通年
医用量子線科学特別研究	藤淵	通年
医用量子線理工学演習	藤淵	前期

量子線治療科学演習	藤淵	前期
量子線理工科学Ⅱ	藤淵	後期
保健学特別研究	藤淵	通年
医用量子線理工学演習	高橋	前期
医用量子線科学特別研究	高橋	通年
量子線理工科学Ⅱ	高橋	後期
基礎量子力学	納富	後期
医用線量計測学	納富	秋学期
量子線治療科学演習	納富	前期
医用量子線理工学演習	納富	前期
医用量子線科学特別研究	納富	通年

4. 大学院修士課程修了者

山田 真大	レディオミクス特徴量を用いた機械学習による NSCLC の組織学的サブタイプの分類 Classification of histological subtypes of NSCLC using machine learning with radiomic features
中野 里彩	深層学習を用いた肺癌体幹部定位放射線治療における3次元治療計画CT上での肉眼的腫瘍体積の領域抽出法 Segmentation of the gross tumor volumes in the 3D planning CT for lung cancer stereotactic body radiation therapy using deep learning
Ma Zhuangfei (from China)(China)	Automated approach for measurement of lung tumor diameters on radiation treatment planning CT images using mathematical models
川内野友則	複合現実を用いた放射線治療セットアップ実習方法の構築と評価 Development and evaluation of radiotherapy setup practice method using mixed reality
平田悠真	水晶体の放射線防護のための放射線防護メガネの性能評価に関する研究 Research on performance evaluation of radiation protective glasses for radiation protection of crystalline lens
峰松優	ソーシャルビッグデータを活用した放射線被ばくに対する不安意見の感情解析システムの開発 Development of Sentiment Analysis System for Anxiety Opinion in Radiation Exposure using Social Big Data
山本昂侑	ワイヤレスリアルタイム線量測定システムのエネルギーおよび感度補正による性能の改善 Improving the performance of wireless real-time dosimetry system with energy and sensitivity correction
花田侑美佳	2 つの CsI 自己放射化検出器を用いた高エネルギーX 線治療時の中性子線量評価法の開発 Development of neutron-dose evaluation method during a high-energy X-ray therapy by using two CsI self-activated detectors
上野 響生	Ra-223 SPECT のモンテカルロシミュレーション研究 Monte Carlo simulation study of Ra-223 SPECT

5. 大学院博士課程修了者

Connor Suzy	A medical English language course for Japanese radiological technologists
北森 秀希	Evaluation of mouthpiece fixation devices for head and neck radiotherapy patients fabricated in PolyJet photopolymer by a 3D printer (3D プリンタによって PolyJet フォトポリマーで作製した頭頸部放射線治療患者用マウスピース固定装置の評価)
MD. ALAMGIR Hossain (International Student of MEXT Scholarship)(Bangladesh)	Automated Approach for Estimation of Grade Groups for Prostate Cancer based on Histological Image Feature Analysis
甲斐 祐大	diagnostic position PET/CT (上咽頭癌放射線治療計画における診断体位 PET/CT 画像の剛体と非剛体画像位置合わせの比較)

6. 学部講義

医用画像情報学	有村	後期
放射線診断機器学	有村	後期
コンピュータープログラミング入門 (分担)	有村	秋学期
放射線物理学	有村	前期
物理数学 I	有村	前期
X線CT画像技術学	有村	春学期
放射線治療技術学 I	有村	前期
放射線治療・核医学機器学	有村	前期
放射線治療技術学 I	藤淵	前期
X線CT画像技術学	藤淵	春学期
基礎医療統計	藤淵	夏学期
臨床解剖薬理学	藤淵	冬学期
放射線管理学	藤淵	後期
物理数学 II	高橋	春学期
医用電子工学	高橋	後期
医用電気電子工学実験	高橋	後期
医用光学	高橋	秋学期
放射線技術科学入門 I	高橋	前期
放射線治療・核医学機器学	高橋	前期
電気電子工学入門	高橋	前期
基幹物理学 I B 演習	納富	後期
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	納富	前期
放射線治療計測学 (分担)	納富	後期
放射線技術科学入門 II	納富	後期
放射線医学技術学概論	納富	夏学期
放射線技術科学入門 I	納富	前期
放射線物理学	納富	前期

放射線治療・核医学機器学	納富	前期
放射線計測学	納富	前期
臨床解剖薬理学	河窪	冬学期
品質管理論	河窪	後期
放射線治療技術学実習	河窪	後期
放射線画像技術学実習	河窪	後期
画像解剖学演習	河窪	後期
コンピュータープログラミング入門（分担）	河窪	秋学期
放射線管理学実験	河窪	春学期
品質管理論	尹	後期
医用画像評価学	尹	後期
放射線画像技術学Ⅰ（分担）	尹	前期
基礎医療統計（分担）	尹	前期
放射線診断機器学	尹	後期

7. 学部の実験・実習・演習

コンピュータープログラミング入門（分担）	有村	秋学期
医用画像情報学実習	有村	夏学期
放射線機器学実験	有村	春学期
放射線管理学実験	藤淵	春学期
放射線治療技術学実習	藤淵	後期
放射線画像技術学実習	藤淵	後期
放射化学実験	藤淵	冬学期
画像解剖学演習	藤淵	後期
放射線機器学実験	高橋	前期
放射線計測学実験	納富	前期
コンピュータープログラミング入門	尹	秋学期
放射化学実験	尹	後期
医用画像情報学実習（分担）	尹	前期
放射線画像技術学実習（分担）	尹	通年

8. 卒業論文作成者

坂田 聡	正常リンパ節とリンパ節転移の区別における CT 画像特徴量の有用性
落合 昂大	深層学習を用いた非小細胞肺癌の組織学的サブタイプの分類
浦上 暉允	MR 画像特徴量を用いた前立腺癌の悪性度分類
前田英哉	CaI2 結晶のヨウ素自己放射化法による中性子測定への適用
池末淳也	X 線を用いた放射線治療場におけるコリメータ設定と中性子発生の関係の検討
長野永実	ヨウ素添加液体シンチレータを用いた自己放射化法による中性子計測の検討～ヨードベンゼン添加量の影響～
楠田 爽夏	深層学習による Ra-223 画像の病変検出における学習データ枚数の影響に関する研究

新野尾 樹	深層学習を用いた Ra-223 核医学画像の病変部の検出
吉谷悠	デジタルカメラを利用したモバイルガンマ線イメージング法の検討
原田梨沙	医療・保健福祉現場の実態に基づいた放射線被ばく相談対応支援ツールの有用性の検討
西和紀	拡張現実を用いた病棟撮影時における散乱線分布の可視化アプリケーションの開発
金谷 梨沙	Dual energy CT におけるビームハードニング効果とヨードの定量性に関する研究
兼頭 由樹	Digital mammography 検出器性能評価のための Monte Carlo simulation 用 ACR フォントム作成に関する研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	がん治療のレディオミクス(肺がん, 頭頸部癌, 前立腺がん)	有村
2	多次元データ支援放射線治療法の開発(肺がん, 前立腺がん, 子宮頸がん)	有村
3	類似症例に基づく放射線治療自動立案法の開発	有村
4	無症候性未破裂脳動脈瘤の検出支援システムの開発	有村
5	放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発	有村
6	高精度放射線治療計画支援システムの開発	有村
7	多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村
8	アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村
9	医用放射線による患者およびスタッフの放射線防護、モニタリング、放射性廃棄物に関する研究	藤淵
10	モンテカルロシミュレーションの核医学応用に関する研究	高橋
11	硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究	納富
12	医療現場における高感度中性子検出方法の開発	納富
13	医用画像解析	河窪

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「挑戦的研究(萌芽)」野外での昆虫体内における RI 動態可視化システムの開発, 藤淵(分担), 3100 千円.
- 「基盤研究(C)」ボウ素中性子捕捉療法における中性子測定に適した自己放射化有機シンチレータの開発, 納富(代表), 1800 千円.
- 「若手研究(B)」3 次元の心臓ストレイン解析法の開発と修正大血管転位の予後予測への応用, 河窪(代表), 700 千円.
- 「基盤研究(C)」放射線画像認識技術を用いた死後画像の特定に関する研究, 尹(分担), 千円.

- 「若手研究」散乱 X 線除去率を高めるための新しいデジタルマンモグラフィ検出器開発に関する研究, 尹(代表), 3200 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「外国語校閲経費支援」Influence of beam-hardening in dual-energy CT imaging: A phantom study for iodine map, virtual monoenergetic images, and virtual non-contrast images, 河窪(代表), 49 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「畳み込みニューラルネットワークによる心臓の磁気共鳴動画像の呼吸ぶれ補正法の開発」公益財団法人 栢森情報科学振興財団, 河窪, 1000 千円.
- 「コメディカル臨床研究助成」公益社団法人 臨床研究奨励基金, 河窪, 300 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「コニカミノルタ株式会社 肺がんを対象とした Radiogenomics に関する研究」有村, 500 千円.
- 「株式会社 A-Line 線量管理システムの機能追加に関する研究」藤淵, 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Shu Haseai, Hidetaka Arimura, Kaori Asai, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Similar-cases-based planning approaches with beam angle optimizations using water equivalent path length for lung stereotactic body radiation therapy, *Radiological Physics and Technology*, , 2020 年 03 月. (査読あり)
- Yudai Kai, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Tetsuo Saito, Yoshinobu Shimohigashi, Akiko Kuraoka, Masato Maruyama, Ryo Toya, Natsuo Oya: Semi-automated prediction approach of target shifts using machine learning with anatomical features between planning and pretreatment CT images in prostate radiotherapy, *Journal of Radiation Research, Volume 61, Issue 2, Pages 285-297*, , 2020 年 03 月. (査読あり)
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Jun-ichi Fukunaga, Saiji Ohga, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Observer Uncertainties of Soft Tissue-based Patient Positioning in IGRT, *Journal of Applied Clinical Medical Physics, Volume 21, Issue 2, Pages: 73-81*, , 2020 年 01 月. (査読あり)
- Yudai Kai, Hidetaka Arimura, Ryo Toya, Tetsuo Saito, Tomohiko Matsuyama, Yoshiyuki Fukugawa, Shinya Shiraishi, Yoshinobu Shimohigashi, Masato Maruyama, Natsuo Oya: Comparability of rigid image registration with deformable image registration for diagnostic position PET/CT images in delineation of gross tumor volumes in nasopharyngeal carcinoma radiotherapy planning: An observer study, *Japanese Journal of Radiology, vol.38, pp256-264*, , 2020 年 03 月. (査読あり)
- Alamgir Hossain, Hidetaka ARIMURA, Fumio Kinoshita, Kenta Ninomiya, Sumiko Watanabe, Kenjiro Imada, Ryoma Koyanagi, Yoshinao Oda: Automated Approach for Estimation of Grade Groups for Prostate Cancer based on Histological Image Feature Analysis, *The Prostate, Volume 80 Issue 3 Page 291-302 Published 2020*, , 2020 年 02 月. (査読あり)
- Kenta NINOMIYA, Hidetaka ARIMURA: Homological radiomics analysis for prognostic prediction in lung cancer patients, *Physica Medica: European Journal of Medical Physics, Volume 69 Page 90-100*, , 2020 年 01 月. (査読あり)

- Motoki SASAHARA, Hidetaka ARIMURA, Kenta NINOMIYA, Takaaki HIROSE, Noriyuki NAGAMI, Yudai KAI, Yusuke SHIBAYAMA, Saiji OHGA, Junnichi FUKUNAGA: Machine-Learning-Based Framework for Estimation of Prostate Locations with Anatomical Feature Points on CBCT Images for Image-Guided Target-Based Patient Positioning in Prostate Cancer Radiotherapy, *Medical Imaging and Information Sciences 2019 Volume 36 Issue 3 Pages 122-127*, , 2019 年 10 月. (査読あり)
- Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Ryosuke Asamura, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Jun-ichi Fukunaga: Comparison of volumetric-modulated arc therapy and intensity-modulated radiation therapy prostate cancer plans accounting for cold spots, *Radiol Phys Technol. 2019 Jun;12(2):137-148. Epub 2019 Feb 25.*, , 2019 年 06 月. (査読あり)
- 峰松優、藤淵俊王、有村秀孝: ソーシャルビッグデータを活用した放射線被ばくに対する不安意見の解析システムの開発, *保健物理*, 55, 1, -, 2020 年 01 月. (査読あり)
- Sutanto Heri, Irdawati Yulia, Anam Choirul, Hidayanto Eko, Arifin Zaenal, Fujibuchi Toshioh, Dougherty Geoff, Soedarsono Johni, Bahrudin Bahrudin: An artifact-free thyroid shield in CT examination: a phantom study, *Biomedical Physics & Engineering Express*, , 2020 年 01 月. (査読あり)
- C. Anam, W.S Budi, F. Haryanto, T. Fujibuchi, G. Dougherty: A novel multiple-windows blending of CT images in red-green-blue (RGB) color space, *Scientific Visualization*, , 2019 年 06 月. (査読あり)
- Yulia Irdawati, Heri Sutanto, Choirul Anam, Toshioh Fujibuchi, Fatimatuz Zahroh, Geoff Dougherty: Development of a novel artifact-free eye shield based on silicon rubber-lead composition in the CT examination of the head, *Journal of Radiological Protection*, , 2019 年 06 月. (査読あり)
- Choirul Anam, Wahyu Setia Budi, Kusworo Adi, Heri Sutanto, Freddy Haryanto, Mohd Ali, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: Assessment of patient dose and noise level of clinical CT images: Automated measurements, *Journal of Radiation Protection*, , 2019 年 05 月. (査読あり)
- Takeshi Takaki, Toshioh Fujibuchi, Seiichi Murakami, Takatoshi Aoki, Masafumi Ohki: The clinical significance of modifying X-ray tube current-time product based on prior image deviation index for digital radiography, *Physica Medica*, 63, , 35 - 40, 2019 年 05 月. (査読あり)
- I. Suyudi, C. Anam, H. Sutanto, P. Triadyaksa, T. Fujibuchi: Comparisons of Hounsfield unit linearity between images reconstructed using an adaptive iterative dose reduction (AIDR) and a filter back-projection (FBP) techniques, *The Journal of Biomedical Physics and Engineering*, , 2019 年 12 月. (査読あり)
- 藤淵俊王、上田昂樹、門柳紗姫、上野大輝、中村千裕: 仮想現実を利用した放射線検査における散乱線分布の四次元可視化による放射線防護教育への活用法の検討, *日本放射線技術学会雑誌*, 75, 11, 1297 - 1307, 2019 年 11 月. (査読あり)
- Yuma Hirata, Toshioh Fujibuchi, Katsuya Fujita, Takayuki Igarashi, Eiji Nishimar, Shogo Horita, Reiko Sakurai, Koj
- Choirul Anam, Toshioh Fujibuchi, Freddy Haryanto, Wahyu Setia Budi, Heri Sutanto, Kusworo Adi, Zaenul Muhlisin and Geoff Dougherty: Automated MTF measurement in CT images with a simple wire phantom, *Polish Journal of Medical Physics and Engineering*, 25, 3, 179 - 187, 2019 年 08 月. (査読あり)
- C. Anam, I. Arif, F. Haryanto, F. P. Lestari, R. Widita, W. S. Budi, H. Sutanto, K. Adi, T. Fujibuchi, G. Dougherty: An Improved Method of Automated Noise

Measurement in CT Images, *Journal of Biomedical Physics and Engineering*, , 2019 年 07 月. (査読あり)

- Choirul Anam, Toshioh Fujibuchi, Takatoshi Toyoda, Naoki Sato, Freddy Haryanto, I Arif, Geoff Dougherty: An investigation of a CT noise reduction using a modified of wiener filtering-edge detection, *Journal of Physics: Conference Series*, , 1217, 1 – 8, 2019 年 06 月. (査読あり)
- C. Anam, W.S Budi, F. Haryanto, T. Fujibuchi, G. Dougherty: A novel multiple-windows blending of CT images in red-green-blue (RGB) color space, *Scientific Visualization*, , 2019 年 06 月. (査読あり)
- Yulia Irdawati, Heri Sutanto, Choirul Anam, Toshioh Fujibuchi, Fatimatuz Zahroh, Geoff Dougherty: Development of a novel artifact-free eye shield based on silicon rubber-lead composition in the CT examination of the head, *Journal of Radiological Protection*, , 2019 年 06 月. (査読あり)
- Choirul Anam, Wahyu Setia Budi, Kusworo Adi, Heri Sutanto, Freddy Haryanto, Mohd Ali, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: Assessment of patient dose and noise level of clinical CT images: Automated measurements, *Journal of Radiation Protection*, , 2019 年 05 月. (査読あり)
- Takeshi Takaki, Toshioh Fujibuchi, Seiichi Murakami, Takatoshi Aoki, Masafumi Ohki: The clinical significance of modifying X-ray tube current-time product based on prior image deviation index for digital radiography, *Physica Medica*, 63, , 35 – 40, 2019 年 05 月. (査読あり)
- Akihiko Takahashi, Keita Funada, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba and Masayuki Sasaki: Impact of Collimator on DaT-SPECT Imaging: Monte Carlo Simulation Study, *RADIOLOGY AND MEDICAL DIAGNOSTIC IMAGING*, 2, 4, 1 – 6, 2020 年 01 月. (査読あり)
- Taishi Ueki, Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi, Junichi Fukunaga, Toyoyuki Kato, S. Ohga: A design study of application of the CsI self-activation method to the neutron rem-counter technique, *Radiation Measurements*, 128, , –, 2019 年 09 月. (査読あり)
- Akihiro Nohtomi, Masaaki Tokunaga, Genichiro Wakabayashi, Kiyomitsu Shinsyo: Neutron Distribution Measurement by the self-activation of a CsI Plate with CCD Camera using a Decaying Self-activation Imaging Technique, *JPS Conf. Proc.* 24, 0110141 (2019). (査読あり)
- M Kawakubo, M Nagao, U Ishizaki, Y Shina, K Inai, Y Yamasaki, M Yoneyama, S Sakai.: Feature-Tracking MRI Fractal Analysis of Right Ventricular Remodeling in Adults with Congenitally Corrected Transposition of the Great Arteries, *Radiology: Cardiothoracic Imaging*, 1, 4, –, 2019 年 10 月. (査読あり)
- Arai H, Kawakubo M*, Abe K, Hatashima H, Sanui K, Nishimura H, and Kadokami T. *Corresponding author: Quantification of intramyocardial hemorrhage volume using magnetic resonance imaging with three-dimensional T1-weighted sequence in patients with ischemia-reperfusion injury—a semi-automated image processing technique, *The International Journal of Cardiovascular Imaging*, 36, 1, 111 – 119, 2020 年 01 月. (査読あり)
- R Nakao, M Nagao, K Fukushima, A Sakai, E Watanabe, M Kawakubo, S Sakai, N Hagiwara.: Prediction of Cardiac Resynchronization Therapy Response in Dilated Cardiomyopathy Using Vortex Flow Mapping on Cine Magnetic Resonance Imaging, *Circulation Reports*, 1, 8, 333 – 341, 2019 年 08 月. (査読あり)
- Kawakubo M*, Yamasaki Y, Kamitani T, Sagiyama K, Matsuura Y, Hino T, Abe K, Hosokawa K, Yabuuchi H, and Honda H. *Corresponding author: Clinical usefulness of right ventricular 3D area strain in the assessment of treatment effects of balloon

pulmonary angioplasty in chronic thromboembolic pulmonary hypertension: comparison with 2D feature-tracking MRI, *European Radiology*, 29, 9, 4583 – 4592, 2019 年 09 月. (査読あり)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura: Homology-based approach for prognostic prediction of lung cancer using novel topologically invariant radiomic features (Oral, Feb. 20), SPIE Medical imaging (Houston, Texas, 15-20, Feb.), 2020 年 02 月, United States of America.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Kenta Ninomiya: MR-radiomic biopsy for estimation of malignancy grade in parotid gland cancer (Poster), SPIE Medical imaging (Houston, Texas, 15-20, Feb.), 2020 年 02 月, United States of America.
- 二宮健太、有村秀孝、田中謙太郎: レディオミクス画像解析による EGFR 変異型肺癌識別法 (口頭), 日本放射線腫瘍学会 第 32 回学術大会 (名古屋, 11/21-23), 2019 年 11 月, Japan.
- Hidetaka Arimura: Current status and next stage of radiomics (Plenary Speaker, Aug. 8), 17th SEACOMP and 3rd PIT-FMB (Bali, 8-10, Aug. 2019), 2019 年 08 月, Indonesia.
- Hidetaka Arimura: AFOMP&SEAFOMP Professional Development: What the Future Holds (Aug. 10), PIT-FMB & SEACOMP2019 (Bali, 8-10, Aug. 2019), 2019 年 08 月, Indonesia.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Jun-ichi Fukunaga, Saiji Ohga: Reveal of Uncertainties of Soft-Tissue-based Patient Registration Due to Inter- and Intra-observer Variability in IGRT Era for Prostate Cancer Radiation Therapy(Oral, Aug. 8), PIT-FMB & SEACOMP2019 (Bali, 8-10, Aug. 2019), 2019 年 08 月, Indonesia.
- LE Cuong Quoc, Hidetaka Arimura, Masahiro Yamada, Hidemi Kamezawa: Prediction of Five-year Survival Probabilities of Head-and-neck Cancer Patients Based on Radiomic Signatures Selected by Coxnet (Oral, Aug. 8), PIT-FMB & SEACOMP2019 (Bali, 8-10, Aug. 2019), 2019 年 08 月, Indonesia.
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura: Feasibility of different prognostic prediction models for lung cancer stages I-IIIb based on radiomic signatures (Oral), AAPM2019 (San Antonio, Texas, 14-18, 2019), 2019 年 07 月, United States of America.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Kenta Ninomiya, Shu Haseai: Deep learning-based malignancy grade prediction models of parotid gland cancer using preoperative MR images (Poster), AAPM2019 (San Antonio, Texas, 14-18, 2019), 2019 年 07 月, United States of America.
- Y. Hanada, A. Nohtomi, T. Ueki, R. Kurihara: A fundamental study of a development of neutron dosimeter using double self-activated CsI scintillator for neutron doses around clinical Linac, IEEE 2019 NSS/MIC/RTSD, 2019 年 10 月, United Kingdom.
- Yuya Sekikawa, Keita Funada, Kazuhiko Himuro, Akihiko Takahashi, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Molecular imaging of ¹⁷⁷Lu for hepatic tumor using Monte Carlo simulation and investigation of acquisition condition, SNMMI 2019 annual meeting, 2019 年 06 月, United States of America.
- Y. Yoon, YH. Roh, K. Kim, J. Kim, J. Morishita: Preliminary study of novel flat panel detector system to reduce scattered radiation in digital mammography, IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference, 2019 年 11 月, United Kingdom.
- Yoon Y., Cho B., Eto M., Morishita, J.: Real-time Skull Radiographic Simulator Based on Optical Tracking System for the Education and Training of Less-Experienced

Radiology Personnel, 105th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America (RSNA 2019), 2019 年 12 月, United States of America.

- 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- 調査研究報告
 - 藤淵 俊王: 平成 30 年度放射線安全規制研究戦略的推進事業「加速器施設の廃止装置に関わる放射化物の測定、評価の手法の確立」成果報告書, , 2019 年 04 月.
 - 藤淵 俊王: Dispatch Report on the 11th Annual Scientific Meeting of Thai Medical Physicist Society (TMPS 2019)第 11 回タイ医学物理学会年次大会(TMPS 2019)派遣報告, 日本放射線技術学会雑誌, 75 (4), 402-403, 2019 年 04 月.
- 国内学会での講演, 発表
 - 山之内雅幸、有村秀孝: MRA を用いた脳動脈瘤の破裂に関連する画像特徴量 (口頭), 電子情報通信学会医用画像研究会 (MI) (沖縄, 1/29- 1/30), 2020 年 01 月, 沖縄県青年会館.
 - Akimasa Urakami, Arimura Hidetaka, Kenjiro Imada, Fumio Kinoshita, Yoshinao Oda: Prediction of prostate cancer malignancy using MR image features (Oral), 第 14 回九州放射線医療技術学術大会、熊本 11/9-10, 2019 年 11 月, 熊本城ホール.
 - Takahiro Ochiai, Arimura Hidetaka, Risa Nakano, Kenta Ninomiya: Automatic classification of histological subtypes of NSCLC by using deep learning (Oral), 第 14 回九州放射線医療技術学術大会、熊本 11/9-10, 2019 年 11 月, 熊本城ホール.
 - Satoshi Sakata, Arimura Hidetaka, Ryo Toya, Yudai Kai: Comparison of image features between lymph nodes and lymph node metastasis in head and neck CT images (Oral), 第 14 回九州放射線医療技術学術大会、熊本 11/9-10, 2019 年 11 月, 熊本城ホール.
 - Risa Nakano, Arimura Hidetaka, Mohammad Haekal, Saiji Ohga, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Dense V-Net automated segmentation approach for gross tumor volumes on 3D planning CT images for lung cancer (Poster+Oral), 第 38 回日本医用画像工学会大会(JAMIT) (Nara, July24-26, 2019), 2019 年 07 月, 奈良春日野国際フォーラム.
 - Masahiro Yamada, Arimura Hidetaka, Kenta Ninomiya: Classification of histological subtypes of NSCLC using Coxnet and NMF (Poster+Oral), 第 38 回日本医用画像工学会大会(JAMIT) (Nara, July24-26, 2019), 2019 年 07 月, 奈良春日野国際フォーラム.
 - Ma Zhuangfei, Arimura Hidetaka, Risa Nakano, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Automated approach for estimation of sizes of lung cancer on planning CT images using dense V-net CNN with non-negative matrix factorization (Poster+Oral), 第 38 回日本医用画像工学会大会(JAMIT) (Nara, July24-26, 2019), 2019 年 07 月, 奈良春日野国際フォーラム.
 - LE Cuong Quoc, Hidetaka Arimura, Masahiro Yamada, Hidemi Kamezawa: Prediction of five-year survival probabilities of head-and-neck cancer patients using support vector machine based on radiomic signatures selected by Coxnet(Poster+Oral), 第 38 回日本医用画像工学会大会(JAMIT) (Nara, July24-26, 2019), 2019 年 07 月, 奈良春日野国際フォーラム.
 - 有村秀孝: 「AI の時代をどう迎えるか」 JRS シンポジウム 7「放射線治療はどう変わってきたか、そしてどう変わっていくか?」(招待講演, April 13), 第 78 回日本医学放射線学会総会 (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
 - Yudai Kai, Hidetaka Arimura, Ryo Toya, Tetsuo Saito, Tomohiko Matsuyama, Yoshiyuki Fukugawa: Analyzing the integration of PET/CT images acquired in a non-

radiotherapy treatment position into the GTV delineation of nasopharyngeal carcinoma using the deformable image registration (Oral), 第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会(JSRT) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.

- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Junichi Fukunaga, Saiji Ohga: Uncertainties of Soft-Tissue-based Patient Registration by Multiple Observers Using Cone-beam CT for Prostate Cancer Radiation Therapy (Oral), the 117th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Soufi Mazen, Kenta Ninomiya, Shu Haseai: Radiomics-based malignancy estimation of parotid gland tumor using preoperative magnetic resonance images (Oral, 12-April-2019), the 117th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
- Sachine Nakayama, Hidetaka Arimura, Mohammad Haekal, Masahiro Yamada: Prognostic shape-based features on CT images for non-small-cell lung cancer patients (Oral, 12-April-2019), the 117th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
- Aki Yoshihisa, Hidetaka Arimura, Hidemi Kamezawa, Soufi Mazen, Masahiro Yamada: Selection of wavelet basis functions in radiomic prediction for prognoses in head and neck cancer patients (Oral, 12-April-2019), the 117th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
- Alamgir Hossain, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Fumio Kinoshita, Sumiko Watanabe, Kenjiro Imada, Yoshinao Oda: Monte-Carlo Simulation-based Estimation of Intravoxel Incoherent Motion (IVIM) Parameters in Diffusion-weighted MRI (Oral, 13-April-2019), the 117th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
- Ma Zhuangfei, Arimura Hidetaka, Kakeda Shingo, Korogi Yukunori: Automated approach for estimation of sizes of unruptured intracranial aneurysms in MRA images by using localized sparse non-negative matrix factorization (Oral, 12-April-2019), the 117th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka: Exploring potential of radiomic features in identification of EGFR-mutant in lung cancer patients (Oral, 12-April-2019), the 117th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP) (Yokohama, April, 11-14, 2019), 2019 年 04 月, PACIFICO Yokohama.
- 楠田爽夏 高橋昭彦, 上野響生, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: 深層学習による Ra-223 画像の病変検出に対する学習データ枚数の影響について, 第 14 回九州放射線医療技術学会学術大会, 2019 年 11 月, 熊本城ホール.
- 新野尾樹, 高橋昭彦, 上野響生, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: 深層学習を用いた Ra-223 核医学画像の病変部の検出, 第 14 回九州放射線医療技術学会学術大会, 2019 年 11 月, 熊本城ホール.
- 高橋昭彦 舟田圭汰 氷室和彦 馬場眞吾 佐々木雅之: モンテカルロシミュレーションを用いた DaT-SECT 画像に対するコリメータ, 分解能補正, 再構成法の影響に関する系統的研究, 第 39 回核医学技術学会総会学術大会, 2019 年 11 月, 松山市総合コミュニティセンター.

- 上野響生 高橋昭彦, 大島良太, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: Ra-223 SPECT 画像化の可能性について: モンテカルロ研究, 第 39 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2019 年 11 月, 松山市総合コミュニティセンター.
- 上野響生, 高橋昭彦, 大島良太, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: デジタルファントムを用いた Ra-223 SPECT 画像のモンテカルロシミュレーション, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜.
- 高橋昭彦, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: Channelized Hotelling Observer 法の病変検出能に対する濃度・集積部サイズの差異の影響について, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜.
- 納富昭弘, 花田侑美佳, 坂本直哉, 長野永実, 金政浩, 新城優治, 若林源一郎, 島津美宙, 櫻井良憲: ヨウ素添加有機シンチレータを用いた自己放射化法による中性子検出技術の BNCT への応用に関する検討, 第 34 回 研究会「放射線検出器とその応用」, 2020 年 01 月, 茨城県 つくば市.
- 前田英哉, 納富昭弘, 黒澤俊介, 小玉翔平, 若林源一郎, 島津美宙: CaI2 結晶のヨウ素自己放射化法による中性子測定への適用, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, 熊本県・熊本市.
- 長野永実, 納富昭弘, 坂本直哉, 若林源一郎, 島津美宙: ヨウ素添加液体シンチレータを用いた自己放射化法による中性子計測の検討とヨードベンゼン添加量の影響, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, 熊本県・熊本市.
- 池末淳也, 納富昭弘, 花田侑美佳, 塩山善之, 福永淳一: X 線を用いた放射線治療場におけるコリメータ設定と中性子の発生関係の検討, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, 熊本県・熊本市.
- 島津美宙, 若林源一郎, 納富昭弘, : CsI シンチレータの自己放射化を用いた Pu-Be 中性子場の熱中性子束評価, 応用物理学会 2019 次世代放射線シンポジウム, 2019 年 08 月, 首都大学東京・荒川キャンパス.
- 坂本直哉, 納富昭弘, 長野永実, 若林源一郎, 島津美宙: ヨウ素添加液体シンチレータを用いた自己放射化法による中性子計測の検討とクエンチングの影響, 応用物理学会 2019 次世代放射線シンポジウム, 2019 年 08 月, 首都大学東京・荒川キャンパス.
- 神崎祐依, 納富昭弘, 櫻井良憲, 栗原凌佑: CsI 板の自己放射化と CCD を用いた熱中性子ビーム測定と生成放射能の校正, 応用物理学会 2019 次世代放射線シンポジウム, 2019 年 08 月, 首都大学東京・荒川キャンパス.
- Y.Hanada, A.Nohtomi, T.Ueki, R.Kurihara: Fundamental study of the neutron ambient dose-equivalents measurements using two CsI self-activation sensors, 第 117 回医学物理学会学術大会, 2019 年 04 月, パシフィコ横浜
- 河窪 正照, 長尾 充展, 中尾 梨沙子, 渡邊 絵里, 米山 正巳, 坂井 修二.: SSFP シネ MRI における減速流と左室心筋ストレインおよび左室同期障害との関連, 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019 年 09 月, ホテル日航熊本.
- 河窪 正照: 最新の心臓 MR 画像解析, 第 111 回 MR 研究会, 2019 年 08 月, アクロス福岡 大会議室.
- 河窪 正照, 長尾 充展, 石崎 海子, 椎名 由美, 稲井 慶, 山崎 誘三, 米山 正巳, 坂井 修二: MR 画像のフラクタル解析による成人修正大血管転位における右心室リモデリングの評価, 第 89 回日本心臓血管放射線研究会, 2019 年 07 月, 秋葉原コンベンションセンター.
- 兼頭由樹, Yongsu Yoon: Digital mammography 検出器性能評価のための Monte Carlo simulation 用 ACR ファントム作成に関する研究, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, 熊本県・熊本市.

○ 学会以外での講演, 発表 なし

著作 なし

1. 単行本

- 藤淵 俊王: (編集) 図解 診療放射線技術実践ガイド 第4版 第4章 放射線管理 6 医療被ばくへの対応・患者からの医療被ばく相談への対応と例 P969-971、7 医療従事者の職業被ばく 972-975, 2020 年 01 月, 文光堂.
- 藤淵 俊王: (編集) 医療関係者のための放射線安全利用マニュアル 放射線安全管理のプロが語る 60 章, 2019 年 09 月, アドスリー.
- 齋藤秀敏、椎山謙一、岩元新一郎、古徳純一、納富昭弘、鬼塚昌彦、橘昌幸、眞正浄光、千田浩一: (共著) 診療放射線基礎テキストシリーズ 放射線計測学, 2020 年 03 月, 共立出版.

2. 総説

- 藤淵 俊王: 放射線診療従事者の職業被ばくと防護対策, 福岡医学雑誌 Vol.110 No.4, 2019 年 12 月.

3. 解説, 書評など

- 有村秀孝: 「特集/レディオミックスの臨床応用の可能性を探る」序文, MEDICAL IMAGING TECHNOLOGY, Vo.38, No.1, 2020 年 01 月.
- 有村秀孝, 二宮健太, 山田真大, 亀澤秀美: 高精度放射線治療における臨床応用のための AI を用いたレディオミックスの可能性, 臨床放射線 64 巻 8 号, pp1029-1034, 2019 年 07 月.
- 有村秀孝: 「放射線治療における Deformable Image Registration 特集」巻頭言, 医学物理 第 39 巻第 1, 2019, pp1, Jpn. J. Med. Phys. Vol. 39 No. 1: 1 (2019), 2019 年 06 月.
- 有村秀孝: 「放射線治療における Deformable Image Registration の基礎」, 医学物理 第 39 巻第 1, 2019, pp2-6, Jpn. J. Med. Phys. Vol. 39 No. 1: 2-6 (2019), 2019 年 06 月.
- 有村秀孝, 二宮健太, 山田真大, 亀澤秀美: 高精度放射線治療分野における radiomics, 臨床画像 Vol.35, 2019, pp735-740, 2019 年 06 月.
- 有村秀孝: 「研究計画の立て方」—放射線技術学における研究の進め方: 研究計画から論文発表まで—, 日本放射線技術学会雑誌 Vol. 75 No. 6 Jun 2019, 2019 年 06 月.
- 藤淵 俊王: 医療現場での放射線の安全利用, Biophilia Vol.8 No.4, 2020 年 01 月.
- 藤淵 俊王: 放射線のリスクを学ぶ 保健師のためのテキスト, 日本放射線技術学会 放射線防護部会誌, 19 (1), 33-34, 2019 年 04 月.

受賞

- 有村, 「"Prediction of Five-year Survival Probabilities of Head-and-neck Cancer Patients Based on Radiomic Signatures Selected by Coxnet"」, Best Oral Presentation Award (LE Cuong Quoc, Arimura H.et al.) "Prediction of Five-year Survival Probabilities of Head-and-neck Cancer Patients Based on Radiomic Signatures Selected by Coxnet", 17th SEACOMP & the 3rd PIT-FMB (Bali, Indonesia, 8-10, Aug 2019), 2019 年 08 月.
- 藤淵, 「医療従事者被ばく管理のためのエネルギー補償型ワイヤレス線量モニタリングシステムの開発」, 福岡県知事表彰 功績賞, 福岡県, 2019 年 06 月.

- 納富, 「Fundamental study of the neutron ambient dose- equivalent measurement using two CsI self-activation sensors (共同受賞)」, 第 117 回 日本医学物理学学会 学術大会 President's Award Gold, 日本医学物理学学会, 2019 年 04 月.
- 尹, 「Real-time Skull Radiographic Simulator Based on Optical Tracking System for the Education and Training of Less-Experienced Radiology Personnel」, Certificate of Merit, Radiological Society of North America (RSNA2019), 2019 年 12 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 有村, 肺がんを対象とした Radiogenomics に関する研究, コニカミノルタ株式会社, 2019 年 02 月～2020 年 03 月, 非公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

- 予後推定装置及び予後推定方法, 有村秀孝, 二宮健太, 2019-100198 号 (QP190001).
- 特徴量算出装置、特徴量算出方法及び特徴量算出プログラム, 河窪 正照, 特願 2019-117483.
- Anti-scatter grid and radiation inspection apparatus including the same, Yoon, Y., Kim, J., Kim, K., Park, H., 10-2020-0028041.
- DETECTING SYSTEM OF MEDICAL RADIATION AND METHOD FOR DETECTING MEDICAL RADIATION USING THE SAME, Roh Y. Yoon H. et. al., 10-2019-0128824.

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村, SPIE Medical Imaging, Houston, Texas, Feb 15-20, 2020 (United States of America), 国際会議, 2020 年 02 月～2020 年 02 月 (2 週間未満)
- 有村, 17th SEACOMP& the 3rd PIT-FMB, at Bin tang Bali Resort (Indonesia), 国際会議, 2019 年 08 月～2019 年 08 月 (2 週間未満)
- 有村, AAPM2019 at San Antonio, Texas, July14-18, 2019 (United States of America), 国際会議, 2019 年 07 月～2019 年 08 月 (2 週間未満)
- 藤淵, 17thSEACOMP, 3rd PIT-FMB, Bali (Indonesia), 国際会議, 2019 年 08 月～2019 年 08 月 (2 週間未満)
- 藤淵, AAPM 61st Annual Meeting, San Antonio (United States of America), 国際会議, 2019 年 07 月～2019 年 07 月 (2 週間未満)
- 納富, 2019 IEEE NSS/MIC (Manchester) (United Kingdom), 国際会議, 2019 年 10 月～2019 年 11 月 (2 週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

○ 訪問教授・研究員 なし

○ 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

Truong Gia Huy (from Vietnam)	修士課程	
Le Cuong Quoc (from Vietnam)	修士課程	
Ma Zhuangfei (from China)	修士課程	
MD. ALAMGIR Hossain (International Student of MEXT Scholarship)	博士課程	
崔 雲昊 Cui Yunhao(中国)	研究生	留学生
Leni Aziyus Fitri (Ph.D. student of Bandung Institute of Technology in Indonesia by Sandwich like program)(2019/10/1～2019/12/26)	研究生	留学生

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者.
- 藤淵, 放射線障害防止専門部会.
- 高橋, 情報統括本部全学情報環境利用委員会.

2. 部局委員

- 藤淵, 医療系統合教育研究センター委員会.
- 藤淵, 臨床研究倫理審査委員会.
- 高橋, ICT 活用教育推進専門部会.

3. 部門・コース内委員

- 有村, 人事委員.
- 有村, 医用量子線科学分野 副分野長.
- 有村, 学生委員(委員長).
- 藤淵, 入学試験実施委員会.
- 藤淵, 大学院委員会.
- 藤淵, 施設環境委員会.
- 納富, 広報委員会委員.
- 尹, 放射線安全委員会.
- 尹, 地域・国際連携推進委員会／FD 実行委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 有村, 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 非常勤講師.
- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師.
- 納富, 福岡大学・医学部, 客員教員.
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員.
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 客員教員.

2. 学協会

- 有村, 第 119 回日本医学物理学会学術大会(JSMP) 大会長として学会準備、WEB 開催の運営に努めた。(2020 年 5 月 15 日(金)~6 月 5 日(金)WEB 開催に変更), 日本医学物理学会 JSMP, 学術団体.
- 有村, 医学物理士認定機構(JBMP), 運営委員(広報委員長), 国内.
- 有村, 医学物理士認定機構(JBMP), 理事, 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), 運営委員(用語委員長), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 運営委員(編集委員長), 国内.
- 有村, 電子情報通信学会(IEICE), その他(医用画像研究会(MI) 専門委員), 国内.
- 藤淵, 「加速器施設の廃止措置に関わる放射化物の測定、評価方法の確立」研究検討委員, その他(平成 31 年度放射線対策委託費「加速器施設の廃止措置に関わる放射化物の測定、評価方法の確立」研究検討委員), 国内.
- 藤淵, WAZA-ARI 研究開発・運用委員会, その他(WAZA-ARI 研究開発・運用委員会委員), 国内.
- 藤淵, 日本放射線安全管理学会, その他(「放射線施設廃止の確認手順と放射能測定マニュアル」改訂専門委員会), 国内.
- 藤淵, 放射線影響懇話会, その他(世話人代表), 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, その他(企画委員会), 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, その他(英語論文誌編集委員), 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会九州支部, 理事(九州支部理事), 国内.
- 藤淵, Journal of Radiation Protection and Research, 編集委員, 国際.
- 藤淵, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 藤淵, Isotope News, その他(放射線安全取扱部会 広報専門委員会), 国内.
- 納富, 第 119 回日本医学物理学会学術大会, その他(実行委員長), 国内.
- 納富, 医学物理士認定機構(JBMP), 委員, 国内.
- 納富, BNCT 推進協議会, その他(人材育成 WG), 国内.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, その他(BNCT 人材育成委員会委員), 国内.
- 納富, 日本放射線技術学会「放射線計測学」 共立出版(株), その他(執筆分担), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会誌「医学物理」, 編集委員, 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.

3. 官界

- 藤淵, 「平成 31 年度放射線対策委託費(放射線安全規制研究戦略的推進事業「加速器施設の廃止措置に関わる放射化物の測定、評価方法の確立」)に係る研究検討委員会委員」, .

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「2019 年度第 2 回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 2020 年 2 月 8 日(土)13:00~17:00、以下 3 名の講師を迎え、九大保健学部門において開催。「小児がんの放射線治療—特に陽子線治療について」副島俊典先生 兵庫粒子線医療センター附属 神戸陽子線センター「画像診断領域における深層学習」木戸尚治先生 大阪大学放射線統合医学講座 「胸部単純 X 線画像の役割と期待」佐々木康夫先生 岩手県立中央病院九州大学大学院

医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定。参加者 54 名。』, 2019-01-01.

- 有村, 「2019 年度第 1 回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 2020 年 1 月 11 日(土)13:00~17:00、以下 3 名の講師を迎え、九大保健学部門において開催。「最先端がん検査・治療の現状と未来」麻生智彦先生 国立がん研究センター中央病院「 α 線放出核種を用いた核医学治療」久保 均先生 福島県立医科大学 新医療系学部「Cardio-oncology と画像診断」大田 英揮先生 東北大学大学院医学系研究科 九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定。参加者 42 名。』, 2019-01-01.
- 藤淵, 「原子力防災基礎研修、講師」, 原子力安全技術センター, 福岡市, セミナー・研修会.
- 納富, 「原子力防災基礎研修、講師」, 原子力安全技術センター, 福岡市, セミナー・研修会.
- 河窪, 「第 17 回九州大学医学部保健学科公開講座 / 画像で心臓を観察してみよう」, 九州大学医学部保健学科, 九州大学病院キャンパス, 公開講座.

5. 公開講座・公開講演会

- 有村, 「JSMP 医学物理サマーセミナー2019 (8 月 30 日~9 月 1 日)「講義 5:画像工学」(9 月 1 日)」, 主催:日本医学物理学会, ニュー・グリーンピア津南(新潟県中魚沼郡津南町秋成 12300), セミナー・研修会.
- 有村, 「2019 医学物理士セミナー九州「高精度放射線治療における画像の活用」(5 月 25 日)」, 主催:日本医学物理士会, 九州大学病院, セミナー・研修会.
- 藤淵, 「2019 年度 市民公開講座「専門家と学ぼう! 放射線事故・災害時に自分のできる放射線防護ー良い事 vs. ダメな事ー」, 講師」, 日本放射線技術学会, ビッグハート出雲, 公開講座.
- 納富, 「BNCT 推進協議会人材育成 WG 主催令和元年度 BNCT 講習会」(2020 年 2 月 6 日)「BNCT を理解するための基礎物理」大阪医科大学、セミナー・研修会

6. 初等中等教育への貢献

- 尹, 「出前講義、診療放射線技師:医学と工学の掛け橋」, 明治学園中学高等学校, 講演・セミナー等.

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	佐々木 雅之
教授	杜下 淳次
教授	藪内 英剛
准教授	井手口 忠光
准教授	佐々木 智成
助教	田中 延和

1. 教育活動

1. 大学院講義

臨床量子線科学 I	佐々木雅	前期
ヘルスサイエンス論	佐々木雅	前期
分子機能画像科学論	佐々木雅	後期
Molecular & Functional Imaging Technology	佐々木雅	後期
医用画像科学論 (分担)	杜下	後期
保健学研究論 (分担)	杜下	前期
臨床量子線科学 I	杜下	前期
保健学研究論	杜下	前期
Medical Image Sciences	杜下	後期
Health Science Research	杜下	前期
医用画像科学論	杜下	後期
分子機能画像科学論	藪内	後期
IT in Health and Medicine	藪内	夏学期
Molecular & Functional Imaging Technology	藪内	後期
保健・医療と IT	藪内	夏学期
臨床量子線科学 I	藪内	前期
医用画像科学論	井手口	後期
Medical Image Sciences	井手口	後期
臨床量子線科学 I	佐々木智	前期
国際社会とチーム医療	佐々木智	前期
保健・医療と IT	佐々木智	夏学期
先端医療論	佐々木智	前期
医用量子線治療科学論	佐々木智	後期
医用画像科学論	田中	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

医用量子線科学特別研究(佐々木教授)	佐々木雅	通年
保健学特別研究(佐々木教授)	佐々木雅	通年
分子機能画像科学演習	佐々木雅	前期
臨床量子線科学Ⅱ	佐々木雅	後期
医用量子線科学特別研究(杜下教授)	杜下	通年
保健学特別研究(杜下教授)	杜下	通年
臨床量子線科学Ⅱ	杜下	後期
臨床量子線科学Ⅱ	藪内	後期
保健学特別研究(藪内教授)	藪内	通年
分子機能画像科学演習	藪内	前期
医用量子線科学特別研究(藪内教授)	藪内	通年
医用量子線科学特別研究(佐々木准教授)	佐々木智	通年
量子線治療科学演習	佐々木智	前期

4. 大学院修士課程修了者

下川夏実	認知症診断におけるアミロイド PET 定量解析の有用性の検討
高島彩	radiomics 解析を用いた DaT SPECT 画像の集積不均一性評価に関する研究
枝光華奈(Japan)	子宮頸癌に対する高線量率画像誘導小線源治療における治療実施前後のリスク臓器の線量分布に関する研究
松本和樹(Japan)	TomoDirect を用いた骨髄破壊の全身照 射における門数と評価指標の関係 および TomoHelical との比較検討

5. 大学院博士課程修了者

筒井 悠治	PET 検査の定量性向上と SUV harmonization に関する研究
倉本 卓	Variations in slice sensitivity profile for various height settings in tomosynthesis imaging: Phantom study

6. 学部講義

医療安全学	佐々木雅	後期
臨床解剖薬理学	佐々木雅	後期
核医学検査学Ⅰ	佐々木雅	後期
核医学検査学Ⅱ	佐々木雅	前期
放射化学	佐々木雅	後期
放射性同位元素検査技術学	佐々木雅	前期
放射線医学技術学概論	佐々木雅	前期
医学総論Ⅰ	佐々木雅	後期
医学総論Ⅱ	佐々木雅	後期
放射線技術科学入門1	佐々木雅	前期
放射線技術科学入門2	佐々木雅	後期
放射線画像技術学Ⅰ	杜下	春夏期
放射線医学技術学概論	杜下	春夏期
放射線技術科学入門1	杜下	春夏期

放射線技術科学入門2	杜下	秋冬期
医用画像評価学	杜下	春夏期
実践画像技術学	杜下	秋冬期
臨床解剖薬理学	藪内	冬学期
画像解剖学Ⅱ	藪内	後期
医学総論Ⅰ	藪内	秋学期
医学総論Ⅱ	藪内	冬学期
放射線技術科学入門Ⅱ	藪内	後期
画像解剖学Ⅰ	藪内	後期
人体の構造と機能Ⅱ	藪内	前期
人体の構造と機能Ⅲ	藪内	前期
放射線医学技術学概論	藪内	夏学期
MR画像技術学	藪内	前期
放射線診断機器学	井手口	後期
医用画像情報学	井手口	後期
医療安全学	井手口	秋学期
医用画像評価学	井手口	後期
放射線画像技術学Ⅱ	井手口	後期
品質管理論	井手口	後期
放射線治療技術学Ⅰ	佐々木智	前期
放射線治療技術学Ⅱ	佐々木智	後期
放射線生物学	佐々木智	前期
放射線医学技術学概論（分担）	佐々木智	夏学期
人体の構造と機能Ⅱ（分担）	佐々木智	前期
放射線技術科学入門Ⅰ（分担）	佐々木智	前期
放射線技術科学入門Ⅱ（分担）	佐々木智	後期
臨床解剖薬理学(分担)	佐々木智	後期
医学総論Ⅰ(分担)	佐々木智	後期
品質管理論	田中	後期
医用画像評価学	田中	後期
放射線画像技術学Ⅱ	田中	後期
放射線技術科学入門Ⅱ	田中	後期
基礎医療統計	田中	夏学期
放射線画像技術学Ⅰ	田中	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	田中	前期

7. 学部の実験・実習・演習

卒業研究	佐々木雅	通年
臨地実習	佐々木雅	通年
臨床解剖薬理学	佐々木雅	後期
放射化学実験	佐々木雅	後期

臨地実習	杜下	通年
卒業研究	杜下	通年
放射線画像技術学実習	杜下	夏学期
放射線画像技術学実習	杜下	秋冬期
放射線画像技術学実習	杜下	後期
臨地実習	藪内	通年
卒業研究	藪内	通年
画像解剖学演習	井手口	後期
放射化学実験	井手口	冬学期
放射線画像技術学実習	井手口	後期
放射線治療技術学実習	佐々木智	後期
臨床解剖薬理学(分担)	佐々木智	後期
卒業研究	佐々木智	通年
臨地実習	佐々木智	通年
放射化学実験	田中	冬学期
放射線画像技術学実習	田中	後期
画像解剖学演習	田中	後期
基礎医療統計	田中	夏学期
放射線計測学実験	田中	前期

8. 卒業論文作成者

佐藤秀昭	PET/CT 装置における TOF 時間分解能の違いが PET 画像の画質に及ぼす影響
熊本航大	PETデータ収集におけるステップアンドシュート法と連続ベッド移動法の比較
市野凌資	Microsoft Kinect Sensor を用いた Radiographic Simulator に関する研究
扇浦拓也	頭頸部 MRI の apparent diffusion coefficient (ADC)ヒストグラム解析における圧縮センシングの有用性の検討
浅野波慧	造影ダイナミック MRI の病変内部の増強効果のヒストグラム解析における圧縮センシングの有用性の検討
鍋田 真衣	胸腺上皮性腫瘍の鑑別診断における MRI 全腫瘍ヒストグラム解析の有用性の検討
坂本知哉	非小細胞肺癌に対する TomoHelical 照射と TomoDirect 照射の比較
張ハンナ	肺癌の SBRT に対する VMAT の応用可能性の検証と線量計算アルゴリズムの違いによる線量分布の比較検討
末次善紀	TomoTherapy を用いた頭蓋骨髄領域への骨髄照射における Virtual Bolus に関する検討
佐藤 広菜	散乱線補正処理を用いた胸部単純 X 線画像の画質評価に関する研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木雅
2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木雅
3	身元確認のための画像認識技術の開発	杜下
4	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下
5	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内
6	乳腺腫瘍の MRI による診断頭頸部腫瘍の MRI による診断造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメータの研究	藪内
7	医用画像評価:被ばくを低減し、さらに、診断能を向上する方法の研究	井手口
8	TomoTherapy を用いた頭蓋骨髄領域への骨髄照射における Virtual Bolus に関する検討	佐々木智
9	TomoTherapy を用いた全身照射における Thread Effect に関する研究	佐々木智
10	子宮頸癌に対する小線源治療における 治療実施前後の HR-CTV の線量分布の比較検討	佐々木智
11	同一治療計画に対する線量計算アルゴリズムの違いによる線量分布の比較検討	佐々木智
12	子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療における治療実施前後のアプリケータ位置および線量分布の変化に関する研究	佐々木智
13	TomoDirect 方式を用いたトモセラピーによる根治的前立腺照射の妥当性と安全性の検証	佐々木智
14	超音波診断システムの撮像技術に関する研究	田中
15	デジタルラジオグラフィシステムの画質と被ばく線量の評価に関する研究	田中
16	液晶ディスプレイの特性に関する研究	田中

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」分子イメージングによる腫瘍不均一性の評価法の開発, 佐々木雅(代表), 900 千円.
- 「基盤研究(C)」I 期非小細胞肺癌に対する TS-1 併用体幹部定位放射線治療の認容性試験, 佐々木智(代表), 1200 千円.
- 「基盤研究(C)」放射線画像認識技術を用いた死後画像の特定に関する研究, 杜下(代表), 1200 千円.
- 「基盤研究(C)」吸気・呼気超高精細 CT による慢性閉塞性肺疾患患者の末梢気道病変の定量解析, 藪内(代表), 1600 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス, 佐々木雅.
- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRIファーマ, 佐々木雅.
- 「平成 29 年度がん研究助成金/デジタルイメージングシステムにおける新しい指標を適用した散乱 X 線除去用グリッド使用法に関する研究」, 2020 年 3 月末まで, 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団, 田中, 100 千円

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社キュアホープ 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究」杜下.
- 「EIZO 株式会社 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」杜下・藪内
- 「富士フイルムメディカル株式会社 デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究」杜下・田中.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Shinji Amakusa, , Koki Matsuoka, Shingo Baba, Tsuyoshi Yoshida, Masayuki Sasaki: Differences in edge artifacts between 68Ga- and 18F-PET images reconstructed using point spread function correction., *Nucl Med Commun.*, 40, 11, 1166 – 1173, 2019 年 11 月. (査読あり)
- Akihiko Takahashi, Keita Funada, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba and Masayuki Sasaki. Impact of Collimator on DaT-SPECT Imaging: Monte Carlo Simulation Study. *Radiology and Medical Diagnostic Imaging*. 21 January, 2020, (査読あり).
- Yasuyuki Ueda, junji Morishita, Tadashi Hongyo: Biological fingerprint using scout computed tomographic images for positive patient identification, *Medical Physics*, 46, 10, 4600 – 4609, 2019 年 10 月. (査読あり)
- Yusuke Kawazoe, Junji Morishita, Yusuke Matsunobu, Miki Okumura, Seitaro Shin, Yosuke Usumoto, Noriaki Ikeda,: A simple method for semi-automatic readjustment for positioning in post-mortem head computed tomography,, *Forensic Radiology and Imaging*, 2019; 16: 57-64., 2019; 16: 57-64., 2019 年 06 月. (査読あり)
- Yoichiro Shimizu, Junji Morishita, Yusuke Matsunobu, Yongsu Yoon, Yasuo Sasaki, Shigehiko Katsuragawa, Hidetake Yabuuchi: Evaluation of the depiction ability of similar subtraction images using digital chest radiographs of different patients, *Radiological Physics and Technology.*, 2019; 12(1): 40-45., 2019 年 06 月. (査読あり)
- Taku Kuramoto, Junji Morishita, Toyoyuki Kato, Yasuhiko Nakamura: Variations in slice sensitivity profile for various height settings in tomosynthesis imaging: Phantom study,, *Physica Medica: European Journal of Medical Physics.*, 2018; 53: 108-117., 2019 年 06 月. (査読あり)
- Ono: Angular dependence of shielding effect of radiation protective eyewear for radiation protection of crystalline lens, *Radiological Physics and Technology*, , 2019 年 10 月. (査読あり)
- Kimura M, Yabuuchi H, Matsumoto R, Kobayashi K, Yamashita Y, Nagatomo K, Mikayama R, Kamitani T, Sagiyama K, Yamasaki Y: The

Reproducibility of Measurements Using a Standardization Phantom for the Evaluation of Fractional Anisotropy (FA) Derived From Diffusion Tensor Imaging (DTI), *MAGMA*, 33, , 293 – 298, 2019 年 08 月. (査読あり)

- Mikayama R, Yabuuchi H, Matsumoto R, Kobayashi K, Yamashita Y, Kimura M, Kamitani T, Sagiya K, Yamasaki Y: Development of a New Phantom Simulating Extracellular Space of Tumor Cell Growth and Cell Edema for Diffusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging, *MAGMA*, Online ahead of print, 2020 年 01 月. (査読あり)
- Hodaka Numasaki, Teruki Teshima, Tetsuo Nishimura, Keizo Akuta, Yutaka Ando, Hiroshi Ikeda, Norihiko Kamikonya, Masahiko Koizumi, Tomonari Sasaki, Kenji Sekiguchi, Masao Tago, Atsuro Terahara, Katsumasa Nakamura, Masamichi Nishio, Masao Murakami, Yoshimasa Mori, Kazuhiko Ogawa: Japanese Structure Survey of Radiation Oncology in 2011, *Journal of radiation research*, 60, 6, 786 – 802, 2019 年 11 月. (査読あり)
- Hodaka Numasaki, Teruki Teshima, Yutaka Ando, Keizo Akuta, Hiroshi Ikeda, Kaoru Okajima, Tomoyasu Kumano, Tomonari Sasaki, Kenji Sekiguchi, Masao Tago, Atsuro Terahara, Katsumasa Nakamura, Tetsuo Nishimura, Kazuhiko Ogawa: Japanese structure survey of radiation oncology in 2012, *Journal of radiation research*, 61, 1, 146 – 160, 2019 年 12 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Y. Yoon, B. Cho, M. Eto, J. Morishita. Real-Time Skull Radiographic Simulator Based on Optical Tracking System for the Education and Training of Less-Experienced Radiology Personnel. 105th Scientific Assembly and Annual Meeting. Dec 1 – 6, 2019; Electronic Presentation. Chicago, USA.
- Y. Yoon, YH. Roh, K. Kim, J. Kim, J. Morishita. Preliminary study of novel flat panel detector system to reduce scattered radiation in digital mammography. 2019 IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference. Oct 26 – Nov 2, 2019; Poster Presentation. Manchester, UK.
- Makoto Ozaki, Junji Morishita, Yoichiro Shimizu, Yusuke Kawazoe, Yayoi Sakata. Feasibility Study of Similar Subtraction Images Using Similar Chest Radiographs of Different Patients. 2019KSRSC. Jun 1, 2019; Oral Presentation. Eulji University, Daejeon, Korea.
- Yuya Yamashita, Nobukazu Tanaka, Junji Morishita. Potential Usefulness of Scattered Radiation Removal Processing for Chest Radiography. 2019KSRSC. Jun 1, 2019; Oral Presentation. Eulji University, Daejeon, Korea.
- Suguru Katsube, Yuma Tsubaki, Yuji Tsutsui, Shingo Baba, Akihiro Nohtomi, Toshioh Fujibuchi, Masayuki Sasaki : Performance of 18F Cerenkov Luminescence Detection on General Optical Imaging Devices, RSNA2019 Radiological Society of North America 105th Scientific Assembly and Annual Meeting,, 2019 年 12 月, UnitedStatesofAmerica.
- 枝光華奈, 佐々木智成, 松川英明, 平山 亮太, 廣瀬 貴章, 福永 淳一: Intra-fractional Dose Variation of Organs at Risk in High Dose Rate Image-guided Brachytherapy for Cervical Cancer, RSNA2019, 2019 年 12 月, UnitedStatesofAmerica.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 佐々木 雅之: 核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース「PET/CT」, 第 19 回 日本核医学会春季大会, 2019 年 04 月, Japan.
- 佐々木 雅之: PET 研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」, 第 19 回 日本核医学会春季大会, 2019 年 04 月, 東京都.
- 熊本航大、筒井悠治、氷室和彦、下川夏実、高島彩、勝部俊、椿悠馬、佐藤秀昭、佐々木雅之: PET データ収集におけるステップアンドシュート法と連続ベッド移動法の比較., 第 14 回九州放射線医療技術学会学術大会, 2019 年 11 月, Japan.
- 佐藤秀昭、筒井悠治、氷室和彦、下川夏実、高島彩、勝部俊、椿悠馬、熊本航大、佐々木雅之: TOF 時間分解能の違いが PET 画像の画質へ及ぼす影響., 第 14 回九州放射線医療技術学会学術大会, 2019 年 11 月, Japan.
- 勝部俊、椿悠馬、高島彩、下川夏実、筒井悠治、馬場眞吾、藤淵俊王、佐々木雅之: 高感度デジタルカメラを用いた 18F チェレンコフ光画像化の検討, 第39回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2019 年 11 月, Japan.
- 高島彩、下川夏実、勝部俊、椿悠馬、筒井悠治、馬場眞吾、佐々木雅之: 脳ドパミントランスポータ SPECT による鑑別診断における radiomics 解析の有用性の検討, 第39回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2019 年 11 月, Japan.
- 椿悠馬、赤松剛、下川夏実、高島彩、勝部俊、佐々木雅之: 脳 PET 定量解析を用いたアルツハイマー病のアミロイド集積と糖代謝低下の関連の検討, 第39回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2019 年 11 月, Japan.
- 下川夏実、赤松剛、高島彩、椿悠馬、勝部俊、佐々木雅之: PET 定量評価を用いた脳領域別のアミロイド蓄積の経時的変化, 第39回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2019 年 11 月, Japan. (公開)
- Toshiki Takeshita, Taiki Magome, Michihiro Sato, Shiro Onozawa, Masao Tago, Konatsu Tsuchiya, Masayuki Sasaki: The influence of implantable central venous ports on the distributions of radiation dose, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, Japan.
- Suguru Katsube, Yuma Tsubaki, Yuji Tsutsui, Akihiro Nohtomi, Toshioh Fujibuchi, Masayuki Sasaki: Quantitative Evaluation of 18F Cerenkov Luminescence Imaging using Optical Imaging Modalities, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, Japan.
- Aya Takashima, Natsumi Shimokawa, Yuji Tsutsui, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: The usefulness of texture analysis analyzing heterogeneous uptake on DaT SPECT images for the differential diagnosis, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, Japan.
- Yuma Tsubaki, Go Akamatsu, Natsumi Shimokawa, Takayoshi Kitamura, Aya Takashima, Suguru Katsube, Masayuki Sasaki: Development of automatic quantitative evaluation program of amyloid PET by using adaptive template and empirical PiB-prone ROI, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, Japan.
- Natsumi Shimokawa, Go Akamatsu, Ayano Shoji, Saki Kimoto, Aya Takashima, Masayuki Sasaki: Influence of templates for anatomical standardization on quantitative evaluation of amyloid PET, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, Japan.

- Natsumi Shimokawa, Go Akamatsu, Ayano Shoji, Saki Kimoto, Aya Takashima, Masayuki Sasaki: Quantitative evaluation of serial changes on amyloid PET in research data on dementia observation, 第 75 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2019 年 04 月, Japan.
- 和田祐耶, 杜下淳次, 奥村美紀, Yoon Yongsu, 池田典昭: 死後 CT 位置決め画像の部位大別に関する研究., 医用画像情報学会 令和元年度春季(第 186 回)大会, 2020 年 02 月, 大阪市.
- 小林 淳, 杜下淳次, 和田祐耶, 尾崎 誠, 山下雄也, 川添優介, ユンヨンス, 奥村美紀, 池田典昭. 死後頭部 CT 画像からデンタルチャートを作成するための予備的研究. 第 14 回九州放射線医療技術学術大会. Nov 9 - 10, 2019; 熊本市.
- 和田祐耶, 杜下淳次, 小林 淳, 尾崎 誠, 山下雄也, ユンヨンス, 奥村美紀, 池田典昭. 死後に撮影された X 線 CT の位置決め画像から個人識別を行うための基礎的検討. 第 14 回九州放射線医療技術学術大会. Nov 9 - 10, 2019; 熊本市.
- 山下雄也, 杜下淳次, 尾崎 誠, 川添優介, ユンヨンス, 奥村美紀, 池田典昭. 死後の頭部 X 線 CT 画像のポジショニング補正: 再現性の改善. 第 14 回九州放射線医療技術学術大会. Nov 9 - 10, 2019; 熊本市.
- 尾崎 誠, 杜下淳次, 清水陽一郎, 佐々木康夫, 藪内英剛. 経時差分画像と比較した類似差分画像の有用性の検討. MII2019. Sep 14, 2019; 口述発表. 広島市.
- 山下雄也, 杜下淳次, 川添優介, 尾崎 誠, Yoon Yongsu, 奥村美紀, 池田典昭. 死後の頭部 X 線 CT 画像のランドマークを用いたポジショニング補正の再現性の改善. MII2019. Sep 14, 2019; 口述発表. 広島市.
- Makoto Ozaki, Junji Morishta, Yoichiro Shimzu, Yusuke Kawazoe, Yayoi Sakata, Yasuo Sasaki, Hidetake Yabuuchi.: Investigation of Effectiveness of Similar Images for Subtraction Technique to Reduce Artifacts on Subtraction Images., 日本放射線技術学会第 75 回総会学術大会, 2019 年 4 月 11 日-14 日, 横浜市, 2019 年 04 月, 日本放射線技術学会第 75 回総会学術大会, 2019 年 4 月 11 日-14 日, 横浜市.
- 杜下淳次, 放射線画像自動認識技術の開発と死後画像への応用, 6 回法医学画像研究会
- 津田 規吏, 三井 宏太, 織田 信一郎, 田中 延和: FBP 法, Hybrid Iterative Reconstruction 法および Model-based Iterative Reconstruction 法を用いたハーフ再構成 CT 画像の解像特性の評価, 日本放射線技術学会第 75 回総会学術大会, 2019 年 04 月, パシフィコ横浜(横浜市).
- Nobukazu Tanaka, Toyoyuki Kato, Akiko Hattori, Junji Morishita: Imaging Properties of an Indirect-conversion-type Flat-panel Detector System with a High-resolution Type (座長推薦優秀研究発表), 日本放射線技術学会第 75 回総会学術大会, 2019 年 04 月, パシフィコ横浜(横浜市). (公開)
- 田中 延和, 杜下 淳次: FPD システムの散乱線除去処理と低格子比グリッドの併用システムの画像特性, 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019 年 10 月, グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)(大阪市).
- 扇浦拓也, 藪内英剛, 山下泰生, 小林幸次, 和田達弘, 藤原光希, 寶珠山桃子, 浅野波慧, 鍋田真衣: 頭頸部 MRI の apparent diffusion coefficient (ADC) ヒストグラム解析における圧縮センシングの有用性の検討, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, Japan.
- 浅野波慧, 藪内英剛, 山下泰生, 小林幸次, 和田達弘, 藤原光希, 寶珠山桃子, 扇浦拓也, 鍋田真衣: 造影ダイナミック MRI の病変内部の増強効果の

ヒストグラム解析における圧縮センシングの有用性の検討, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, Japan.

- 鍋田真衣, 藪内英剛, 山下泰生, 小林幸次, 和田達弘, 藤原光希, 寶珠山桃子, 浅野波慧, 扇浦拓也: 胸腺上皮性腫瘍の鑑別診断における MRI 全腫瘍ヒストグラム解析の有用性の検討, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, Japan.
- 高塚遼, 笠井裕貴, 松本和樹, 福山幸秀, 寺嶋廣美, 井上慶輝, 高山雄一郎, 坂本知哉, 末次善紀, 張ハンナ, 佐々木智成: TomoTherapy を用いた全身照射における Thread Effect に関する研究, 日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会, 2019 年 11 月, 名古屋国際会議場.
- 井上 慶輝, 佐々木 智成, 松川 英明, 笠井 裕貴, 枝光 華奈, 松本 和樹, 廣瀬 貴章, 福永 淳一: 同一治療計画に対する線量計算アルゴリズムの違いによる線量分布の比較検討, 日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会, 2019 年 11 月, 名古屋国際会議場.
- 田中 延和: テーマ討論「散乱線補正処理の活用」(3) 散乱線補正処理と低格子比グリッドの併用による FPD システムの画質改善の試み, 第 7 回九州医用画像コミュニティ, 2020 年 1 月 25 日, 九州大学(福岡市).
- 佐藤 広菜, 田中 延和: 散乱線補正処理の強度の違いが FPD システムの画質に及ぼす影響, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月, 熊本城ホール(熊本市).

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 編集主幹 遠藤啓吾, 編集委員 杜下淳次, 小倉昭夫, 片淵哲朗, 赤澤博之, 西谷源展: (編集) 図解 診療放射線技術実践ガイド 第 4 版, 2020 年 01 月, 文光堂.
- 桂川茂彦, 藤田広志, 杜下淳次, 白石順二, 祐延良治: (共著) 医用画像情報学 改訂 4 版, 2020 年 03 月, 南山堂.
- 松本光弘(監修), 松本光弘, 小泉雅彦, 川守田龍(編): (共著) 新・医用放射線科学講座 放射線腫瘍学, 2020 年 03 月, 医歯薬出版.

2. 総説 なし

3. 解説, 書評など なし

受賞

- 尹、杜下「第 105 回北米放射線学会で教育展示分野において発表した論文”Real-time Skull Radiographic Simulator Based on Optical Tracking System for the Education and Training of Less Experienced Radiology Personnel”で受賞」, Certificate of Merit, RSNA, 2019 年 12 月.
- 田中, 「画像表示装置の画質と視認性の関連性に関する研究」, 令和元年度がん研究助成金 奨励賞, 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団, 2019 年 10 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 田中, デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究, 富士フイルムメディカル株式会社, 2019 年 03 月～2020 年 03 月.
- 杜下, 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究, 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究, 株式会社キュアホープ, 2016 年 06 月～2021 年 03 月.
- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, EIZO 株式会社, 2006 年 05 月～2023 年 03 月, 非公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木雅, European Association of Nuclear Medicine (Spain), 国際会議, 2019 年 10 月～2019 年 10 月 (2 週間未満),
- 佐々木智, American Society of Therapeutic Radiation Oncology (UnitedStatesofAmerica), 国際会議, 2019 年 09 月～2019 年 09 月 (2 週間未満),

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員
 - Yulia Irdawati, その他, Diponegoro University, , Indonesia.
- 訪問研究者
 - Yulia Irdawati, その他, Diponegoro University, , Indonesia.

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員

- 佐々木雅, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員.
- 佐々木雅, 九州大学病院サイクロトン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員.

3. 部門・コース内委員

- 佐々木雅, 副部門長
- 佐々木雅, 医学研究院保健学部門 施設環境委員会 委員長.

- 杜下, 広報委員会 副委員長.
- 杜下, 教務委員会 委員.
- 藪内, 医用量子線科学分野 分野長.
- 藪内, 大学院委員会 委員.
- 藪内, 入試実施委員会 委員.
- 佐々木智, 保健学部門教務委員会 委員.
- 田中, FD 実行委員会 委員.
- 田中, 地域・国際連携推進委員会 委員.
- 田中, 学生委員会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木雅, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師.
- 井手口, 純真学園大学 大学院, 非常勤講師.
- 佐々木智, 東京都立大学 大学院、非常勤講師

2. 学協会

- 佐々木雅, 日本核医学会, 理事, 国内.
- 佐々木雅, 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 佐々木雅, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 杜下, 日本放射線技術学会, 英文誌(Radiological Physics and Technology) 編集委員, 国内.
- 杜下, 医用画像情報学会, 理事, 国内
- 杜下, 図解 診療放射線技術実践ガイド 第4版, 編集委員(著者(分担)), 国内.
- 杜下, 医用画像情報学 第4版, 著者(分担), 国内.
- 杜下, 放射線・医療安全管理学, 編集委員, 国内.
- 杜下, 医用画像検査技術学 第4版, 編集委員(著者(分担)), 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 代議員, 国内.
- 藪内, Japanese Journal of Radiology, 副編集長, 国内.
- 藪内, 日本磁気共鳴学会, その他(代議員), 国内.
- 井手口, 日本医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 田中, 公益社団法人 日本放射線技術学会, その他(代議員), 国内.
- 佐々木智, Japanese Journal of Radiology, 査読委員, 国内.
- 佐々木智, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 佐々木智, 日本放射線腫瘍学会, 評議員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授	重藤 寛史
教授	内海 健
講師	田代 洋行
講師	小島 夫美子
講師	相原 正宗
助教	安田 洋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健学研究論（分担）	重藤	前期
国際社会とチーム医療	内海	前期
ヘルスサイエンス論	内海	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

保健学特別研究	内海	通年
生体情報機能検査学演習	内海	前期
検査技術科学特別研究	内海	通年

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

人体の構造と機能Ⅰ（分担）	重藤	前期
生理機能検査学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ（分担）	重藤	前期
人体の構造と機能Ⅰ	内海	前期
検査管理総論	内海	前期
臨床化学Ⅱ	内海	前期
先進臨床検査特論	内海	前期
先進検査学総論	内海	前期
管理総論	内海	前期
臨床化学Ⅱ（分担）	内海	前期
臨床検査学概論Ⅰ	田代	前期
医用工学・情報概論	田代	前期
医療安全・バイオリスク管理および実習（分担）	田代	冬学期

臨床検査総論	小島	春学期
寄生虫学(医学科)(分担)	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	前期
臨床検査学概論Ⅰ(分担)	小島	通年
一般検査学および実習	小島	後期
病原体学	相原	前期
一般検査学および実習	安田	後期
検査基礎技術	安田	前期
生理機能検査学Ⅰ	安田	前期
生理機能検査学Ⅱ	安田	前期
生理機能検査学Ⅲ	安田	前期

7. 学部の実験・実習・演習

生理機能検査学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ (分担)	重藤	前期
医用工学・情報概論実験	田代	秋学期
一般検査学および実習	小島	後期
寄生虫学(医学科)	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	前期
臨床微生物学および実習	相原	前期
医療安全・バイオリスク管理および実習	相原	冬学期
生化学・臨床化学実習	安田	後期
生理機能検査学実習	安田	後期
一般検査学および実習	安田	後期

8. 卒業論文作成者

平井 遥	血漿中マイクロベジクルに含まれる核酸の解析
田中琢朗	ミトコンドリア翻訳阻害によるコレステロール合成遺伝子発現抑制の分子機序/
中原弘介	p32・Atg5 の心筋特異的ダブルノックアウトマウスの遺伝子発現解析
甲斐 陽代里	ミトコンドリアタンパク p32 の心筋・神経特異的ノックアウトマウスの遺伝子発現の解析
日高葵	ホルマリン保存 DNA を対象とした <i>Anisakis simplex</i> 同胞種の鑑別法の確立
後藤桃子	PCR-CTPP 法を利用した <i>Anisakis simplex</i> の同胞種鑑別法
遠坂 眞悠	光刺激による視覚再生に向けた中赤外線レーザー光の生体内減衰量の計測
崎原 恵香	光刺激によりイオンチャネル開閉を制御する Photoactive molecule の合成におけるトリエチルグリシンの最適な精製条件の検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	新規臨床化学測定法の開発	内海
2	てんかん患者における忘却の加速のメカニズム	重藤
3	寄生虫検査に関する研究	小島
4	アニサキスに関する研究	小島
5	人工視覚システムの開発	田代
6	ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発	田代
7	臨床微生物学	相原
8	胃がん組織の形態特徴と分子特徴に関するコンピューター解析	安田

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」てんかん患者の忘却促進現象の標的記憶再活性化と経頭蓋直流刺激による病態解明と治療，重藤(代表)，500 千円.
- 「基盤研究(C)」先天性門脈体循環シャント症候群を引き起こす遺伝的要因の解明，内海(分担)，200 千円.
- 「基盤研究(C)」ミトコンドリア異常と代償的葉酸代謝亢進の分子基盤と予防栄養の探索，内海(分担)，200 千円.
- 「基盤研究(A)」網羅的代謝変化によるミトコンドリア異常疾患の病態解析とバイオマーカー探索，内海(分担)，200 千円.
- 「若手研究」Photoswitch を応用した人工感覚器の有効性および安全性の検証(研究代表者:帝京大学 野村修平)，田代(連携).
- 「基盤研究(C)」Optical stimulation を用いた BMI の培養細胞による安全性評価，田代(代表)，800 千円.
- 「基盤研究(B)」老化・疾病をもたらすミトコンドリア機能障害を鋭敏に捕らえる手法の開発，相原(分担)，100 千円.
- 「若手研究(B)」RNA 修飾である Poly(A)を活用したミトコンドリア機能検査法の確立と臨床応用，相原(代表)，900 千円.

3. 学内研究経費の受入れなし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「研究等に関する助成(田代洋行)」サンライズコーポレーション(株)，田代，360 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「(株)ニデック 次世代人工視覚の研究」田代，2400 千円.
- 「帝京大学 神経刺激方法の研究開発」田代，420 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

- 学会誌・学術専門誌

- Masaki Shiota, Naohiro Fujimoto, Yoshiaki Yamamoto, Ario Takeuchi, Katsunori Tatsugami, Takeshi Uchiumi, Hideyasu Matsuyama, Masatoshi Eto: Genome-wide association study of genetic variations associated with treatment failure after intravesical bacillus Calmette-Guérin therapy for non-muscle invasive bladder cancer, *Cancer Immunology, Immunotherapy*, , 2020 年 01 月. (査読あり)
- Masanori Honsho, Fabian Dorninger, Yuichi Abe, Daiki Setoyama, Ryohei Ohgi, Takeshi Uchiumi, Dongchon Kang, Johannes Berger, Yukio Fujiki: Impaired plasmalogen synthesis dysregulates liver X receptor-dependent transcription in cerebellum, *Journal of Infectious Diseases*, 220, 4, 353 – 361, 2019 年 08 月. (査読あり)
- Fujii, T., Takase, K. I., Honda, H., Kawamura, N., Yamasaki, R., Urata, M., Uchiumi, T., Iwaki, T. & Kira, J-I: Toxic myopathy with multiple deletions in mitochondrial DNA associated with long-term use of oral anti-viral drugs for hepatitis B: A case study, *NEUROPATHOLOGY*, 39, 2, 162 – 167, 2019 年 04 月. (査読あり)
- Shimmura M, Uehara T, Ogata K, Shigeto H, Maeda T, Sakata A, Yamasaki R, Kira JI.: Higher postictal parasympathetic activity following greater ictal heart rate increase in right- than left-sided seizures., *Epilepsy Behav*, 97, , 161 – 168, 2019 年 08 月. (査読あり)
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Jun Ohta: Porosification of Surface of Platinum Electrode by Anisotropic Etching, *Sensors and Materials*, 6, 2, 1957 – 1971, 2019 年 06 月. (査読あり)
- Yoko Yasuda, Kazuaki Tokunaga, Tomoaki Koga, Chiyomi Sakamoto, Ilya G. Goldberg, Noriko Saitoh, Mitsuyoshi Nakao: Computational analysis of morphological and molecular features in gastric cancer tissues, *Cancer Medicine*, , 2020 年 02 月. (査読あり)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Takeshi Uchiumi Mikako YagiDongchon Kang: Mitochondrial translational impairment suppresses lysosomal function due to reduced NAD synthesis, J –Mit ミトコンドリア学会第 19 回, 2019 年 10 月, Japan.
- Mukaino T, Uehara T1, Yokoyama J, Okadome T, Sakata A, Arakawa T, Yokoyama S, Akamatsu 6, Shigeto H, Kira J-I: Time-dependent functional specialization of hippocampal subfields detected by MRI in patients with temporal lobe epilepsy, American Epilepsy Society Annual Meeting 2019, 2019 年 12 月, UnitedStatesofAmerica.
- Hideaki Tanaka, Hiroshi Shigeto, Shinji Ohara, Toshio Matsushima, Tooru Inoue: Naoki Akamatsu, Predictors of postsurgical seizure relapse and post-relapse after surgery of temporal lobe epilepsy in the era of new antiepileptic drugs, 33rd International Epilepsy Congress, 2019 年 06 月, Thailand.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Suprachoroial retinal stimulation using temporally interfering electric fields: A simulation study, Artificial Vision 2019, 2019 年 12 月, Germany.
- Hiroyuki Tashiro: A review of optical neural stimulation: considering applications to artificial retina, 2019 NAIST NCTU Joint Workshop on Biomedical Devices and Materials, 2019 年 12 月, Taiwan.
- Yukari Nakano, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Motoki Ozawa: Assessment of the safety of anodic-first chronic electrical stimulation of the rabbit retina for 1 month using a femtosecond laser-induced porous

electrode, The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 2019 Annual Meeting, 2019 年 05 月, United States of America.

○ 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 田中 秀明、大原 信司、萩原 綱一、重藤 寛史、赤松 直樹、松島 俊夫、井上 亨：両側側頭葉てんかん患者への切除術の有効性と適応に関する検討，第 43 回日本てんかん外科学会，2020 年 01 月，アクティビティ浜松コンgresセンター。
- 重藤 寛史：デジタル脳波におけるてんかん性放電，第 53 回日本てんかん学会学術集会，2019 年 10 月，神戸国際会議場。
- 上原 平、重藤 寛史：肝不全を背景として非痙攣性てんかん重積状態を起し脳波判読に苦慮した一例，第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会，2019 年 11 月，ザ・セレクトン福島。
- 酒田あゆみ、丸山奏恵、池本文花、渡邊恵利子、堀田多恵子、康東天、上原平、向野隆彦、横山淳、岡留敏樹、重藤寛史、迎伸孝、生野雄二：「重積管理中の脳波変化推移を可視化する試み」，第 53 回日本てんかん学会学術集会，2019 年 10 月，神戸国際会議場。
- 内海健 康東天：ミトコンドリア機能低下とリソソーム機能の新規関連，第 66 回 日本臨床検査医学会，2019 年 11 月，。
- 内海健：外部環境に応じたがん幹細胞様変化と抗生剤治療の可能性，第 7 回 癌と代謝研究会，2019 年 08 月，仙台。
- 福成 由基、遠藤 広基、春田 牧人、寺澤 靖雄、竹原 浩成、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：人工視覚用ハニカム型-CMOS スマート電極アレイの実装工程の最適化，令和2年電気学会全国大会，2020 年 03 月，東京電機大学。
- 野村修平、田代洋行、寺澤靖雄、太田淳：失われた視覚機能の再生を目指した光による網膜神経刺激法，2020 年日本生体医工学会九州支部学術講演会，2020 年 01 月，KKR ホテル熊本，熊本。
- 遠坂眞悠、田代洋行：光刺激を使用した視覚再生に向けた中赤外線レーザー光の生体内減衰量の計測，2020 年日本生体医工学会九州支部学術講演会，2020 年 01 月，KKR ホテル熊本，熊本。
- 野村 修平、田代 洋行、中野 由香梨、寺澤 靖雄、太田 淳：人工視覚システム用多孔性刺激電極の一定位相要素に対する電極界面構造の影響，第 58 回日本生体医工学会大会，2019 年 06 月，沖縄コンベンションセンター。
- 相原正宗、西田留梨子、清祐麻紀子、堀田多恵子、康東天：同一患者の血液培養から経時的に検出されたカルバペネム感性／耐性 *Klebsiella pneumoniae* の 2 株間ゲノム比較と耐性機序解析，第 31 回日本臨床微生物学会 総会・学術集会，2020 年 01 月，金沢。
- 安田洋子、徳永和明、古賀友紹、Ilya G. Goldberg、坂本智代美、斉藤典子、中尾光善：Morphological and molecular analysis of gastric cancer tissues using machine-learning algorithm，第 42 回日本分子生物学会，2019 年 12 月，福岡国際会議場。
- Yoko Yasuda, Kazuaki Tokunaga, Tomoaki Koga, Ilya G. Goldberg, Chiyomi Sakamoto, Noriko Saitoh, Mitsuyoshi Nakao: Evaluation of morphological

dissimilarity in H&E images using machine-learning algorithm, 第 58 回日本臨床細胞学会, 2019 年 11 月, ANA クラウンプラザホテル岡山.

- 安田洋子, 徳永和美, 古賀友紹, Ilya G. Goldberg, 坂本智代美, 斉藤典子, 中尾光善: Quantification analysis of morphological changes in pathological images by machine-learning algorithm, 第 78 回日本癌学会学術総会, 2019 年 09 月, 国立京都国際会館.

○ 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 重藤寛史、飛松省三: (共著) 脳波の行間を読む デジタル脳波判読術, 2019 年 11 月, 南山堂.
- 重藤寛史: (共著) 意識障害 モノグラフ臨床脳波を基礎から学ぶ人のために 第 2 版, 2019 年 12 月, 診断と治療社.
- Marko B. Popovic, Kathleen A. Lamkin-Kannard, Hiroyuki Tashiro, Philipp Beckerle, Steffen Willwacher, Minas Liarokapis, Michelle J. Johnson, Adam D. Goodworth, Pinar Boyraz, Ivo Dobrev: Chapter 19 Practice Problems (共著), in Marko B. Popovic (Ed.), Biomechatronics, 2019 年 04 月, Academic Press, Elsevier.
- Hiroyuki Tashiro, Marko B. Popovic, Ivo Dobrev, Yasuo Terasawa: Chapter 7 Artificial Organs, Tissues, and Support Systems (共著), in Marko B. Popovic (Ed.), Biomechatronics, 2019 年 04 月, Academic Press, Elsevier.
- Hiroyuki Tashiro, Marko B. Popovic, Keiji Iramina, Yasuo Terasawa, Jun Ohta: Chapter 6 Direct Neural Interface (共著), in Marko B. Popovic (Ed.), Biomechatronics, 2019 年 04 月, Academic Press, Elsevier.

2. 総説

- 重藤寛史: 睡眠とてんかん, 直方鞍手医報 80 号 P5 学術直方鞍手医師会, 2020 年 02 月.
- 重藤寛史: 生理検査レポートの見方④ 脳波検査, 総合リハビリテーション 第 47 巻 第 6 号 別刷 pp 591-595 医学書院, 2019 年 06 月.
- 重藤寛史: 脳機能をみつめるてんかん診療, 認知神経科学, 2019 年 04 月.
- 重藤寛史: てんかんの治療:薬物療法 Update - Post ガイドライン 2018 特集 てんかん:診断と治療の現在, 医歯薬出版, 2019 年 08 月.

3. 解説, 書評など なし

受賞

- 田代, 「Mariko Kuwabara, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Koji Osawa, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Takashi Fujikado, Development of Chronic Implantable Electrodes for Long-term Visual Evoked Potential Recording in Rabbits, Advanced Biomedical Engineering, Vol. 6, pp. 59-67 (2017).」, 論文賞・阪本賞, 日本生体医工学会, 2019 年 06 月.

報道

- 重藤, 「てんかん診療連携」, 2019 年 10 月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代，次世代人工視覚の研究，(株)ニデック，2019 年 04 月～2020 年 03 月，公開.
- 田代，神経刺激方法の研究開発，帝京大学，2018 年 08 月～2021 年 03 月，公開.

2. 受託研究

3. 取得特許 なし

4. 兼業

田代，ニプロ(株)総合研究所 技術顧問.

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者
 - 王 楽，訪問研究員，China.

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 田代，支線 LAN 管理者.
- 相原，九州大学研究用微生物安全管理委員会委員.

2. 部局委員

- 田代，九州大学病院 ARO 次世代医療センター百人部会委員.
- 小島，医療系統合教育研究センター委員会.

3. 部門・コース内委員

- 重藤，教務委員.
- 重藤，地域国際連携推進委員.
- 重藤，ブレインセンター検査主任.
- 内海，IRB 委員会.
- 田代，学生委員.
- 田代，KITE 連絡員.
- 相原，広報委員会委員.

- 安田，将来計画委員会・年報委員会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 重藤，国際医療福祉大学福岡看護学部，非常勤講師.
- 田代，奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域・准教授(客員)，客員教員.
- 小島，博多メディカル専門学校・臨床工学士科，非常勤講師.

2. 学協会

- 重藤，日本てんかん学会，理事，国内.
- 重藤，Epilepsy & Seizure，編集委員，国際.
- 重藤，臨床神経生理学，編集委員，国内.
- 田代，日本生体医工学会九州支部，評議員，国内.
- 小島，日本臨床寄生虫学会，評議員，国内.
- 小島，日本寄生虫学会，評議員，国内.
- 小島，日本寄生虫学会南日本支部，評議員，国内.

3. 官界

- 内海，科学研究費審査委員，文部科学省.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 小島，「福岡県臨床検査技師会福岡地区臨床微生物部門・臨床一般検査部門勉強会の講師として講演テーマ:蠕虫卵の魅力に迫る！」，2019-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 小島，「サイエンスカフェ@うきは講演タイトル:私たちの身近に潜む寄生虫 ～あなどれない、されど愛しい虫たちの紹介～」，主催:サイエンス友和会後援:うきは市・うきは市教育委員会，うきは市，講演会・公開討論.

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

《病態情報学》

教授	水野 晋一
教授	勝田 仁
講師	外園 栄作
講師	栗崎 宏憲
講師	渡邊 壽美子
助教	塩津 弘倫
助教	木村 朋子
助教	八木 美佳子

1. 教育活動

1. 大学院講義

国際社会とチーム医療	水野	前期
病態情報解析学 I	水野	前期
分子情報解析検査学	勝田	後期
病態情報機能検査学	勝田	後期
ヘルスサイエンス論	勝田	前期
病態情報解析学 I	勝田	前期
病態情報解析検査学	渡邊	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

病態情報解析検査学演習	水野	前期
保健学特別研究	水野	通年
検査技術科学特別研究	水野	通年
病態情報解析学 II	勝田	後期
保健学特別研究	勝田	通年
病態情報機能検査学演習	勝田	前期
分子情報解析検査学演習	勝田	前期
検査技術科学特別研究	勝田	通年
検査技術科学特別研究	外園	通年
検査技術科学特別研究	渡邊	通年

4. 大学院修士課程修了者

横溝 綾香	機械学習を用いた糖尿病患者におけるケトosis発症予測アルゴリズムの開発
原口 泰典	酵素サイクリング法を用いたクレアチニンの高感度測定法
山本 祥輝	新規ロイコ系色素による生体試料の高感度検出法の研究
赤田 泰崇	尿中 THP 測定法の開発とその臨床的有用性の検証
中司 成	BCG 曝露培養細胞における細胞周期関連蛋白と核形態の関連性

5. 大学院博士課程修了者

出田(山口) 貞子	Randomized controlled trial to evaluate the safety and utility of early oral intake after gastric cancer resection – Influence of early oral intake on postoperative weight loss
-----------	--

6. 学部講義

人体の構造と機能 I	水野	前期
血液検査学	水野	後期
病因・生体防御検査学特論	勝田	秋学期
臨床検査医学総論	勝田	冬学期
生物化学分析検査学特論	勝田	後期
人体の構造と機能 II	勝田	前期
遺伝子・細胞工学	勝田	前期
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
臨床検査統計学および演習	外園	秋学期
検査生化学	外園	夏学期
生化学	外園	春学期
輸血検査学	栗崎	冬学期
病理検査学概論	渡邊	冬学期
病理学	渡邊	秋学期

7. 学部の実験・実習・演習

血液検査学実習	水野	前期
遺伝子検査学実験	勝田	秋学期
臨地実習	勝田	前期
卒業研究	勝田	通年
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
臨床検査統計学および演習	外園	秋学期
検査基礎技術	外園	前期
臨床免疫学および実習	栗崎	後期
組織・病理検査学および実習 III	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習 I	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習 II	渡邊	前期
国際感染症学および実習	木村	前期
血液検査学実習	木村	前期

臨床微生物学および実習	木村	前期
生化学・臨床化学実習	八木	後期
臨床免疫学および実習	八木	後期
遺伝子検査学実験	八木	秋学期
組織・病理検査学および実習 II	塩津	前期
組織・病理検査学および実習 I	塩津	後期
組織・病理検査学および実習 III	塩津	後期
医用工学・情報概論実験	塩津	後期

8. 卒業論文作成者

藤井 有香	糖尿病治療薬 SGLT2 阻害薬服用者の尿中ケトン体出現と HDL-コレステロール、LDL-コレステロールの関連性
永田 陽菜子	SGLT2 阻害薬服用糖尿病患者における尿ケトン体上昇と尿クレアチニン及び P/C 比の関連性
坂井 春香	SGLT2 阻害薬服用 2 型糖尿病患者におけるケトン体上昇と PDW、HbA1c の関連性について
金城 明香理	糖尿病患者の腎機能低下と白血球数・白血球分画との関連
猪俣 朋花	糖尿病患者の腎機能低下と BUN の関連
荒木 杏里	糖尿病の腎機能低下予測における fib4index の有用性
近藤 毬永	転移学習とファインチューニングによる AI モデル構築の基礎的検討
石田 佳緒里	がんゲノム検査における遺伝子変異の解析および免疫療法への応用についての基礎的検討
友納 真由子	画像認識におけるニューラルネットワークモデルの基礎的検討
鹿島 里美	畳み込みニューラルネットワークにおける画像処理フィルタ生成機構の検討
安部 東子	がんゲノム検査における二次的所見についての基礎的検討
池之迫 美咲	がんゲノム医療における遺伝子及び構造変異の基礎的検討
濱崎 朱加	畳み込みニューラルネットワークによる画像認識におけるハイパーパラメーターの基礎的検討
西岡 未来	尿中オキシトシンの日内変動に関する研究
鹿島 彩美	尿中オキシトシンの日内変動に関する研究
林 麟太郎	マイクロプレートを用いた迅速・簡便な尿中 THP の測定法の構築
大石 優奈	新生児食物タンパク誘発胃腸炎における IgG4 関与についての検討
近縄 七海	レンチウイルスベクター感染単球作成の文献的考察
甲斐 友基	Deep Learning を用いた T24 細胞の pKi67 染色における DAPI 画像の検討
岡本 真奈	HeLa 細胞における pKi67 の発現と RD 値の比較
中島 海	二核細胞の最適な観察方法と二核細胞における p27 発現に関する検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	ゲノム編集技術の基礎研究	水野
2	腫瘍免疫の誘導法および検査技術の開発	水野
3	血液疾患診断への遺伝子解析の応用	水野
4	九州大学病院検査データを用いた新たな糖尿病病態分類の確立	勝田
5	生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園
6	自己免疫調節遺伝子(AIRE)の機能解析	栗崎
7	Deep Learning を活用した細胞診断支援システムの開発	渡邊
8	膀胱癌の診断と膀胱注入療法の作用機序解明	渡邊
9	癌細胞における細胞形態学	渡邊
10	MicroRNA を用いた新規臨床検査法の開発	塩津
11	呼吸凝縮液における気道炎症状態の評価法の確立	木村
12	骨髓異形成症候群細胞株 MDS-L を用いた in vitro における新規薬剤の抗腫瘍効果の検討	木村
13	概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発	木村
14	ミトコンドリアがオートファジーを制御する新機構と老化随伴疾患代謝物の探索	八木

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(B)」慢性疼痛難治例の症例対照研究: 中枢性感作に関する愛着・認知・情動とバイオマーカー, 外園(分担), 455 千円.
- 「基盤研究(C)」生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けない超高感度検出法の開発とその発展性の検証, 外園(代表), 900 千円.
- 「基盤研究(C)」BCG failure 症例に出現する異型細胞の形態学的・分子生物学的研究, 渡邊(代表), 900 千円.
- 「若手研究」血小板由来マイクロパーティクルの基礎的性状の解明と生体内の役割に関する研究, 塩津(代表), 1200 千円.
- 「若手研究」概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発, 木村(代表), 1600 千円.
- 「若手研究」ミトコンドリアがオートファジーを制御する新機構と老化随伴疾患代謝物の探索、八木(代表), 1900 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「奨学寄付」ノバルティス, 勝田, 500 千円.
- 「奨学寄付」中外製薬株式会社, 水野, 200 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Satoshi Morishige, Shinichi Mizuno, Hidetoshi Ozawa, Takayuki Nakamura, Ahmad Mazahery, Kei Nomura, Ritsuko Seki, Fumihiko Mouri, Koichi Osaki, Kenichi Yamamura, Takashi Okamura, Koji Nagafuji: CRISPR/Cas9-mediated Gene Correction in Hemophilia B Patient-Derived iPSCs, *Int J Hematol.*, 111, 2, 225 – 233, 2020 年 02 月. (査読あり)
- Hayashi S, Moriyama T, Yamaguchi R, Mizuno S, Komura M, Miyano S, Nakagawa H, Imoto S.: ALPHLARD-NT: Bayesian Method for Human Leukocyte Antigen Genotyping and Mutation Calling through Simultaneous Analysis of Normal and Tumor Whole-Genome Sequence Data., *J Comput Biol.*, , 2019 年 04 月. (査読あり)
- Teiko Yamaguchi, Eiji Oki, Koji Ando, Kouji Masumoto, Yoshihiko Maehara, Hitoshi Katsuta: Randomized controlled trial to evaluate the safety and utility of early oral intake after gastric cancer resection – Influence of early oral intake on postoperative weight loss, *臨床と研究*, , 242 – 251, 2020 年 02 月. (査読あり)
- Sonoko Yoshihiro, Takuya Ishigaki, Hayato Ookurano, Fumi Yoshitomi, Taeko Hotta, Dongchon Kang, Eisaku Hokazono and Yuzo Kayamori. New colorimetric method with bromocresol purple for estimating the redox state of human serum albumin. *J. Clin. Biochem. Nutr.* 1-6 2020 年 03 月. (査読あり)
- 外園 栄作、保坂 洗喜、秋本 卓、川満 紀子、酒本 美由紀、堀田 多恵子、康 東天、栢森 裕三: 96 穴プレートを用いた簡便な尿中 Tamm-Horsfall Protein(THP)の測定法の検討, *生物試料分析科学会 生物試料分析*, 42, 5, 248 – 255, 2019 年 12 月. (査読あり)
- 栢森 雄三、外園 栄作: 臨床化学領域にお領域生物試料分析, *福岡医学雑誌*, 110, 3, 133 – 145, 2019 年 09 月. (査読あり)
- Hossain A, Arimura H, Kinoshita F, Ninomiya K, Watanabe S, Imada K, Koyanagi R, Oda Y.: Automated Approach for Estimation of Grade Groups for Prostate Cancer based on Histological Image Feature Analysis., *Prostate.*, , 2019 年 12 月. (査読あり)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス なし

○ 大学・研究機関などの刊行誌 なし

○ 調査研究報告 なし

○ 国内学会での講演, 発表

- 勝田 仁: SGLT2 阻害薬の効果と食事摂取パターンの検討, 日本内科学会九州支部主催 第326回九州地方会, 2019 年 08 月, 福岡県北九州市産業医科大学.
- 山本 祥輝, 赤田 泰崇, 原口 泰典, 後藤 大希, 村井 雅樹, 外園 栄作, 内海 健, 栢森 裕三: 新規ロイコ系色素における光安定性の検証とピルビン酸測定法への試み, 日本臨床検査自動化学会, 2019 年 10 月, パシフィコ横浜.
- 原口泰典, 赤田 泰崇, 山本 祥輝, 後藤 大希, 東中尾 愛, 外園 栄作, 内海 健, 栢森 裕三: 酵素サイクリング法を用いたクレアチニンの高感度測定法(その 5), 日本臨床検査自動化学会, 2019 年 10 月, パシフィコ横浜.

- 溝口 義浩、佐谷 純一、下門 春菜、緒方 昌倫、外園 栄作：尿中 Ngal と各種今疾患マーカー及び尿沈渣成分との比較検討～第一報（尿蛋白陰性尿）～，第 29 回福岡県医学検査学会，2019 年 06 月，のがみプレジデントホテル。
- 岩崎遥菜、近藤守、上原俊貴、加来恒壽、岩坂剛、渡邊壽美子：二核細胞の分裂に関する検討，第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会（，2019 年 11 月，岡山シテイミュージアム。
- 細山田理葉、中司成、上原俊貴、加来恒壽、岩坂剛、渡邊壽美子：BCG 曝露 T24 細胞における pRB と p27 の関連性，第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会（，2019 年 11 月，岡山シテイミュージアム。
- 上原俊貴、大喜雅文、渡邊壽美子、大久保文彦、山元英崇、加藤聖子、小田義直、加来恒壽、岩坂剛：内膜細胞診における Deep Learning の有用性の検討，第 35 回日本臨床細胞学会九州連合会総会，2019 年 07 月，。
- 上原俊貴、渡邊壽美子、前田 裕亮、加来恒壽、岩坂剛：蛍光染色を用いたタンパク質発現判定法の検討ーシングルセル解析ー，第 60 回日本臨床細胞学会総会 春期大会，2019 年 06 月，京王プラザホテル、NS スカイカンファレンス。
- 中司成、渡邊壽美子、上原俊貴、加来恒壽、岩坂剛：BCG 曝露 T24 細胞における pRb と p21 発現の関連性 II，第 60 回日本臨床細胞学会総会 春期大会，2019 年 06 月，京王プラザホテル、NS スカイカンファレンス。
- 渡邊壽美子、中司成、上原俊貴、遠峰由希恵、加藤聖子、小田義直、加来恒壽、岩坂剛：ワークショップ 10「子宮内膜診断の精度を高めるために」腺癌細胞の核内所見と細胞周期の関連性：培養細胞を使用して，第 60 回日本臨床細胞学会総会 春期大会，2019 年 06 月，京王プラザホテル。
- 木村（兵田）朋子：概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発，第 29 回 福岡県医学検査学会，2019 年 06 月，のがみプレジデントホテル（飯塚市）。

○ 学会以外での講演，発表 なし

著作

1. 単行本 なし
2. 総説 なし
3. 解説，書評など
 - 外園 栄作：脾疾患の診断と検査，江東微研ジャーナル 友，2019 年 10 月。

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

海外出張・研修出張

外園,相原:Universiti Malaysia Sabah, Malaysia., Prof. Kamruddin Ahmed, 訪問, 2019 年 10 月 24～27 日

1. 外国人研究者の受入れ
 - 訪問教授・研究員
Prof. Kamruddin Ahmed, (Universiti Malaysia Sabah, Malaysia)
 - 訪問研究者 なし
2. 留学生の受入れ
相原, 渡邊, 外園, 塩津: 台北医科大学検査学科学生(4 年生) Mr.LIN, YUE TING, CHAO, Mr. SHAO-YU
3. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員
 - 勝田, 入学試験実施委員会・委員.
 - 外園, 環境安全管理委員.
 - 外園, 環境安全センター委員会委員.
2. 部局委員
 - 水野, 細胞免疫治療委員会・委員長.
 - 勝田, 九州大学病院糖尿病専門部会・委員.
 - 勝田, 医系地区部局ヒト ES 細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会・委員.
 - 勝田, 九州大学病院糖尿病専門部会・部会長.
 - 勝田, 病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会・委員.
 - 勝田, 医学研究院等動物実験委員会・委員.
3. 部門・コース内委員
 - 水野, 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・分野長.
 - 勝田, 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・副分野長.
 - 勝田, 卒業研究委員.
 - 勝田, 広報委員会・委員.
 - 勝田, 大学院委員会・委員.
 - 勝田, 入学試験実施委員会・委員長.
 - 外園, 地域国際連携・FD 委員.

- 栗崎，教務委員．
- 渡邊，施設・環境委員会委員．
- 木村，地域国際連携推進委員会・FD 委員会．

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 水野，鹿児島大学大学院医歯学総合研究科システム血栓制御学講座 客員教授，客員教員．
- 水野，久留米大学医学部血液・腫瘍内科 客員教授，客員教員．
- 外園，久留米歯科衛生専門学校，非常勤講師．
- 外園，博多学園高等学校(看護科および看護学専攻科)，非常勤講師．
- 栗崎，福岡県私設病院協会看護学校，非常勤講師．
- 八木，純真学園大学，非常勤講師

2. 学協会

- 水野，日本血液学会，評議員，国内．
- 勝田，日本糖尿病学会，評議員，国内．
- 外園，日本医療検査科学会，科学技術委員会 幹事，国内．
- 外園，日本臨床検査学教育協議会，編集委員会委員，国内．
- 外園，生物試料分析科学会，理事，国内．
- 外園，生物試料分析科学会，査読委員，国内．
- 渡邊，公益社団法人 日本臨床細胞学会，その他（査読委員），国内．
- 渡邊，日本臨床細胞学会九州連合会，理事（広報），国内．
- 渡邊，公益社団法人 日本臨床細胞学会，評議員，国内．
- 渡邊，日本臨床細胞学会福岡県支部，理事，国内．
- 渡邊，日本臨床細胞学会九州連合会雑誌，編集委員（および査読委員），国内．

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 勝田，「第3回九州大学病院糖尿病市民公開講座「令和時代の糖尿病に向き合う」」，九州大学病院，九州大学医学部百年講堂，公開講座．
- 勝田，「第35回福岡糖尿病アゴラ」，福岡糖尿病アゴラ，TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前、福岡市，講演会・公開討論．
- 勝田，「第4期(第21回)福岡地区実地以下の為の糖尿病セミナー 当番世話人」，公益社団法人日本糖尿病協会福岡県支部、福岡市医師会、福岡県糖尿病対策推進会議(福岡県、福岡県医師会、日本糖尿病学会九州支部)，福岡市、九州大学医学部百年講堂，講演会・公開討論．
- 勝田，「第9回薬院・糖尿病治療を考える会 当番世話人」，薬院・糖尿病治療を考える会，福岡市、福岡中央病院，セミナー・研修会．
- 勝田，「第35回福岡糖尿病アゴラ 当番世話人」，福岡糖尿病アゴラ，福岡市、ザイマックス博多駅前ビル，講演会・公開討論．
- 勝田，「第66回福岡糖尿病セミナー 当番世話人」，福岡糖尿病セミナー、福岡市医師会、福岡市薬剤師会、福岡県看護協会、福岡県臨床衛生検査技師会、福岡県栄養士会、福岡県糖尿病療養指導士認定委員会、福岡県糖尿病対策推進会議(福岡県、福岡県医師会、日本糖尿病学会九州支部福岡県)，福岡市、都久志会館，セミナー・研修会．

- 外園, 生化学アカデミー九州義塾, 「測定試薬の構成と適切な使用」, 講演
- 栗崎, 「「免疫とは? 免疫のふしぎな性質に迫る!」～自分の身体を守るシステムの不思議な世界～」, サイエンス友和会, cafe Retiro-Q, 講演会・公開討論.

6. 初等中等教育への貢献

- 勝田, 「主要大学説明会」, 九州大学, 講演・セミナー等.
- 勝田, 「高校教員向け九州大学説明会」, 大学情報センター, 講演・セミナー等.

4. 教員組織および委員会一覧

◆教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門 令和元年度

分野・領域	教 授	准教授	講 師	助教	その他
看護学					
統合基礎看護学	樗木 晶子 令和2年3月31日退職 諸隈 誠一 藤田 君支 中尾 久子 橋口 暢子	濱田 裕子	丸山 マサ美 能登 裕子 育児休業R2.2.28～R3.3.31 宮田 潤子 青本 さとみ 松尾 和枝	道面 千恵子 山口 優 酒井 久美子 藤田 紋佳 木原 深雪 潮 みゆき 令和2年3月31日退職 前野 里子 松本 美晴 森口 晴美	
広域生涯看護学	鳩野 洋子 谷口 初美 令和2年3月31日退職	川田 紀美子 寺岡 佐和 前野 有佳里	野口 ゆかり 令和2年3月31日退職	木村 一絵 末次 美子 佐藤 洋子 福田 陽子 藤田 貴子	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	有村 秀孝 藤淵 俊王 平成31年4月1日昇任	高橋 昭彦 納富 昭弘		河窪 正照 ユン ヨンス	
医用放射線科学	佐々木 雅之 杜下 淳次 藪内 英剛	佐々木 智成 井手口 忠光 令和元年9月1日採用		田中 延和	
検査技術科学					
生体情報学	重藤 寛史 平成31年4月1日採用 内藤 健 平成31年4月1日昇任		田代 洋行 小島 夫美子 相原 正宗	安田 洋子	
病態情報学	水野 晋一 勝田 仁		外園 栄作 栗崎 宏憲 渡邊 壽美子	木村 朋子 塩津 弘倫 八木 美佳子 令和元年10月1日採用	

No.	1		2		3		4		5		6	
	総務委員会		将来計画、点検・評価委員会 年報委員会		人事委員会 教員活動評価委員会		財務委員会		入学試験実施委員会		学生委員会	
	部門長		部門長		部門長		部門長		総務委員会で検 討、部門会議で 選出		総務委員会で検 討、部門会議で 選出	
	委員長指名	【放】藪内	委員長指名	【放】藪内	委員長指名	【放】藪内	施設・環境委員 会委員長	【放】佐々木	総務委員会で検 討、部門会議で 選出	【検】勝田	総務委員会で検 討、部門会議で 選出	【看】中尾
看護学	分野長 堀野	教授 (1)	2018.4～ 2020.3	諸隈	教授 (1)	2019.4. ～2021.3	藤田	橋口	教授 (1)	2019.4. ～2021.3	教授 (1)	2019.4. ～2021.3
		助教 以上 (1)	2019.4. ～2021.3	野口	助教 以上 (1)	2019.4. ～2021.3			助教 以上 (1)	2019.4. ～2021.3		
		教授 (1)	2018.4～ 2020.3	有村	教授 (1)	2019.4. ～2021.3			教授 (1)	2018.4～ 2020.3		
医用量子線科学	分野長 藪内	助教 以上 (1)	2019.4. ～2021.3	河窪	助教 以上 (1)	2019.4. ～2021.3	重藤	勝田	助教 以上 (1)	2018.4～ 2020.3	助教 以上 (1)	2018.4～ 2020.3
検査技術科学	分野長 水野	教授 (1)	2019.4. ～2021.3	内海	教授 (1)	2019.4. ～2021.3			教授 (1)	2019.4. ～2021.3	教授 (1)	2019.4. ～2021.3
職指定の委員	部門長 副部門長 各分野長	助教 以上 (1)	2018.4～ 2020.3	安田	助教 以上 (1)	2019.4. ～2021.3	【各分野長】 (部内)学生委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長					
		【各分野長】 (副部門長) (各分野長) (部内) 地域・国際連携推進委員会委員長 (部内)施設・環境委員会委員長 (部内)学生会委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長 (部内)広報委員会委員長						【各分野長】 (副部門長) (各分野長) (部内) 地域・国際連携推進委員会委員長 (部内)施設・環境委員会委員長 (部内)学生会委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長 (部内)広報委員会委員長				

No.	7	8	9	10	11	12
委員会	教務委員会	大学院委員会	施設・環境委員会	地域・国際連携推進委員会	広報委員会	放射線安全委員会
合併委員会			KITE連絡員・支線LAN管理者	FD実行委員会		
委員長	総務委員会で検討・部門会議で選出 【看】藤田	前年度副委員長 【看】谷口	部門長指名 【放】佐々木	前年度副委員長 【看】橋口	総務委員会で検討・部門会議で選出 【看】中尾	医学研究院長 北園
副委員長	総務委員会で検討・部門会議で選出 【看】諸隈	総務委員会で検討・部門会議で選出 【放】藤淵	委員長指名 【検】内海	総務委員会で検討・部門会議で選出 【検】重藤	委員会選出 【放】杜下	放射線取扱主任者 納富(2014.4～)
分野から選出する委員	看護学	教授(1) 2019.4～2021.3 藤田・諸隈 講師以上(1) 2018.4～2020.3 寺岡	教授(1) 2019.4～2021.3 谷口 助教以上(1) 2018.4～2020.3 能登	教授(1) 2019.4～2021.3 橋口・濱田 助教(5) 2019.4～2021.3 宮田・山口・道面 2018.4～2020.3 前野(里)	教授または准教授(1) 2019.4～2021.3 中尾 助教または講師(2) 2019.4～2021.3 木村 2018.4～2020.3 松本	
	医用量子線科学	教授(1) 2019.4～2020.3 杜下 講師以上(1) 2019.4～2021.3 佐々木智	教授(1) 2019.4～2021.3 藤淵 助教以上(1) 2019.4～2021.3 高橋	教授または准教授(1) 2018.4～2020.3 納富 助教または講師(2) 2019.4～2021.3 ユン 田中	教授または准教授(1) 2019.4～2021.3 杜下 助教または講師(1) 2019.4～2021.3 納富	
	検査技術科学	教授(1) 2019.4～2020.3 重藤 講師以上(1) 2019.4～2020.3 栗崎	教授(1) 2019.4～2021.3 内海 助教以上(1) 2018.4～2020.3 渡邊	教授または准教授(1) 2019.4～2021.3 重藤 助教または講師(2) 2018.4～2020.3 外園 塩津	教授または准教授(1) 2019.4～2021.3 勝田 助教または講師(1) 2019.4～2021.3 相原	
職指定の委員			支線LAN管理者 【保健学科本館】 〈看護〉野口講師、潮助教 【基礎研究B棟】 〈主〉(放射)高橋准教授 〈副〉(検査)田代講師 【総合研究棟1-4F】 (検査)田代講師 KITE連絡員 (看護)野口講師、潮助教 (検査)田代講師 (放射)納富准教授			部門長 放射線取扱主任者【納富(2014.4～)】 事務部長

※(部内)教務委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。

※(全学)教育企画委員委員は、(部内)教務委員委員が就任する。

【令和元年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R1)委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
1	アイソトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会		【放射】 佐々木 教授	2 年	2018.4.1	2020.3.31	講師以上1名	医学研究院から5 名(内、保健学から1名)
2	アイソトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会		【放射】 佐々木 教授	2 年	2018.4.1	2020.3.31	講師以上1名	
3	アイソトープ総合センター 病院地区実験室及び病院地区 学生実習室放射線安全委員会		【放射】 納富 准教授	2 年	2018.4.1	2020.3.31	講師以上1名	
4	アイソトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区 学生実習室放射線取扱副主任者		【放射】 藤淵 准教授	-	-	-	-	RIセンターから委 嘱依頼有 選出の必要なし
5	附属図書館医学図書館 運営委員会	部門内教務委員 会委員長、副委員 長	【看護】 藤田 教授 【検査】 重藤 教授 【看護】 諸隈 教授	2 年	2017.4.1 2018.4.1	2019.3.31 2020.3.31	教授2名	【部門内】図書委 員会は教務委員 会と統合 →教務委員会委 員長・副委員長 が兼ねる
6	医療系統合教育研究センター 委員会	部門内教務委員 長(実質的な任期 は1年)	【検査】小島講師 センター長は薬学 部【放射】藤淵 教 授 【看護】丸山講師	2 年	2019.4.1 2019.4.1 2018.4.1	2021.3.31 2021.3.31 2020.3.31	保健学部門 教員から1名 保健学部門 教員から1名 保健学部門 の教員から1 名 (医療系統合 教育研究セン ター兼任教 員)	・副センター長 ※センター長は 各部署選出の副 センター長4名か ら1名が輪番で選 出(原則、副セン ター長経験者か ら) ★センター長 2011-2012 薬 2013-2014 医 2015-2016 歯 2017-2018 保 2019-2020 薬 ・【部門内】教務 委員長 →実質的な任期 は1年
7	医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会		【放射】高橋 准教 授	-	-	-	-	2014.6～
8	病院地区協議会	【職指定】部門長 【職指定】 医療系統合教育 研究センター長	樗木 教授 (部門長) (保)	-	-	-	部門長 医療系統合 教育研究セン ター長	医学・歯学・薬学 研究院長、生体 防御医学研究所 長、病院長、保健 学部門長、医系 学部等事務部 長、病院事務部 長、医療系統合 教育研究セン ター長及び(オブ ザーバーとして) 副病院長(歯科 部門)

【令和元年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R1)委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
9	九州大学病院地区 学生感染対策委員会		【検査】水野 教授	2 年	2019.9.1	2021.8.31	九州大学病院 地区学生感染 対策委員会内 規第3条1項「学 部(学科)、学 府の学生の教 育または感染 対策に責任を 持つ組織に所 属する教員のう ちから選出され た者 1名」	
10	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長	樗木 教授 (部門長)	-	-	-	部門長	部局長・保健学 部門長・各倫理 審査委員会委員 長・人文・社会 科学の有識者・ その他協議会が 必要と認めた者
11	総合研究棟管理運営委員会	【職指定】部門長	樗木 教授 (部門長)	2 年	-	-	部門長	※4号委員を兼ね る
			【検査】内海教授		2019.4.1 (前任の委員 残任期間を引き 継ぐ)	2020.7.31		※5号委員 部局管理運用部 分の許可を受けて いる者
12	馬出地区職員等用駐車区域 委員会		【検査】水野 教授 【看護】寺岡 准教授	2 年	2018.4.1	2020.3.31	教授1名、准 教授以下1名	
13	病院サイクロロン運用・薬剤 審査委員会		【放射】佐々木 教授	2 年	2017.10.1	2019.9.30	病院地区所 属保健学部 門の教員1名	委嘱依頼あり 選出不要
14	病院放射性医薬品委員会		【放射】佐々木教授	2 年	2018.4.1	2020.3.31	教員1名	委嘱依頼あり 選出不要
15	病院先進医療適応評価委員会		【看護】青本講師	2 年	2019.4.1	2021.3.31	保健学部 助教以上、女 性教員	
16	医系地区部局臨床研究 倫理審査委員会		【放射】藤淵 准教授 【看護】諸隈 教授	2 年	2018.4.1 2019.4.1	2020.3.31 2021.3.31	保健学部 講師以上2名 (1名は教授と する)	委員会の構成 上、2017では女 性委員の選出依 頼あり。
17	医系地区部局ヒトES細胞の樹立 及び使用に関する倫理審査委員会		【検査】勝田 教授	2 年	2018.4.1	2020.3.31	保健学部 教授1名 (医学に関す る専門家)	
18	医学研究院情報公開委員会	【職指定】 教育研究評議員	樗木 教授 (部門長) (必要に応じて選 出)	- -	- -	- -	教育研究評 議員	年5回程度
19	医学研究院教員業績評価専門部会	部門長 各分野長	部門長 各分野長	-	-	-	部門長 各分野長	申し合わせでは 部門長から指名 された分野長1名 となっているが、 実質的に各分野 長が行っている

【令和元年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R1)委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
20	基礎研究B棟管理運営委員会	【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長		-	-	-	※部門長、当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる→実質的な任期は2年	基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について
21	病院運営会議 オブザーバー委員		【看護】樗木 教授	2年	2018.4.1	2020.3.31	保健学部門臨床系教授1名	毎月1回開催
22	安全・衛生委員会		【検査】内海 教授	2年	2018.4.1	2020.3.31		申し出がないかぎり再任
			【看護】木原助教		2018.7.1	2020.3.31		毎月1回開催
23	海外交流センター運営委員会委員		【看護】橋口 教授	2年	2017.4.1	2019.3.31		再任可
24	九州大学病院特定認定再生医療等委員会	委員会より指名	【看護】樗木教授 (副委員長)	2年	-	-	委員会から指名(保から選出手続き不要)	再任可
25	KITE連絡員		【看護】野口講師 【放射】納富准教授 【検査・B棟】田代講師	-	2015.10.1 2010.4.1 2015.10.1			施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(2018年7月6日施設・環境委員会にて決定)
26	九州大学院医研究等動物実験委員		【検査】勝田 教授	2年	2018.6.1	2020.3.31	九州大学院医研究等動物実験委員会内規第3条9号「その他委員会が必要と認める者若干人」	

【令和元年度全学委員会】

番号	委員会	現(R1)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会 (オブザーバー)	樗木教授 (学科長)	-	-	-	九州大学教育研究評議会規則第6条第1項(学部長の推薦に基づき総長が必要と認める者)	医学研究院における九州大学教育研究評議会委員に関する申合せ(2010.11.10教授会決定)
2	キャンパス計画及び施設 管理委員会	(病)					<地区協議会議事長> 医・歯・薬・病・生・保の 輪番
3	研究用微生物安全管理委員会	【検査】相原講師	2 年	2019.4.1	2021.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠 ※願わくば、藤本教授、小島講師と交互に担当をお願いしたいとのこと。(2013.12.25)
4-1	放射線障害防止委員会	【放射】藤淵 教授	2 年	2018.9.1	2020.8.31		
4-2	放射線障害防止委員会 オブザーバー	【放射】 納富 准教授	-	2014.4.1～	-		放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
5	環境保全管理委員会	【検査】 外園 講師	2 年	2018.4.1	2020.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題に詳しい教員)	環境安全センター委員会委員を兼ねる ★〔部門内〕施設・環境委員会構成員となる
6	環境安全センター委員会	【検査】 外園 講師 (同上)	2 年	2018.4.1	2020.3.31	環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員が兼ねる(2006年度から)
7	入学試験審議会	樗木 教授 (学科長)	-	-	-		保健学科長がオブザーバーとして参加
8	入学試験実施委員会	【検査】勝田教授	1 年	2019.4.1	2020.3.31	九州大学入学試験実施委員会等規程第3条第1項第11号(総長が必要と認めた者若干人) (任期1年)	〔部門内〕入学試験実施委員会委員長
9	入学者選抜研究委員会	【看護】 川田准教授	2 年	2018.5.1	2020.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)	統計のできる准教授クラス
10-1	学生支援委員会	【放射】有村教授 【看護】中尾教授	2 年	2019.4.1 2019.4.1	2020.3.31 2020.3.31	学生支援委員会が必要と認めた物若干人 学生支援委員会が必要と認めた物若干人	
10-2	学生生活実態調査実施WG委員	【看護】中尾教授					
11	教育企画委員会	【看護】藤田教授	2 年	2019.4.1	2020.3.31	医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年

【令和元年度全学委員会】

番号	委員会	現(R1)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
12	基幹教育委員会 (H25.11 新設)	【看護】藤田教授	2年	2020.4.1	2020.3.31	医学系学府保健学専攻の教授のうちから選ばれた者 1人	教育企画委員会委員が兼ねる 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
13	21世紀プログラム専門委員会	【看護】鳩野教授		2019.4.1	2020.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	看護・検査・放射分野の輪番
14	21世紀プログラム主導教員(修学指導)	【看護】鳩野教授		2019.4.1	2020.3.31		看護・検査・放射分野の輪番
15	基幹教育実施会議	【看護】藤田教授	なし	2019.4.1	2020.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
16	大学院基幹教育実施会議 (H26.1 新設)	【看護】谷口教授	2年	2019.4.1	2020.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
17	全学情報環境利用委員会	【放射】高橋 准教授	2年	2018.4.1	2020.3.31	各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として	*2014.3まで有村准教授
18	ハラスメント等対策委員会	(医) (薬) (病)	2年	2018.4.1	2020.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番
19	ハラスメント等相談員	(医)【看護】青本講師 (病)	2年	2018.4.1	2020.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として ※2018.4.1~保から選出依頼(住本研究院長より)	医・歯・薬・病・生の輪番
20	加速器・ビーム応用科学センター複担教員	【放射】納富 准教授	なし	2014.4.1~	-		
21	加速器・ビーム応用科学センターガンマ線施設運営委員会		2年	2019.4.1	2021.3.31	医学研究院、薬学研究院、総合理工学研究院及び比較社会文化研究院の専任の教授、准教授、講師のうちから選ばれた者 各1名 ※医学として ※2019.4.1~保から選出依頼(北園研究院長より)	
22	学生相談室相談員	【放射】有村教授	2年	2019.4.1	2020.3.31	学府・学部の教員(教授、准教授、講師)	〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
		【看護】中尾教授		2019.4.1	2020.3.31		
23	基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目班 生物専門チーム	【検査】水上准教授 【検査】水野教授	1年	2018.7.1 2019.7.1	2019.6.30 2020.6.30	各学部の教員のうちから実施会議が必要と認めた者 会議から指名あり(選出必要なし)	2014新設

【令和元年度全学委員会】

番号	委員会	現(R1)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
24	アイソトープ統合安全管理センター委員会	【放射】 納富 准教授	2年	2019.4.1	2021.3.31	別表2(2) センターの教授及び准教授	RIセンター複担教員 (放射線科学部)
		【放射】 藤淵 教授	2年				
25	研究活動基礎支援専門委員会	【看護】 鳩野 教授	2年	2018.4.1	2020.3.31	研究活動基礎支援専門委員会要項第3条(5)その他専門委員会が必要と認めた者 委員会から指名(選出必要なし)	
26	九州大学特定臨床研究監査委員会	【看護】 樗木 教授 (副委員長)	2年			委員会から指名(保から選出手続き不要)	
27	支線LAN管理者	【看護】 藤田紋 助教 (保健学科本館) 【放射】 高橋 准教授 (基礎B棟・主) 【検査】 田代 講師 (基礎B棟・副、 総合研究棟)	-			施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(2018年7月6日施設・環境委員会にて決定)	(保健学科本館)ならびに (基礎研究B棟)の管理

令和元年度
年 報

作成日 : 令和2年11月

発行者 : 保健学部門 令和2年度 年報委員会
水野晋一
佐々木雅之・鳩野洋子・藤田紋佳・杜下淳次
河窪正照・内海健・田代洋行

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1